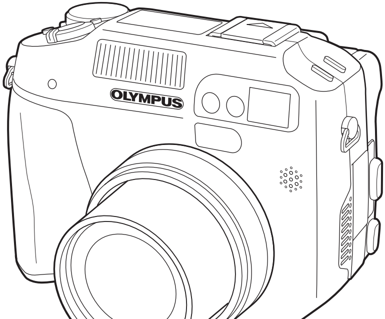
OLYMPUS®

CAMEDIA
デジタルカメラ

C-5060 Wide Zoom

取扱説明書



- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

オリンパス デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。

製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

●商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

●カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF 」です。

取扱説明書の構成

もくじ

1 準備 27

2 ボタンとメニューの機能 46

3 撮影の基本 63

4 フラッシュ 78

5 撮影の応用　90

6 画像・画質・露出の調整 124

7 再生 143

8 カメラの便利機能 166

9 プリント予約 202

10 ダイレクトプリント 213

11 その他 227

●本書の表記について

! 注意	故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。
?	活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。
☞	本書での参照先のページを表します。

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

安全にお使いいただくために

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない**。これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない。**目に近づけて撮影すると、視力障害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池や xD ピクチャーカードなどの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **カメラで日光や強い光を見ない。**視力障害をきたすおそれがあります。
- **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない。**充電中の充電器や電池は温度が高くなります。また、別売のACアダプタも長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間、皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない。**感電やけがをする原因となります。
● **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったりしたときは、火災や感電の原因になりますので、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用をやめる。**このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店または当社サービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。（電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
● **濡れた手で操作しない。**感電の危険があります。またACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。
● **持ち運びのときは、ストラップが引っかからないよう注意する。**カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
● **温度の高い所へ放置しない。**部品が劣化したり、火災の原因となります。
● **専用のACアダプタや充電器、充電池以外は使用しない。**カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。また別売のACアダプタは日本国内用です。海外ではご使用になれません。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。
● **充電器や AC アダプタのコードを傷つけない**。充電器や AC アダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
- 充電器やACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良があった場合。

使用条件についてのご注意

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
- 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
- 砂、ほこり、ちりの多い場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。CCD の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚に取り付ける際、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- 電池は、専用の当社製リチウムイオン電池と充電器をご使用ください。電池は指定の充電器以外で充電しないでください。電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。
- 火中への投下や、加熱をしないでください。
- ＋－を金属等で接続したり、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 強い日なた、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用•放置しないでください。
- 直接ハンダ付けしたり、変形や改造・分解をしないでください。端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み等に、直接接続しないでください。
- 電池の液が目に入ると、失明の原因になります。こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で充分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を誤って飲まないよう、乳幼児の手の届かぬ場所で保管および使用してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 警告

- 電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- 所定の充電時間を超えても電池の充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- リチウムイオン電池の外装にキズや破損のあるものは使用しないでください。
- 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は使用を中止し、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしないでください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

⚠ 注意

- 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 充電式電池をお買い上げ後初めてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合には、必ず充電してください。
- 電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。やけどの原因となります。
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- リチウムイオン電池ご使用推奨温度範囲
放電（機器使用時）：0 ～40 ℃
充電：0 ～40 ℃
保存：－20 ～30 ℃
上記温度範囲外での使用は性能・寿命の低下の原因となります。
- 電池は（＋）（－）端子がショートすると危険です。ショート防止のために、必ずキャップをしっかりとつけて保管・持ち運びください。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておいてください。電池の液漏れ・発熱により、火災やけがの原因となることがあります。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
- 電池を捨てる際は、地域の規定に従って処分してください。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には（＋）（－）端子をテープで絶縁してから最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

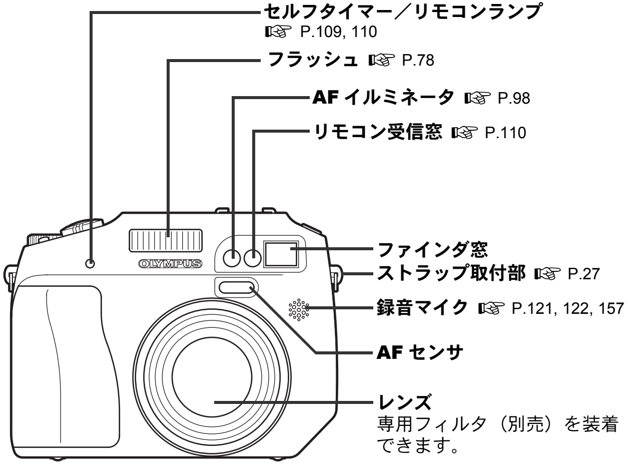
液晶モニタについて

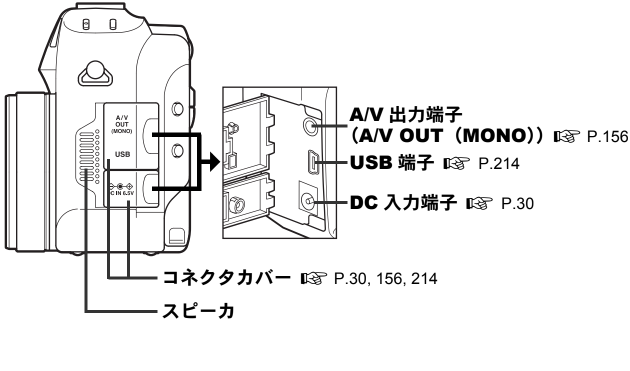
本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

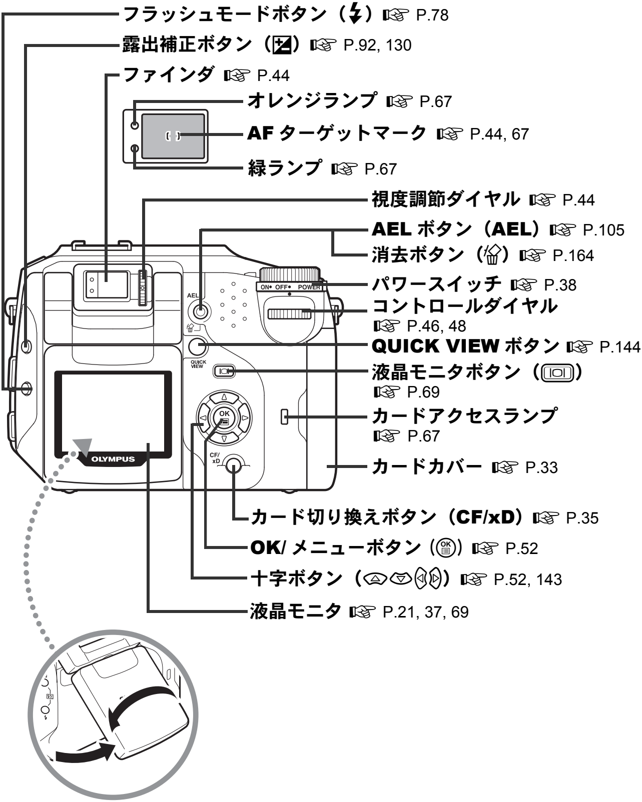
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、ただちに石鹸で洗い落してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めの時、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

各部の名称

カメラ


セルフタイマー／リモコンランプ ☞ P.109, 110
フラッシュ ☞ P.78
AF イルミネータ ☞ P.98
リモコン受信窓 ☞ P.110
OLYMPUS
ファインダ窓
ストラップ取付部 ☞ P.27
録音マイク ☞ P.121, 122, 157
AF センサ
レンズ
専用フィルタ（別売）を装着できます。


A/V OUT (MONO)
USB
DC IN 6.5V
A/V 出力端子（A/V OUT（MONO））☞ P.156
USB 端子 ☞ P.214
DC 入力端子 ☞ P.30
コネクタカバー ☞ P.30, 156, 214
スピーカ


フラッシュモードボタン（⚡）☞ P.78
露出補正ボタン（☒）☞ P.92, 130
ファインダ ☞ P.44
オレンジランプ ☞ P.67
AF ターゲットマーク ☞ P.44, 67
緑ランプ ☞ P.67
視度調節ダイヤル ☞ P.44
AEL ボタン（AEL）☞ P.105
消去ボタン（🗑）☞ P.164
パワースイッチ ☞ P.38
コントロールダイヤル ☞ P.46, 48
QUICK VIEW ボタン ☞ P.144
液晶モニタボタン（▭）☞ P.69
カードアクセスランプ ☞ P.67
カードカバー ☞ P.33
カード切り換えボタン（CF/xD）☞ P.35
OK/ メニューボタン（OK）☞ P.52
十字ボタン（△▽◁▷）☞ P.52, 143
液晶モニタ ☞ P.21, 37, 69
AEL
ON• OFF• POWER
QUICK VIEW
OK
CF/ xD
OLYMPUS

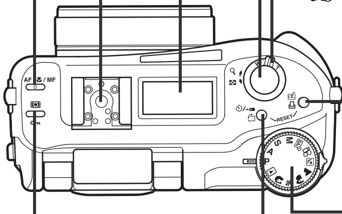
AF ／マクロ／ MF ボタン（AF/🌷/MF） ☞ P.99, 107

ホットシュー ☞ P.85

コントロールパネル ☞ P.19

シャッターボタン ☞ P.67

ズームレバー（T/W•▦ 🔍） ☞ P.76, 146, 147



カスタムボタン（⎙） ☞ P.168

プリント予約ボタン（凸） ☞ P.204

モードダイヤル ☞ P.63

セルフタイマー／リモコンボタン（ꝺ/⇠▬） ☞ P.109, 110

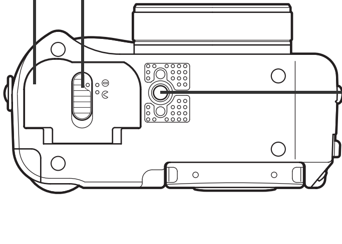
回転再生ボタン（⎚） ☞ P.145

測光ボタン（[⦿]） ☞ P.101

プロテクトボタン（O┳） ☞ P.163

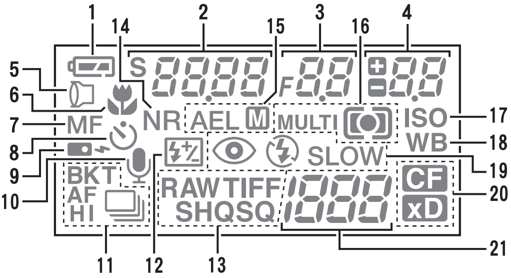
電池カバー ☞ P.29

電池カバーロック ☞ P.29

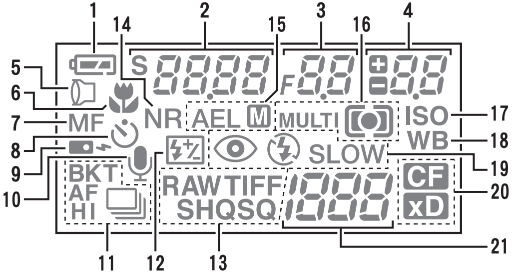


三脚穴

コントロールパネルの表示



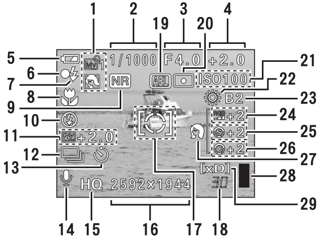
	項目	表示例	参照頁
1	電池残量	、	P.25
2	シャッター速度 プログラムシフト	2ooo（1/2000秒）、2.5" プログラムシフト時はsが表示されます。	P.91 P.63
3	絞り値	F2.8～F8.0	P.90
4	露出補正値 フラッシュ補正値	+2.0、+1.0、0.0、–1.0、–2.0	P.130 P.84
5	アクセサリー		P.123
6	マクロ スーパーマクロ	（点灯） （点滅）	P.107 P.108
7	マニュアルフォーカス スーパーマクロMF	MF（点灯） MF（点滅）	P.99 P.108
8	セルフタイマー		P.109
9	リモコン		P.110
10	録音		P.121, 122, 157
11	連写モード	HI、、AF、BKT	P.112
12	フラッシュ補正		P.84



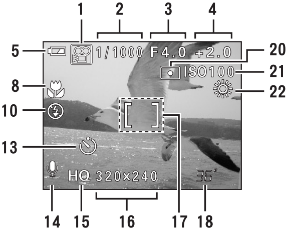
	項目	表示例	参照頁
13	画質	RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ	P.124
14	ノイズリダクション	NR	P.141
15	AEロック AEメモリ	AEL AELM	P.105 P.106
16	測光モード	[•]、[(•)]、MULTI[•]	P.101
17	ISO感度	ISO	P.129
18	ホワイトバランス	WB	P.132
19	フラッシュモード	◉、⚡、⚡、⚡SLOW、◉⚡SLOW	P.78
20	使用カード	xD 、CF	P.35
21	撮影可能枚数・撮影可能秒数 エラーコード	30 -E-	P.126, 127 P.227

液晶モニタの表示

●撮影モード



静止画



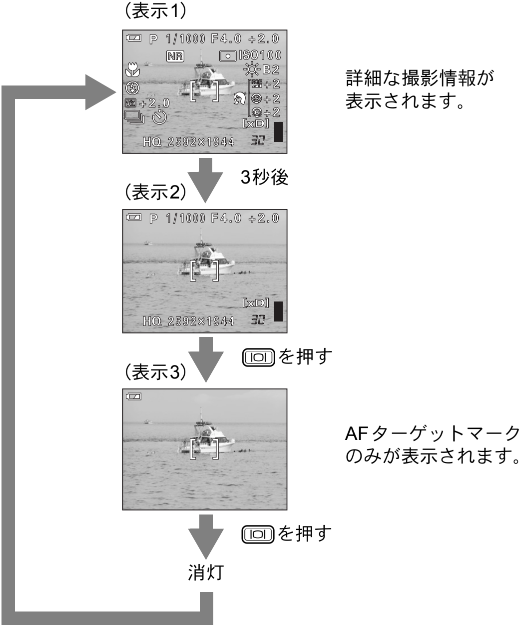
ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	撮影モード	P、A、S、M、	P.63
2	シャッター速度	15"～1/4000	P.91
3	絞り値	F2.8～F8.0	P.90
4	露出補正 露出状態	–2.0～+2.0 –3.0～+3.0	P.130 P.92
5	電池残量		P.25
6	緑ランプ	○	P.67, 70
7	フラッシュ発光予告 手ぶれ警告・ フラッシュ充電	⚡ 点灯 ⚡ 点滅	P.79
8	マクロ スーパーマクロ マニュアルフォーカス	 S MF	P.107 P.108 P.99
9	ノイズリダクション	NR	P.141

	項目	表示例	参照頁
10	フラッシュモード	👁、⚡、⊘、⚡SLOW1、👁⚡SLOW1、⚡SLOW2	P.78
11	フラッシュ補正	⚡ –2.0～+2.0	P.84
12	ドライブ	□、HI□、□、AF□、BKT	P.112
13	セルフタイマー リモコン	⏲ ▯	P.109 P.110
14	録音	🎤	P.121, 122, 157
15	画質	RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2	P.124
16	画像サイズ	2592×1944、1600×1200、640×480、320×240 など	P.126
17	AFターゲットマーク 測光ターゲットマーク	[ ] ◌	P.67 P.101, 102
18	撮影可能枚数 撮影可能秒数	30 36"	P.126 P.127
19	AEロック AEメモリ	AEL MEMO	P.105
20	測光モード	⊡、⊡	P.101
21	ISO感度	ISO 80、ISO 100、ISO 200、ISO 400	P.129
22	ホワイトバランス	⌂、☁、☀、☀、1～4、☀、C1～C4、□	P.132, P.135
23	WB補正	B1～B7、R1～R7	P.137
24	彩度	RGB –5～+5	P.140
25	シャープネス	S –5～+5	P.138
26	コントラスト	C –5～+5	P.139
27	シーンプリセット	👤、▲、☆	P.141
28	メモリゲージ	▮、▮、▯、▯	P.25
29	使用カード	[xD]、[CF]	P.35

●撮影時のモニタ表示について

電源を入れると、液晶モニタが点灯し撮影情報が表示されます。を押すたびに、以下の順番で情報量が切り換わります。



ヒント

電源を入れたときにAFターゲットマークのみ（表示3）を表示したい

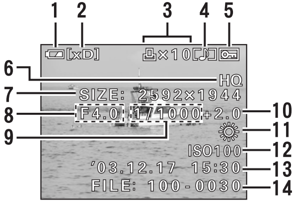
以下のどちらかの方法でを押さずにAFターゲットマークのみの表示にできます。

→ 設定クリアをオフにして、AFターゲットマークのみを表示させた状態（表示3）で電源を切ります。「設定クリア－電源を切っても設定を残す」（P.166）

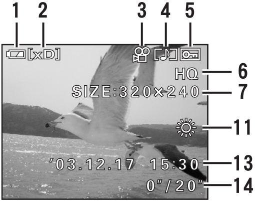
→ マイモード設定で［LCD］を［オン ］に設定します。モードダイヤルをに合わせてから電源を入れます。「マイモード設定－マイモードに機能を登録する」（P.174）

●再生モード

画面に表示される情報量を「情報表示」機能のオン／オフで選択できます。下の画面は「情報表示」の機能をオンにしたときの画面です。☞「情報表示－画像の詳細情報を表示する」（P.179）



静止画



ムービー

	項目	表示例	参照頁
1	電池残量	[電池残量アイコン]、[電池残量アイコン]	P.25
2	使用カード	[xD]、[CF]	P.35
3	プリント予約・枚数 ムービー	凸×10 [ムービーアイコン]	P.204 P.150
4	録音	[♪]	P.121, 122
5	プロテクト	[プロテクトアイコン]	P.163
6	画質	RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2	P.124
7	画像サイズ	2592×1944、1600×1200、640×480、 320×240 など	P.126
8	絞り値	F2.8～F8.0	P.90
9	シャッター速度	15"～1/4000	P.91
10	露出補正	–2.0～+2.0	P.130
11	ホワイトバランス	WB AUTO、[WBアイコン]、[WBアイコン]、[WBアイコン]、[WBアイコン]、[WBアイコン1]～[WBアイコン4]、 [WBアイコン]、[WBアイコン]	P.132, P.135
12	ISO感度	ISO 80、ISO 100、ISO 200、ISO 400	P.129
13	日時	'03.12.17　15:30	P.42
14	ファイル番号 秒数	FILE：100 - 0030 0"／20"	P.202

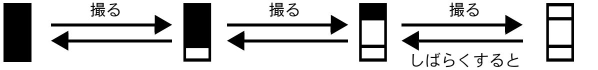
注意

- ムービーの場合、画像を選択して表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。

●メモリゲージについて

静止画の撮影をすると、メモリゲージが点灯します。点灯中は撮影した画像をカードへ記録しています。メモリゲージの表示は、撮影状態によって次のように変化します。ムービーの撮影中は、この表示はありません。





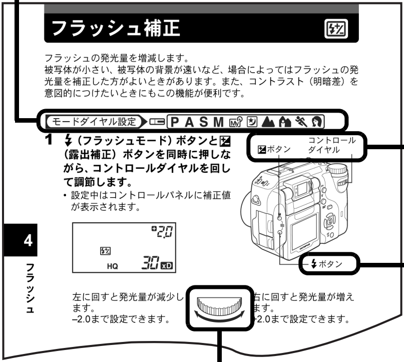
●電池残量表示について

カメラの電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、コントロールパネルや液晶モニタの電池残量表示が以下のように変化します。

電池マーク	コントロールパネル	液晶モニタ	状態
	点灯	点灯(緑) （しばらくすると消灯）	電池残量は十分にあります。
	点滅	点滅(赤)	電池残量が少なくなりました。長時間お使いになる場合は早めに充電してください。
表示なし	ファインダ横の緑ランプとオレンジランプが点滅（コントロールパネルは自動的に消灯します。）		電池残量が完全になくなりました。充電してください。

本書の見方

モードダイヤルをここに示されている
いずれかのマークに設定します。



この機能で操作するボタンとその位置がわかるように表記しています。

コントロールダイヤルの操作を表記しています。

メニューは矢印の順に操作します。操作方法の詳細については「メニューの操作方法」（P.53）を参照してください。

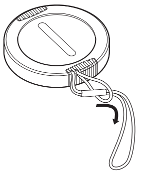


十字ボタンを表しています。操作手順では使用する十字ボタンのみ表記しています。

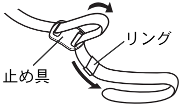
このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。

ストラップを取り付ける

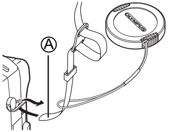
1 **レンズキャップの穴にレンズキャップ用ひもを通し、通したひもの輪にもう一方の先端をくぐらせて引っ張ります。**



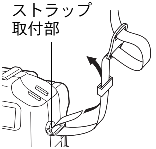
2 **ストラップの先端をそれぞれの止め具とリングから外します。**



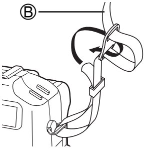
3 **ストラップの先端（Ⓐ）を、手順1で取り付けたレンズキャップ用ひもに通します。カメラのストラップ取付部の金具にストラップの先端を通します。**



4 **図の矢印にしたがい、ストラップの先端をリングに通します。ストラップの長さを決めます。**



5 **ストラップの先端をさらに矢印のように止め具に通します。ストラップのⒷの部分を引っ張ってゆるみをとり、ストラップが抜けないことを確かめます。**



6 **手順3～5にしたがって、もう一方の金具にもストラップを取り付けます。**

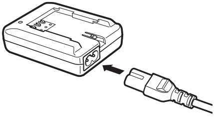
注意

- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- 手順にしたがってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池を充電する

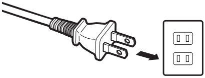
このカメラでは当社製リチウムイオン電池（BLM-1）1個を使用します。それ以外の電池は使用できませんのでご注意ください。
お求めいただいたときは電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（BCM-2）で充電を行ってください。詳しくは、充電器の取扱説明書（付属）をお読みください。

1 充電器の電源コードを充電器本体に差し込みます。

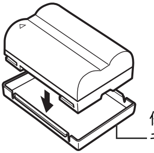


2 電源コードを家庭用電源コンセントに差し込みます。

コンセント（AC100V）

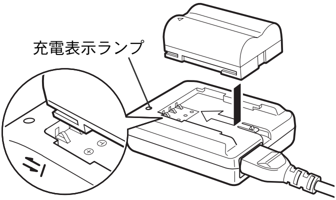


3 電池の保護キャップを外します。図のように電池の向きを正しく合わせて充電器にセットします。



保護
キャップ

- 電池の先端と充電器の表示（⇆|）を合わせて充電器にセットし、奥まで差し込みます。
- 充電表示ランプの状態は以下のことを示します。
  赤色点灯：充電中
  緑色点灯：充電完了
  赤色点滅：充電エラー
- 通常は約5時間で充電が完了します。電池の残量により、充電時間が短くなることがあります。



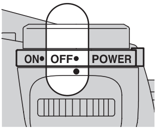
注意

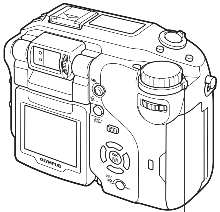
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
- 充電中は電池が暖くなりますが、異常ではありません。
- 長時間使用する場合は、予備電池（別売）のご用意をおすすめします。
- 電池を保管・持ち運ぶ際は、電極端子がショートしないように必ず保護キャップをつけてください。

電池を入れる

電池は専用リチウムイオン電池（BLM-1）1個を使用します。

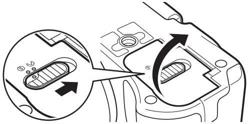
1 パワースイッチが OFF の位置に合っていることを確認します。





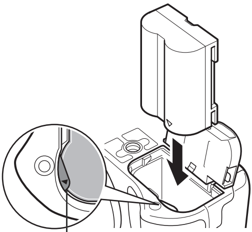
パワースイッチ

2 電池カバーロックを ⊖ から ⧀ の方向へスライドし、電池カバーを開けます。



3 図のように電池の向きを正しく合わせて入れます。

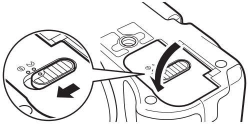
- 電池が正しく入ると電池ロックで固定されます。



電池ロック

4 電池カバーを閉じます。

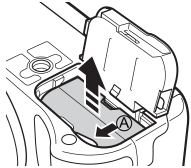
5 電池カバーロックを⧀から⊖の方向へスライドします。



電池を取り出す

1 電池ロックを矢印の方向（Ⓐ）に押します。

- 電池が出てきます。
- 電池を押さえながらカメラの底面を下に向けるなどして、電池を取り出します。



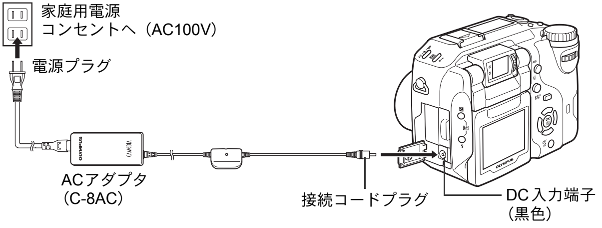
電池の残量警告について

デジタルカメラは動作状態により、消費電力が大きく変わります。消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告（P.25）が表示されずにカメラの電源が切れる場合があります。

その他の電源について

●ACアダプタ

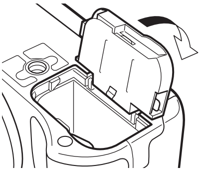
パソコンへの画像のダウンロード、プリンタへの出力など、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタ（C-7AC*／C-8AC）のご使用をおすすめします。
専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。また、電源は必ず100Vでご使用ください。



*C-7ACは国内専用です。

●パワーバッテリーホルダー

別売のパワーバッテリーホルダー（B-HLD20）を使用すると、付属のリチウムイオン電池使用時よりも長時間撮影ができます。カメラへ取り付けるときは、電池カバーを矢印の方向に押して取り外します。
詳しくは、パワーバッテリーホルダーの取扱説明書をお読みください。



ヒント

充電器を海外で使用するには

→ 充電器を海外でご使用の際は、ご使用になる地域の電源コンセントにあった変換プラグをご用意ください。変換プラグについては旅行代理店などにお尋ねください。

注意

- 電池を使用してカメラをパソコンやプリンタに長時間接続しているとき､途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。なお、接続中には、ACアダプタを抜き差ししないでください。
- カメラの電源が入っているときに電池やACアダプタを抜き差ししないでください｡カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため､電池の消耗が早くなります。
  - 液晶モニタが点灯している。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - フルタイムAFをオンにしている。
  - パソコンやプリンタとの接続時。
- カメラに電池が入っていても電力はACアダプタから供給されます。カメラ内の電池は充電されません。
- 本書の「安全にお使いいただくために」(P.11）およびACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。

カードを入れる

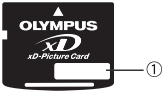
本書では、xDピクチャーカード、コンパクトフラッシュ、マイクロドライブを「カード」と呼びます。このカメラで撮影した画像は、カードに記録されます。
xDピクチャーカードとコンパクトフラッシュまたはマイクロドライブを同時に使用することができます。

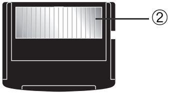
カードについて

カードは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。カードに記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。
以下のカードが使用できます。カードの取扱説明書を必ずお読みください。

xDピクチャーカード

- 16～512MB

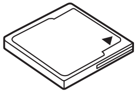




① インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入します。
② 接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

コンパクトフラッシュ（CF）（別売）

大容量かつ堅牢性の高いフラッシュメモリーカードです。市販のカードが使用できます。

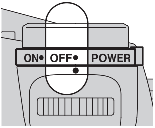


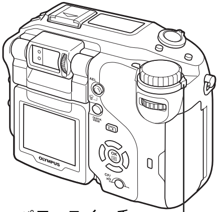
マイクロドライブ（別売）

CF+Type II（コンパクトフラッシュの拡張規格）準拠のマイクロドライブが使えます。大容量で小型軽量のハードディスク・ドライブです。「マイクロドライブを使用する場合のご注意」（P.35）を必ずお読みください。

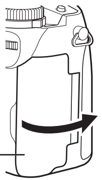
注意
- 340MBのマイクロドライブは使用できません。
- オリンパス製以外の市販のカードや、パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）したカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。☞「カードのフォーマット」（P.177）

1 パワースイッチが OFF の位置に合っていることを確認します。





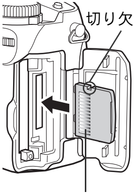
2 カードカバーを開けます。



3 カードを入れます。

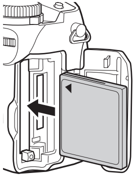
xDピクチャーカード

- 奥の挿入口に、カードが斜めに入らないように接触面を手前にして、まっすぐに差し込みます。
- カードを奥まで差し込むと、カチッという音がしてとまります。
- カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できなくなることがあります。



コンパクトフラッシュ／マイクロドライブ

- 手前の挿入口に、図の向きにまっすぐ奥まで差し込みます。

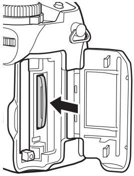


4 カードカバーをカチッという音がするまで閉じます。

カードを取り出す

xDピクチャーカード

- カードを一度奥に押し込んで、そのままゆっくり戻します。
  カードが手前に出て止まります。カードをつまんで取り出します。

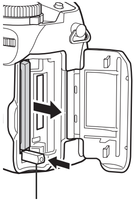


注意

カードを取り出す際にカードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

コンパクトフラッシュ／マイクロドライブ

- イジェクトボタンを一度奥に押します。
  イジェクトボタンが出てきます。
- イジェクトボタンを再度奥まで押し込むと、カードが出てきます。イジェクトボタンは押し込んだ位置でとまります。
- イジェクトボタンはゆっくり押してください。
- カードを指でつまんで取り出します。



注意

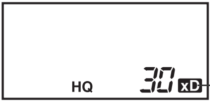
- カードはペンなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- カメラの電源が入っているときは絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したりしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。

使用するカードを切り換える

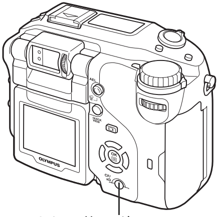
使用しているカードがコントロールパネル、または液晶モニタに表示されます。記録するカードのタイプを選んでから撮影します。
初期設定では、xDピクチャーカードが選択されています。カードが1枚しか入っていない場合は、そのカードが自動的に選択されます。カード切り換えの機能は再生モードでも同様です。

1 カード切り換えボタンを繰り返し押して、使用したいカードを選択します。

- コントロールパネルの表示が交互に切り換わります。



使用カード



カード切り換えボタン

xD ：xDピクチャーカード　　CF ：コンパクトフラッシュ、またはマイクロドライブ

●マイクロドライブを使用する場合のご注意

マイクロドライブを使用する場合、次の制限があります。ご注意ください。
また、お使いのマイクロドライブの取扱説明書を、よくお読みください。
大切な撮影には、xDピクチャーカードまたはコンパクトフラッシュのご使用をおすすめします。

使用環境

マイクロドライブは小型軽量のハードディスク・ドライブです。回転系記録媒体なので、他のカードのような固体記録媒体に比べ、振動や衝撃に強くありません。
マイクロドライブを使用する場合は、カメラに振動や衝撃を与えないよう十分注意してください。（特に記録中や再生中にはご注意ください。）

・記録中にカメラを机の上にゴツンと置いたりしないでください。
・肩からぶらさげたカメラを何かにぶつけないよう注意してください。
・工事などで地盤が振動している場所では使用しないでください。
・悪路を走る自動車など、カメラに激しく振動が伝わる乗り物の上では、使用しないでください。

マイクロドライブの取り扱い

・ラベルにはペンなどで書き込みをしないでください。
・ラベルをはがさないでください。
・ラベルを重ねて貼らないでください。
・持ち運びや保管の時は、マイクロドライブに同梱される専用保護ケースに入れてください。
・長時間使用すると熱くなることがあります。取り扱いには十分注意してください。
・強い磁気のある所へ近づけないでください。
・カバーを強く押さないでください。

カメラの操作

マイクロドライブを使用すると電池の消耗が早くなる場合があります。電池の消耗をおさえるためには、次のことに注意してください。

・撮影中はなるべく液晶モニタを使用しないでください。
・特に必要がなければ、xDピクチャーカードは取り出しておいてください。
・スイッチ類を操作してもまったく動作しない場合は、一度電池を抜いて入れなおしてください。
・電池が消耗しているときにマイクロドライブを使用すると、カメラの電源が入らない場合があります。

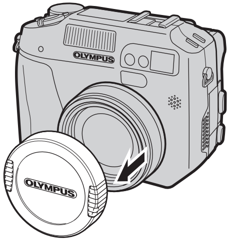
「このカードは使用できません」と表示された場合

・画像の記録や読み出しができなくなった場合は、パソコンでSCANDISKをかけてください。☞「エラーコード表示」(P.227)

電源を入れる／切る

●電源を入れる

1 カメラからレンズキャップを外します。



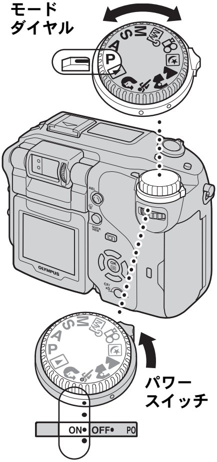
2 液晶モニタを引き出して、回転させます。

- 液晶モニタを閉じた状態では操作できない機能があります。液晶モニタを開いた状態で撮影、再生を行ってください。
- 液晶モニタの角度を変えることもできます。☞「液晶モニタを見て撮る」（P.69）



3　モードダイヤルを回して、使いたいモードを赤い線の位置に合わせます。

☞「撮影モードについて」（P.63）



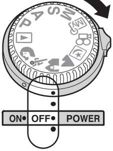
4　パワースイッチを回して、ONを●の位置に合わせます。

- モードダイヤルを ▶ 以外に設定していると、撮影モードで電源が入ります。液晶モニタが点灯し、レンズがせり出してきます。
- モードダイヤルを ▶ に設定していると、再生モードで電源が入り、液晶モニタが点灯します。
- モード変更はカメラの電源が入っている状態でも行えます。

●電源を切る

1　パワースイッチを回して、OFF を ● の位置に合わせます。

- 液晶モニタが消灯し、レンズが格納されて、電源が切れます。



2　液晶モニタを内側にして閉じます。

- カメラを使用しないときは、液晶モニタの保護のため、液晶モニタを内側にして閉じて保管してください。

ヒント

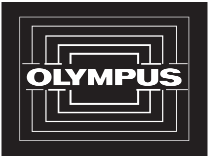
- 電源を入れたまま約 3 分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、カメラは動作を停止します。ズームレバーやシャッターボタンなどを操作するとカメラはすぐに動作を再開します。
- 電源を入れたまま約4時間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐために自動的に電源が切れて、レンズが収納されます。もう一度、電源を入れ直してください。

注意

- カメラの電源を入れた状態で強い振動や衝撃を与えると、一瞬電源が切れて日付や設定値が初期状態に戻ることがあります。

スタートアップ／シャットダウン画面

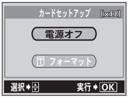
電源を入れたり切ったりすると、液晶モニタに画像が表示され、音が再生されます。このときの画像と音を選択できます（P.192）。また、自分で撮影した画像を登録したり（P.193）音量を調整することもできます（P.191）。



スタートアップ／シャットダウン画面（初期設定）

カードが認識されないときは（カードチェック）

電源を入れると、カードチェックが自動的に行われます。カードが入っていなかったり、このカメラで使用できないカードが入っているときは、以下の画面が表示されます。

コントロールパネル	液晶モニタ表示	こうしましょう
	 カードを認識できません	カードがカメラに入っていません。またはカードが奥までしっかりと入っていません。 → カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。
		カードがこのカメラのシステムでは読み込めません。 新しいカードに入れ換えるか、カードをフォーマットします。 → 十字ボタン△▽を押して［電源オフ］を選択し、OKボタンを押して新しいカードを入れてください。 → カードをフォーマットしてください。 十字ボタンの△▽を押して［フォーマット］を選択し、OKボタンを押すとフォーマットを確認する画面が表示されます。もう一度［フォーマット］を選択してOKを押します。 フォーマットが始まります。フォーマットが終わると、撮影できる状態になります。

注意

- フォーマット（初期化）するとカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

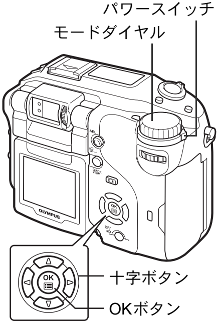
1 準備

カメラで表示する言語を切り換える

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語以外の言語にすることができます。

1 モードダイヤルをPにして、パワースイッチをONにします。

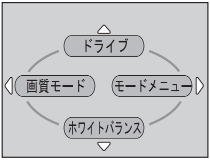
・**P**の他、すべてのモードで設定できます。



2 ボタンを押します。

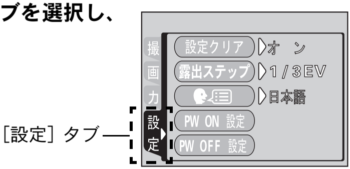
・トップメニューが表示されます。

3 十字ボタンの を押して［モードメニュー］を選択します。

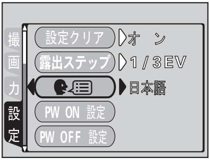


トップメニュー画面

4 を押して［設定］タブを選択し、を押します。



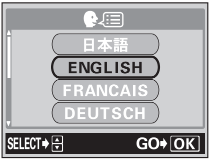
5 を押して［］を選択し、を押します。



1

準備

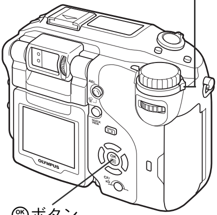
6　△▽を押して表示したい言語を選択し、OKを押します。



7　再度 OK を押してメニューを終了します。

8　電源を切るときは、パワースイッチをOFFにします。

パワースイッチ

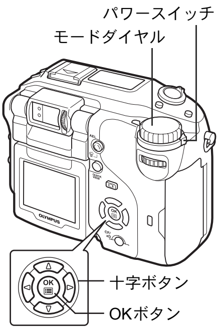


OKボタン

日付・時刻を設定する

1 モードダイヤルをにPして、パワースイッチをONにします。

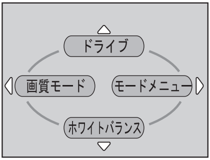
- **P**の他、すべてのモードで設定できます。



2 ㊋ボタンを押します。

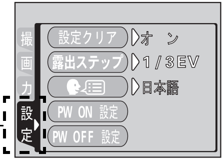
- トップメニューが表示されます。

3 十字ボタンの ▷ を押して［モードメニュー］を選択します。



トップメニュー画面

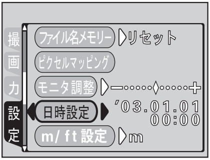
4 △▽を押して［設定］タブを選択し、▷を押します。



［設定］タブ

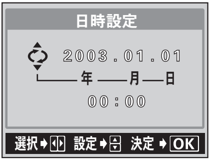
5 △▽を押して［日時設定］を選択し、▷を押します。

- 選択した項目に緑の枠が移動します。
- ▽ を繰り返し押すとページが切り替わり、［日時設定］の項目が表示されます。



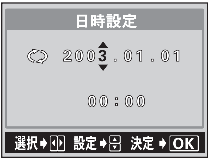
6 △▽を押して日付の順序を、"年-月-日"、"月-日-年"、"日-月-年"から選択し、▷を押します。

- 年の入力に移動します。
- 以下の手順は"年-月-日"に設定した場合の説明です。



7 △▽を押して最初の項目を入力し、▷で次の項にすすみます。

- ◁を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- "年"の上 2 桁は固定されています。

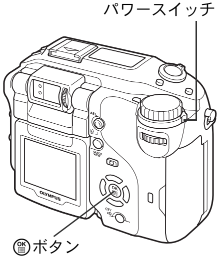


8 同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。

- カメラの時間表示は24時間表示です。
  午後2時は14:00と表示されます。

9 OKを押します。

- 0秒の時報に合わせてOKを押すと、正確に時間を合わせられます。



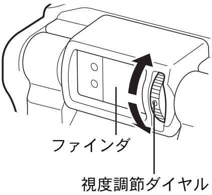
10 電源を切るときは、パワースイッチをOFFにします。

注意
- 電池を抜いた状態で約5日間放置すると、日時の設定は解除されます（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。撮影前に日時の設定が正しいことを確認してください。

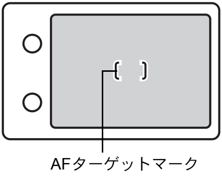
ファインダを見やすくする

お使いになる方の視力に合わせてファインダを見やすく調整します。

1 ファインダをのぞきながら、視度調節ダイヤルを少しずつ回します。



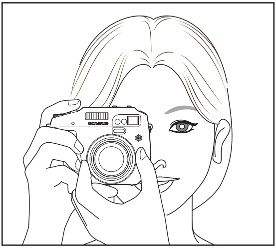
2 AFターゲットマークがはっきり見えるところに視度調節ダイヤルを合わせます。



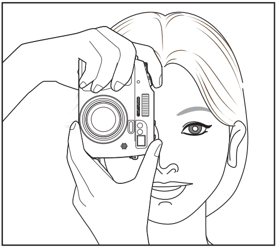
カメラの正しい構え方

両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。縦位置で撮影するときは、フラッシュがレンズの中心より上になるようにします。
レンズ、フラッシュ、AFセンサに指やストラップ、ストラップに取り付けたレンズキャップがかからないよう、ご注意ください。

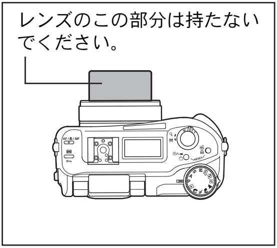
横位置



縦位置



上面図



注意

- シャッターボタンを押し込んだときにカメラがぶれると、きれいな画像が撮れません。正しく構えて、静かにシャッターボタンを押しましょう。
- レンズに無理な力が加わると、ピントが合わなくなったり、警告表示がでることがあります。☞「エラーコード表示」(P.227)

2ボタンとメニューの機能

ダイレクトボタン

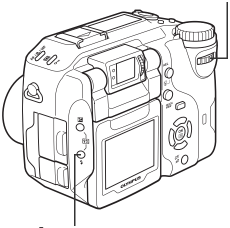
このカメラには、撮影や再生に関するいろいろな機能をすばやく操作・設定できるダイレクトボタンがあります。ダイレクトボタンは、撮影モードと再生モードでそれぞれ異なった機能を持っています。ダイレクトボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、設定項目の選択や設定値の変更など各機能の設定を行います。
ダイレクトボタンを繰り返し押して設定する場合もあります。

ダイレクトボタンの操作

ダイレクトボタンとコントロールダイヤルを使って設定する操作の流れを以下に示します。ダイレクトボタンを押すと、液晶モニタに設定画面が表示されます。

例）フラッシュモードボタンを使う

1 ⚡（フラッシュモード）ボタンを押しながら、コントロールダイヤルを回して、フラッシュモードを選択します。

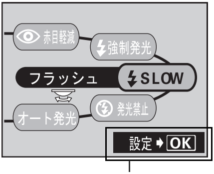


- コントロールパネルで設定を確認できます。



• 液晶モニタに設定画面が表示されます。
• ダイレクトボタンから指をはなした時点で、フラッシュモードが設定されます。

液晶モニタ



操作ガイド

• 画面下に操作ガイドが表示される場合は、さらに詳細な設定が可能です。

2 ⚡ボタンを押した状態で、㊊を押してメニューを表示させます。メニューが表示されたあとは、ダイレクトボタンから指をはなします。

• モードメニューの設定を変更する画面にジャンプします。



3 ⊜⊝を押して選択し、㊊を押します。

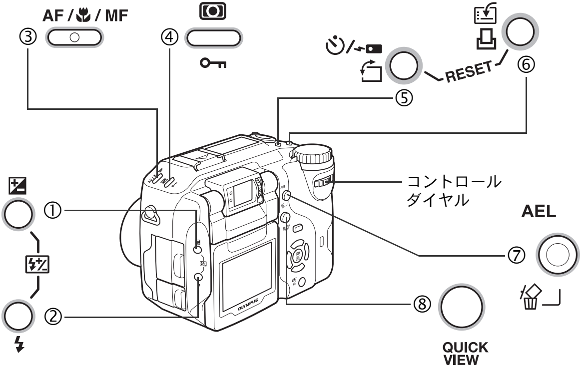
• 再度㊊を押すとメニューが終了し、撮影できる状態になります。

2

ボタンとメニューの機能

ダイレクトボタンの機能

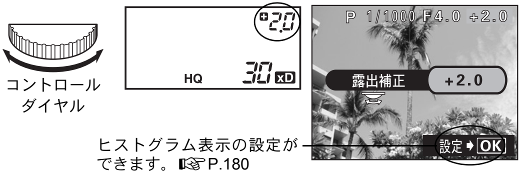
●撮影モード



コントロール ダイヤル	ダイレクトボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、機能の設定を行うことを示しています。

①	(露出補正)ボタン	☞P.130

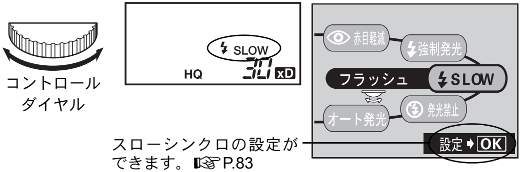
露出補正値を変更します。



ヒストグラム表示の設定ができます。☞P.180

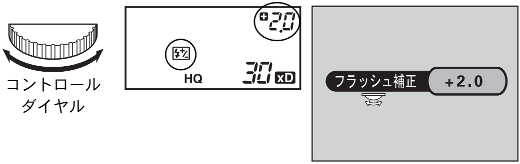
②	⚡(フラッシュモード)ボタン	☞P.78

フラッシュモードをオート発光(表示なし)、赤目軽減(◉)、強制発光(⚡)、スローシンクロ(⚡SLOW／◉⚡SLOW)、発光禁止(⚡)から選択します。



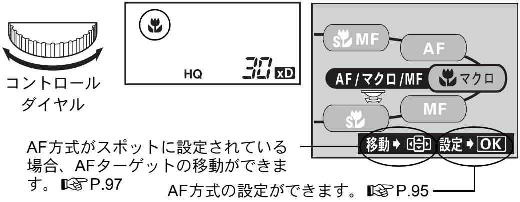
①+② 同時押し	(フラッシュ補正)ボタン	☞P.84

フラッシュの発光量を補正します。



③	AF/🌷/MF(AF／マクロ／ＭＦ)ボタン	☞P.99, 107, 108

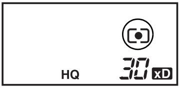
フォーカスモードをオートフォーカス(表示なし)、マクロ(🌷)、マニュアルフォーカス(MF)、スーパーマクロ(🌷点滅)、スーパーマクロMF(MF点滅)から選択します。

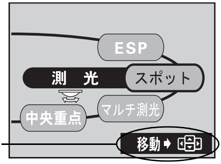


④	(測光)ボタン	☞P.101, 103

測光方式をESP測光(表示なし)、スポット測光([•])、マルチ測光(MULTI[•])、中央重点測光(([•]))から選びます。





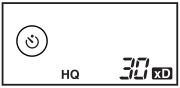


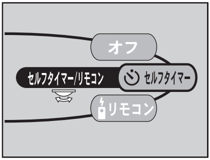
測光方式がスポットに設定されている場合、測光ターゲットの移動ができます。
☞P.102

⑤	(セルフタイマー/リモコン)ボタン	☞P.109, 110

セルフタイマー撮影()、リモコン撮影()をします。







⑥	(カスタム)ボタン	☞P.168

カスタムボタン設定で登録した機能の設定をします。
機能の登録方法やボタンの使い方は「カスタムボタン設定」(P.168)を参照してください。

⑤+⑥ 同時押し	RESET(カメラリセット)ボタン	☞P.199

同時に3秒以上押すと、カメラ内の設定がリセットされます。

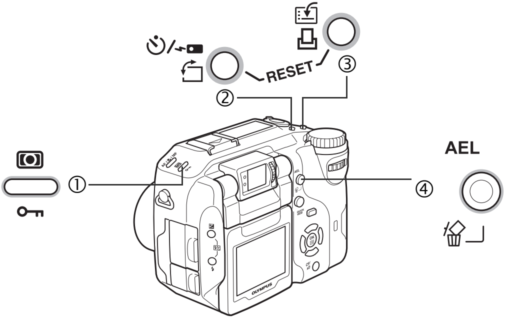
⑦	**AEL**(AEロック)ボタン	☞P.105

露出を固定します。押すたびにロックと解除を繰り返します。

⑧	**QUICK VIEW**ボタン	☞P.144

最後に撮影した画像を液晶モニタに表示します。

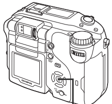
●再生モード



①	(プロテクト)ボタン	☞P.163
	大切な画像を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。	
②	(回転再生)ボタン	☞P.145
	撮影した画像を時計回り(+90°)、または反時計回り(-90°)に回転して表示します。	
③	(プリント予約)ボタン	☞P.204
	カードにプリント予約します。	
②+③ 同時押し	RESET(カメラリセット)ボタン	☞P.199
	同時に3秒以上押すと、カメラ内の設定がリセットされます。	
④	(消去)ボタン	☞P.164, 165
	選択した画像を消去します。	

メニューの種類

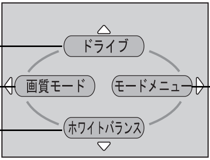
カメラの電源を入れて㊙ボタンを押すと、液晶モニタにトップメニューが表示されます。カメラの各設定はメニューで行います。ここでは**P**モードの画面を使って、メニューのしくみについて説明します。



㊙ボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

トップメニュー





十字ボタンでメニューを選択します。

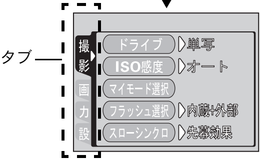
ショートカットメニュー

- 直接、各項目の設定画面に進みます。
- 操作可能なボタンが画面下に表示されます。
- ショートカットメニューに登録した機能をモードメニューからも設定することができます。
- 🎥▶モード以外ではショートカットメニューを変更することができます。☞「ショートカット設定」(P.171)



モードメニュー

- ISO感度やシャープネスなどいろいろな設定ができます。
- 設定項目が機能ごとにタブで分類されています。
- ⊛⊛ボタンでタブを選択するとそれぞれのタブのメニュー項目が表示されます。

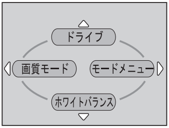


メニューの操作方法

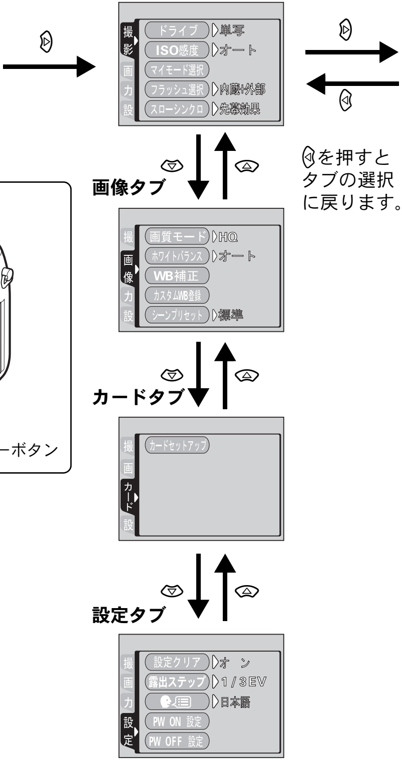
1 [OK]を押してトップメニューを表示させ、[▷]を押します。

2 [△][▽] を押してタブを選択し、[▷]を押します。

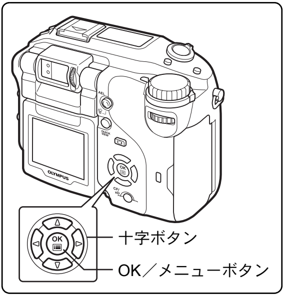
トップメニュー



撮影タブ



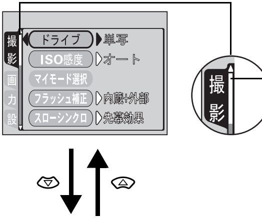
[◁]を押すとタブの選択に戻ります。



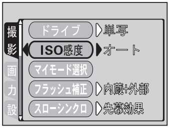
次ページに続く ☞

3 △▽を押して設定する項目を選択し、▷を押します。

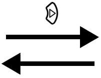
4 △▽を押して設定を変更します。OKを押すと設定が完了します。
再度OKを押すと、メニューが終了します。



スライダバー
次のページにも設定項目があるときに表示されます。

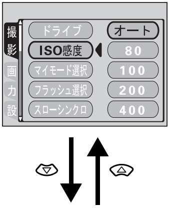


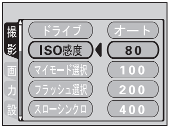
選択された項目に緑色の枠が移動します。



◁またはOK

◁またはOKを押すとメニュー項目の選択に戻ります。





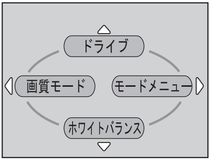
注意

- カメラの状態や設定内容などにより、選択できない項目があります。
- 撮影モードではメニューを表示した状態でもシャッターボタンを押すと撮影できます。
- 設定した機能を電源を切っても保持させておきたい場合は、［設定クリア］の機能を［オフ］に設定してください。☞「設定クリア－電源を切っても設定を残す」（P.166）

ショートカットメニュー一覧

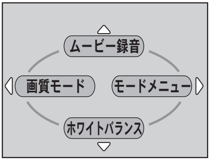
●撮影モード

P A S M
モード
（静止画撮影時）



（初期設定）

モード
（ムービー撮影時）



ドライブ

撮影方法を［単写］［高速連写］［連写］［AF連写］［BKT］から選択します。	P.112

ムービー録音

ムービー撮影時に音声を録音するかどうか選択します。	P.122

画質モード

撮影する画像の画質や画像サイズを選択します。 静止画　：RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2 ムービー：SHQ、HQ、SQ	P.124

ホワイトバランス

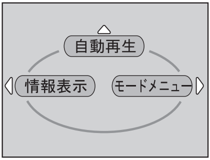
光源に応じて、適切なホワイトバランスを設定します。	P.132

ヒント

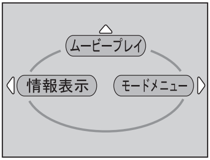
ショートカットメニューに登録した機能をモードメニューからも設定することができます。また、モード以外ではショートカットメニューを変更することができます。☞「ショートカット設定」（P.171）

●再生モード

静止画再生時



ムービー再生時



自動再生

記録されている静止画を連続で表示します。	P.149

ムービープレイ

ムービー再生	ムービーを再生します。	P.150
インデックス作成	撮影したムービーを 9 分割画面で表示するインデックス画像を作成します。	P.152
ムービー編集	ムービーの編集を行います。	P.154

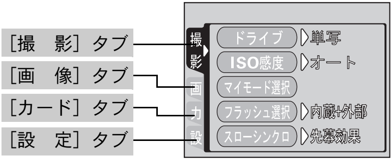
情報表示

画像の詳細な撮影情報を表示します。	P.179

モードメニュー一覧

モードメニューの中はタブで分けられています。△▽ボタンを押して画面の左側にあるタブを選択すると、それぞれの機能が表示されます。

●撮影モード



［撮　影］タブ		
ドライブ	撮影方法を[単写][高速連写][連写][AF連写][BKT]から選択します。	P.112
ISO感度	ISO感度を［オート］［80］［100］［200］［400］から選択します。	P.129
マイモード選択	MYモード撮影時に使用するマイモードを選択します。	P.94
フラッシュ選択	外部フラッシュを使用して撮影するときに、［内蔵＋外部］［外部］［スレーブ］から選択します。［スレーブ］を選択した場合は、内蔵フラッシュの発光量を調整します。	P.85
スローシンクロ	フラッシュモードをスローシンクロに設定したときの効果を［先幕効果］［赤目・先幕効果］［後幕効果］から選びます。	P.83
ノイズリダクション	長時間露光時に、画像に発生するノイズを軽減します。	P.141
デジタルズーム	光学ズームの最大倍率からさらに高倍率のズーム撮影が可能です。	P.77
フルタイムAF	シャッターボタンを半押ししなくても、カメラを向けている被写体に常にピントを合わせます。	P.96
AF方式	オートフォーカスの方式を［iESP］［スポット］から選択します。	P.95

アクセサリ	別売のコンバージョンレンズまたは防水プロテクタを使用するときに設定します。	P.123
スチル録音	静止画撮影時に音声を録音します。	P.121
パノラマ	カードのパノラマ機能を使って、パノラマ撮影をします。	P.115
合成ツーショット	連続して撮影した2枚の静止画を合成します。	P.117
ファンクション撮影	［モノクロ］［セピア］［白板］［黒板］の特殊効果をつけた撮影をします。	P.120
ヒストグラム表示	画像のヒストグラム（輝度分布）を表示します。	P.180
	構図を決めるのに便利なガイドラインを液晶モニタに表示します。	P.118
リアル表示	**M**モード撮影時に、撮影結果に近い露出状態で被写体を液晶モニタに表示します。	P.93

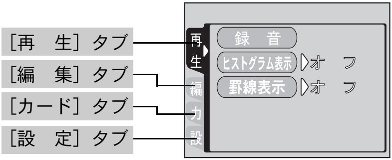
［画　像］タブ		
画質モード	撮影する画像の画質や画像サイズを選択します。 静止画　：RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2 ムービー：SHQ、HQ、SQ	P.124
ホワイトバランス	光源に応じて、適切なホワイトバランスを設定します。	P.132
WB補正	ホワイトバランスを微調整します。	P.137
カスタムWB登録	お好みのホワイトバランスの設定を登録します。	P.134
シーンプリセット	［ポートレート］［風景］［夜景］の撮影に適した画質にします。	P.141
シャープネス	画像の鮮鋭度を調節します。	P.138
コントラスト	画像のコントラスト（明暗の差）を調節します。	P.139
彩度	色合いを変化させずに色の濃さを調節します。	P.140

［カード］タブ		
カードセットアップ	カードをフォーマットします。	P.177

［設　定］タブ		
設定クリア	カメラの電源を切ったときに設定内容を保持するかどうかを選択します。	P.166
露出ステップ	シャッター速度や絞り値、露出補正値などの設定を［1/3EV］刻みで行うか［1/2EV］刻みで行うか選択します。	P.178
（言語アイコン）	液晶モニタに表示される言語を切り換えます。	P.40
PW ON設定	電源を入れたときに液晶モニタに表示されるスタートアップ画面とそのときに再生される音の選択をします。	P.192
PW OFF設定	電源を切ったときに液晶モニタに表示されるシャットダウン画面とそのときに再生される音の選択をします。	P.192
レックビュー	撮影した画像の記録中に、その画像を液晶モニタに表示することができます。	P.186
ビープ音	カメラの警告音をオフにしたり、その音量を変更します。	P.188
操作音	カメラの操作音をオフにしたり、その音と音量を選択します。	P.189
シャッタ音	シャッターボタンを押すときの音をオフにしたり、その音と音量を選択します。	P.190
マイモード設定	MY モードで撮影するときの設定を登録します。	P.174
ファイル名メモリー	ファイル名のつけかたを変更します。	P.195
ピクセルマッピング	CCDと画像処理機能のチェックを行います。	P.196
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調整します。	P.185
日時設定	日付と時刻を設定します。	P.42
m／ft設定	マニュアルフォーカス時に表示される距離の単位をメートル、またはフィートに切り換えます。	P.197

ビデオ出力	テレビの映像信号方式に合わせて[NTSC][PAL]から選択します。映像信号方式は国によって異なります。	P.198
ショートカット設定	お好みの機能をショートカットメニューに登録します。	P.171
カスタムボタン設定	お好みの機能をカスタムボタンに登録します。	P.168
スーパーコンパネ	液晶モニタにコントロールパネルと同様の情報を表示します。	P.183
AFイルミネータ	低輝度時にAFイルミネータを点灯させます。	P.98
USB	カメラをUSBケーブルでパソコンまたはプリンタに接続するときに設定します。	P.201

●再生モード



［再　生］タブ※		
録音	撮影した静止画に音声を記録します。	P.157
ヒストグラム表示	画像のヒストグラム（輝度分布）を表示します。	P.180
罫線表示	画像上に縦横の罫線を表示します。	P.187

※［再生］タブはムービー再生時は表示されません。

［編　集］タブ		
RAW編集	RAWで撮影した画像の画質やホワイトバランスなどを設定して、別の画像として保存します。	P.161
リサイズ	撮影した画像の画像サイズを小さくして、別の画像として保存します。	P.159
トリミング	撮影した画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。	P.159
コピー	画像をカード間でコピーします。［全コマ］［選択コマ］から選びます。	P.162

［カード］タブ		
カードセットアップ	カード内のすべての画像の消去やカードのフォーマットをします。	P.165、177

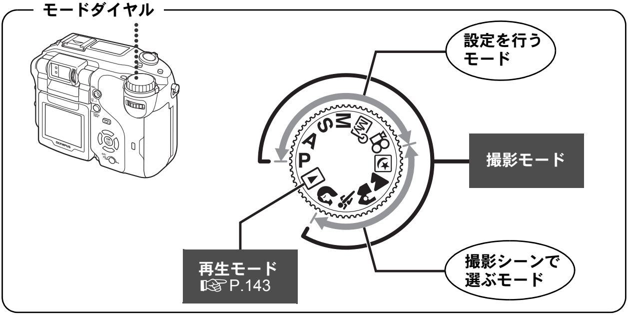
［設　定］タブ		
設定クリア	カメラの電源を切ったときに設定内容を保持するかどうかを選択します。	P.166
	液晶モニタに表示される言語を切り換えます。	P.40

PW ON設定	電源を入れたときに液晶モニタに表示されるスタートアップ画面とそのときに再生される音の選択をします。	P.192
PW OFF設定	電源を切ったときに液晶モニタに表示されるシャットダウン画面とそのときに再生される音の選択をします。	P.192
画面登録	スタートアップ画面やシャットダウン画面に自分で撮影した画像を使用できるように登録します。	P.193
再生音量	再生時の音量を調節します。「PW ON設定」「PW OFF設定」で選択した音の音量も調節されます。	P.191
ビープ音	カメラの警告音をオフにしたり、その音量を変更します。	P.188
操作音	カメラの操作音をオフにしたり、その音と音量を選択します。	P.189
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調整します。	P.185
日時設定	日付と時刻を設定します。	P.42
ビデオ出力	テレビの映像信号方式に合わせて［NTSC］［PAL］から選択します。映像信号方式は国によって異なります。	P.198
インデックス表示	インデックス再生時に、液晶モニタに一度に表示する画像の枚数を設定します。	P.148
USB	カメラをUSBケーブルでパソコンまたはプリンタに接続するときに設定します。	P.201

3撮影の基本

撮影モードについて

撮影モードには、モードダイヤルを合わせるだけで撮影シーンに適した設定が用意されているモードと、撮影状況や表現したい内容に合わせて設定を行うモードがあります。
モード変更はカメラの電源が入っている状態でも行えます。



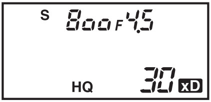
設定を行うモード

P プログラム撮影

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。フラッシュモードやドライブなどのその他の機能は、 自由に設定できます。

●プログラムシフト

プログラムシフトを使って、適正露出のまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更することができます。



- △▽を押して、シャッター速度と絞り値を変更します。
- コントロールパネルにSが表示されます。
- ▷を押すとプログラムシフトが解除されます。
- 撮影モードを変更しても、プログラムシフトは解除されます。
- 被写体の明るさやフラッシュの設定により、 シフトしない領域があります。

A 絞り優先撮影

絞り値を自分で設定できます。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。絞り値（F値）を小さくすると、ピントの合う範囲が狭くなって、背景のぼけが強くなります。絞り値を大きくすると、ピントの合う範囲が前後に広くなって、背景にもピントが合いやすくなります。背景の描写に変化をつけたいときに、このモードをお使いください。

☞「絞り優先撮影」（P.90）



絞り値(F値)を小さくする



絞り値(F値)を大きくする

S シャッター優先撮影

シャッター速度を自分で設定できます。絞り値はカメラが自動的に設定します。目的に応じて、シャッター速度を設定してください。

☞「シャッター優先撮影」（P.91）



シャッター速度を速くすると、すばやい動きをとらえて止まっているように撮影します。



シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されます。このぶれが躍動感や動きのある仕上がりになります。

M マニュアル撮影

絞り値とシャッター速度を自分で設定します。適正露出かどうかは、露出状態表示で確認できます。このモードでは、適正露出にとらわれることなく、独自の撮影意図を反映することができます。
☞「マニュアル撮影」（P.92）

My マイモード撮影

撮影に関する各種機能を設定し、マイモードとして登録しておくと、オリジナルのモードで撮影することができます。現在使用している設定をこのモードで呼び出せるように登録することもできます。☞「マイモード設定－マイモードに機能を登録する」（P.174）
☞「マイモード撮影」（P.94）

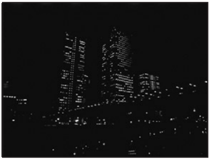
ムービー撮影

ムービー（動画）を撮影します。絞り値とシャッター速度は、カメラが自動的に決めます。音声も同時に記録されます。撮影中はピントとズームが固定されますので、被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなる場合があります。
☞「ムービーを撮る」（P.74）

撮影シーンで選ぶモード

夜景撮影

夜の景色を撮るのに最適です。通常の撮影よりも長いシャッター速度で撮影します。**P**モードで街灯が輝く街の夜景を撮影すると、明るさが不足するので光っている点だけの画像になってしまいます。夜景撮影モードでは、街の様子も写し出します。カメラが自動的に夜景撮影に適した条件を設定します。夜景撮影時は、シャッター速度が遅くなりますので、カメラを三脚などで固定して撮影してください。





▲風景撮影

風景を撮るのに最適です。近景から遠景までピントが合うように写します。また、青や緑の色をよりきれいに再現するので、自然のなかでの撮影には効果的です。カメラが自動的に風景撮影に適した条件を設定します。

記念写真撮影

人物と背景をいっしょに撮るのに最適です。近くの被写体と背景の両方にピントを合わせるように撮ります。空・緑・人物をきれいに撮ります。カメラが自動的に記念写真に適した条件を設定します。

スポーツ撮影

スポーツなどの動きのある被写体を撮るのに最適です。すばやい動きのものでも、止まっているように撮れるので、人物の表情など、被写体の様子も逃しません。カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。

ポートレート撮影

人物撮影をするのに最適です。背景をぼかし人物だけにピントが合うようにすることで、人物を背景から浮き出させる効果があります。カメラが自動的にポートレート撮影に適した条件を設定します。

注意

- モードによって設定可能な機能は異なります。☞「撮影モード別の設定可能な機能」（P.244）

静止画を撮る

ファインダを見て撮る方法と、液晶モニタを見て撮る方法があります。

ファインダを見て撮る

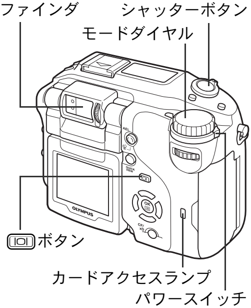
ファインダをとおして決めた構図よりも、やや広い範囲が撮影されます。

モードダイヤル設定 P A S M

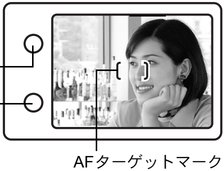
1 モードダイヤルをP A S M のいずれかにして、パワースイッチをONにします。

「電源を入れる／切る」（P.37）

- ファインダを使って撮影するときは、を押して液晶モニタを消灯させておきます。

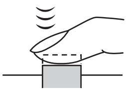


2 ファインダ内の AF ターゲットマークに被写体を合わせます。



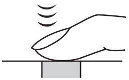
3 シャッターボタンを軽く押して（半押し）、ピントを合わせます。

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- フラッシュが発光するときは、オレンジランプが点灯します。
- コントロールパネルにシャッター速度と絞り値が表示されます。



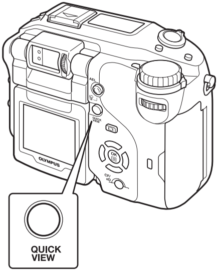


4 シャッターボタンを押し込みます（全押し）。



- 撮影されます。
- カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。

QUICK VIEWボタンを押して、撮影した画像を確認することができます。☞「簡単再生（QUICK VIEW）」（P.144）



ヒント

ねらった被写体にピントが合わない

→ ☞「ピントが合わないときは」（P.72）

緑ランプが点滅している

→ 被写体までの距離が近すぎます。20cm以上離れて撮影してください。スーパーマクロモードに設定すると、約3cmまで近づいて撮影できます。☞「スーパーマクロ撮影ー至近距離で撮る」（P.108）

→ 被写体の条件によってはピントや露出が固定されないことがあります。☞「オートフォーカス（AF）が苦手な被写体」（P.73）

シャッターボタンを半押ししたときに、オレンジランプが点滅している

→ フラッシュ充電中です。一度シャッターボタンから指をはなして、消灯するまでお待ちください。

撮影した画像をすぐに確認したい

→［レックビュー］を［オン］にします。☞「レックビューー撮影後すぐに画像を確認する」（P.186）

撮影時の音声を録音したい

→ 静止画撮影時、音声が録音できます。［スチル録音］を［オン］に設定してください。☞「スチル録音」（P.121）。また、撮影後の画像に後から音声メモを録音することもできます。☞「音声の録音」（P.157）

液晶モニタを見て撮る

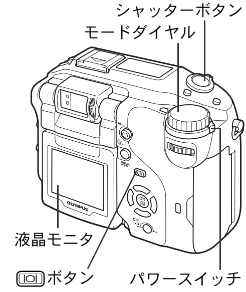
実際に写る範囲を確認しながら撮影できます。また、絞り値やシャッター速度などの撮影状態を確認しながら撮影できます。

液晶モニタの点灯中は電池の消耗が早くなります。液晶モニタを使用しないときは、こまめに消灯することをおすすめします。

モードダイヤル設定 P A S M

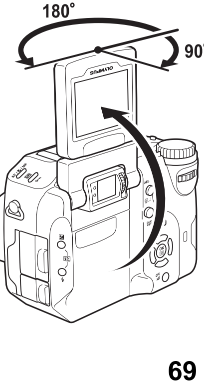
1 モードダイヤルをP A S Mのいずれかにして、パワースイッチをONにします。

「電源を入れる／切る」（P.37）



2 液晶モニタが消灯しているときは、を押して点灯させます。

- 液晶モニタは右図の範囲で動かせます。レンズ側に液晶モニタを向けると、対面撮影ができます。
- 液晶モニタは可動範囲内でゆっくりと動かしてください。



3 液晶モニタを見ながら AF ターゲットマークに被写体を合わせます。

4 ファインダを使った撮影と同じ手順で撮影します。

☞「ファインダを見て撮る」（P.67）



- シャッターボタンを半押ししてピントが合ったときは、液晶モニタの緑ランプが点灯します。ピントの合った位置にAFターゲットマークが移動します。ねらった被写体にピントが合わない場合は、AF方式をスポットに設定して撮影してください。
☞「AF方式－ピント合わせの範囲を変える」（P.95）
- フラッシュが発光するときは、⚡マークが点灯します。

ヒント

液晶モニタが消灯した

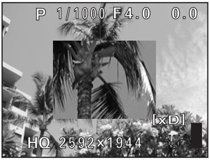
→ 3分以上何も操作をしないと、液晶モニタは消灯します。シャッターボタンやズームレバーを操作すると再び点灯します。

液晶モニタが見にくい

→ 晴天下のように明るい場所では、液晶モニタの画像に縦スジが入ることがあります。この場合は、ファインダを使って撮影してください。

ピントの合っている範囲を確認したい

→ シャッターボタンを半押ししているときに[◎]を押すと、ピントの合っている範囲が拡大表示されます。もう一度[◎]を押すと、元に戻ります。デジタルズーム領域では拡大できません。
☞「デジタルズームを使う」（P.77）



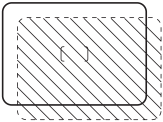
「ファインダを見て撮る」のヒント（P.68）も参照ください。

注意

- シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、ぶれる原因になります。
- 電源を切ったり、電池の交換や取り外しを行っても、撮影した画像はカードに保存されています。
- カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池やACアダプタを抜かないでください。また、カードカバーを開けないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。
- 強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつくことがあります。
- 明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニタの画像にスミア（白い帯状の縞）が見られる場合がありますが、撮影画像への影響はありません。

ファインダと液晶モニタを使い分ける

	ファインダ	液晶モニタ
長所	手ぶれしにくく、周囲が明るくても写したいものがはっきり見えます。 電池の消耗が少ないです。	撮影する範囲を正しく確認できます。
短所	近くのものを撮影するとき、ファインダで見える範囲と撮影できる画像とのあいだにずれが生じます。	手ぶれが起こりやすく、周囲が明るいときや暗いときでは見えにくいことがあります。電池の消耗が早くなります。
こんな撮影に	スナップや風景写真など、気軽に撮影したいとき。 （約80cm～遠距離）	実際に写る範囲を確認しながら、撮影したいとき。人物や花のアップなど被写体が80cm以内のとき。（マクロ撮影）



- ファインダで見た構図より、実際にはやや広い範囲が撮影されます。
- 写すものとの距離が近いと、左図のように実際に撮影される画面の範囲（斜線部）は、ファインダで見ている範囲と多少異なってきます。

ピントが合わないときは

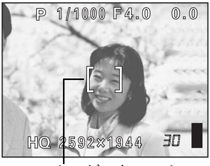
ピントを合わせたいものがAFターゲットから外れる（中央にない）ときは、次の操作で構図の好きな場所にピントを固定して撮影することができます。これをフォーカスロックといいます。

ピントを合わせてから構図を決める（フォーカスロック）

モードダイヤル設定 P A S M

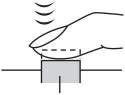
1 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせます。

- ピントが合いにくいものや、速く走るものの場合はまず撮影したいものとほぼ同じ距離のものにカメラを向けます。



2 シャッターボタンを半押しし、緑ランプの点灯を確認します。

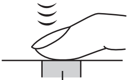
- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- ピントの合った位置に液晶モニタのAFターゲットマークが移動します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントと露出が固定されていません。シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。



3 半押しの状態のまま撮影したい構図にします。



4 シャッターボタン押し込みます（全押し）。



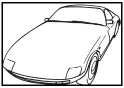
ヒント

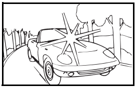
ピント合わせをする構図と露出を合わせたい構図が異なる
☞「AEロック撮影－露出を固定するには」（P.105）

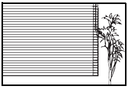
オートフォーカス（AF）が苦手な被写体

次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。
いずれの方法でもピントが合わない場合は、マニュアルフォーカスを使用してください。☞「マニュアルフォーカス－手動でピントを合わせる」(P.99)

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません

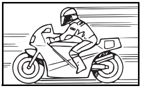

コントラストがはっきりしない被写体


画面中央に極端に明るいものがある場合


縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない


遠いものと近いものが混在する場合


動きの速いもの


ピントを合わせたいものが中央にない

ムービーを撮る

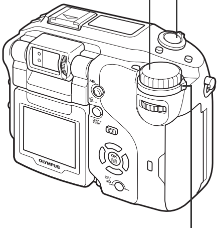
ムービー（動画）を撮影します。音声も同時に記録されます。撮影中はピントとズームが固定されますので、被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなる場合があります。

モードダイヤル設定 ▶

1 モードダイヤルを にして、パワースイッチをONにします。

「電源を入れる／切る」（P.37）

- 液晶モニタに使用しているカードで記録できる撮影可能秒数が表示されます。



2 液晶モニタを見ながら構図を決めます。

- ズームレバーで被写体を拡大できます。



3 シャッターボタンを押し込んで撮影を始めます。

- ピントとズームは固定されます。
- ファインダ横のオレンジランプが点灯します。
- ムービー撮影中はマークが赤く点灯します。



撮影可能秒数

4 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

- 撮影可能秒数が0になると、自動的に撮影を終了します。
- カードに空き容量がある場合は、撮影可能秒数が表示され、次の撮影ができます。「ムービー画質モード」（P.127）

ヒント

撮影中、常に被写体にピントを合わせたい

→［ムービー録音］を［オフ］に設定して、［フルタイムAF］を［オン］に設定します。☞「フルタイムAF－ピント合わせの時間を短くする」（P.96）

撮影中、ズームを使いたい

→［デジタルズーム］を［オン］に設定します。☞「デジタルズームを使う」（P.77）

→［ムービー録音］を［オフ］に設定すると、撮影中も光学ズームが使用できます。☞「ムービー録音」（P.122）

注意

- 撮影中、カードの状態によっては、撮影可能秒数が急激に減ることがあります。この場合は、カードをフォーマットしてから使用してください。☞「カードのフォーマット」（P.177）。
- ムービー録音がオンに設定されているときは、手順3でシャッターボタンを押したときのピントで撮影されます。被写体との距離が変化すると、ピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。
- 🎥モードでは、フラッシュ、MF（マニュアルフォーカス）は使用できません。

長時間ムービー撮影をする場合のご注意

- 撮影中は、再度シャッターボタンを押してムービー撮影を終了しない限り、カードの空き容量がなくなるまで撮影は続きます。
- 長時間撮影したムービーは編集できません。（P.152）
- 一度のムービー撮影でカードの空き容量がなくなったときは、その画像を消去するか、パソコンにダウンロードしてから消去して、カードに空きを作ってください。

拡大して撮る

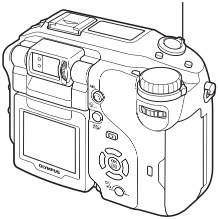
ズーム倍率4.0倍（光学ズーム35mmカメラ換算：27mm~110mm）の広角から望遠の撮影ができます。デジタルズームと組み合わせて使用すると、最大約14倍の撮影が可能です。
高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ防止のため、三脚を使うなどして、カメラを固定してください。

光学ズームを使う

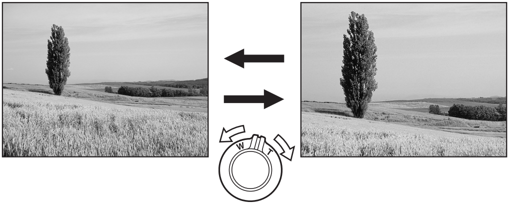
モードダイヤル設定 P A S M

1 ズームレバーを回します。

ズームレバー



広角：ズームレバーをW側に回す　望遠：ズームレバーをＴ側に回す



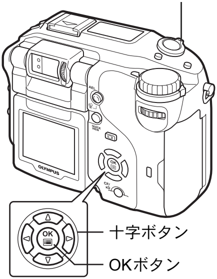
デジタルズームを使う

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［デジタルズーム］→［オン］を選択し、OKを押します。

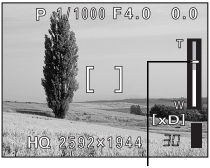
☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度OKを押すとメニューが終了し、液晶モニタに被写体が表示されます。



2 ズームレバーをT側に回します。

- ズームバーの白い部分が光学ズームの領域です。デジタルズームが設定されると、ズームバーに赤い領域が表示されます。光学ズームで最大までズームアップすると、デジタルズームになります。



ズームの拡大率によってカーソルが上下に移動します。
デジタルズームの領域に入るとカーソルがオレンジになります。

注意

- モードでは、デジタルズームの倍率が最大2.5倍になります。
- デジタルズームの領域で撮影すると、画像が粗くなることがあります。
- 液晶モニタを消灯させているときは、デジタルズームは使用できません。液晶モニタを点灯させるとデジタルズームが使用できる状態になります。

3 撮影の基本

フラッシュ撮影

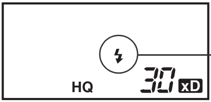
撮影状況、目的にあわせてフラッシュの設定をお選びください。フラッシュの発光量を補正することもできます。

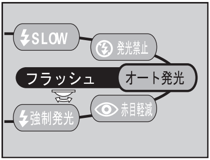
モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 ϟ（フラッシュモード）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、フラッシュを設定します。

- フラッシュモードは以下のように切り換わり、コントロールパネルに表示されます。（撮影モードによって、選択できるフラッシュモードが異なります。）







表示なし（オート発光）⟷ ◉赤目軽減発光 ⟷ ϟ（強制発光）

↕ ↕

(ϟ)（発光禁止）⟷ ϟSLOW、または◉ϟSLOW（スローシンクロ）

2 シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光条件のときは、オレンジランプとϟマークが点灯します。



ファインダ



液晶モニタ

3 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

フラッシュの到達距離
広角時：約0.8～3.7m
望遠時：約0.8～2.2m

ヒント

オレンジランプまたは⚡（フラッシュ充電中）マークが点滅した
→フラッシュ充電中です。オレンジランプまたは⚡マークが消灯するまでお待ちください。

フラッシュ自動発光時（オート発光・赤目軽減・強制発光）のシャッター速度について
→オレンジランプまたは⚡マークが点灯するとフラッシュは自動発光しますが、シャッター速度は手ぶれが起きにくい秒時に固定され、それより遅くはなりません。また、固定される秒時はズームの位置によって変わります。

ズーム位置	シャッター速度
広角側	1/30秒
望遠側	1/100秒

注意

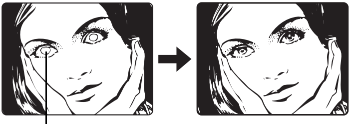
- **S**、**M** モードでは［オート発光］［赤目軽減］［強制発光］［赤目・先幕効果］は選択できません。
- 以下の場合、フラッシュ使用はできません。
  動画モード／連写（高速連写・連写・AF連写・オートブラケット撮影）／スーパーマクロ撮影／ファンクション撮影の白板・黒板モード／パノラマ撮影
- マクロ撮影でズームがW（広角）側にあるときは特に、画面内で光の量がムラになることがあります。必ず再生して画像を確認してください。
- コンバージョンレンズを取り付けた場合、内蔵フラッシュの光はけられます。フラッシュを使用するときは外部フラッシュを使用してください。

●オート発光（表示なし）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

●赤目軽減（◎）

人物をフラッシュ撮影すると目が赤く写ることがありますが、［赤目軽減］に設定するとこの現象が軽減されます。本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。



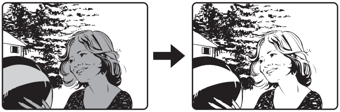
目が赤く写ります

注意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

●強制発光（⚡）

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときに使用します。



注意

- 非常に明るい状況下では、効果が現れにくくなることがあります。

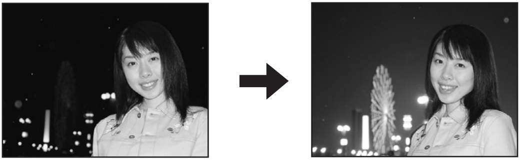
●発光禁止（Ⓢ）

暗いところでも発光させたくないときに使用します。フラッシュを使用できない場所での撮影に使用します。フラッシュが届かない夜景・夕景を撮りたいときにも使用します。

注意
- 暗いところの撮影ではシャッタースピードが遅くなりますので、手ぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

●スローシンクロ（⚡SLOW1 ⚡SLOW2 ◎⚡SLOW1）

遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。通常のフラッシュ撮影では手ぶれを防ぐため、シャッター速度が遅くならないように設定されていますが、このとき夜景などをバックに撮影すると、フラッシュの光が背景まで届かないため、暗くつぶれてしまいます。遅いシャッター速度で撮影すると背景を写し込むことができ、被写体と背景の両方を撮影することができます。シャッター速度が遅いので、背景がぶれないように三脚などでカメラを固定してください。
S、**M**モードでは、設定されたシャッター速度で発光します。



先幕効果（先幕シンクロ） ⚡SLOW1

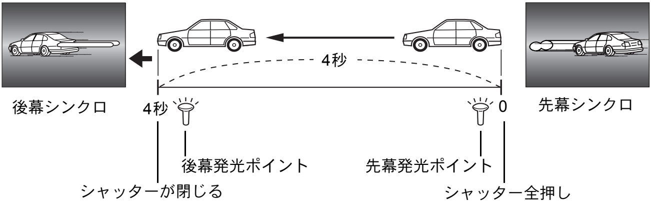
フラッシュはシャッター速度にかかわらず、シャッターが開いた瞬間（直後）に光るようになっています。これを先幕シンクロといい、一般的にフラッシュ撮影はこの方法で行なわれます。スローシンクロの初期設定は［先幕効果］です。

後幕効果（後幕シンクロ） ⚡SLOW2

シャッターが閉じる直前にフラッシュが光るようになっています。フラッシュを発光させるタイミングを変えることで、夜間走行中の車のテールライトが後方に流れる様子を表現するなど、作画に変化をつけることができます。シャッター速度が遅いほうがより効果的です。
シャッター速度の最長は、撮影モードにより異なります。

Mモード　　　　　：15秒（バルブ撮影可）
P、**A**、**S**、[夜景]モード：4秒

シャッター速度が 4 秒のとき



赤目・先幕効果　◎⚡SLOW1

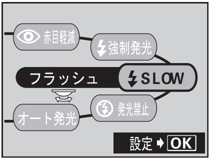
スローシンクロを使ってフラッシュ撮影をしながら、赤目軽減効果も得たいときに使用します。夜景などをバックにして人物を写すときに、赤目現象を起こりにくくします。後幕シンクロでは予備発光から撮影までにかかる時間が長くなり、赤目軽減効果が得られにくいため、先幕シンクロのみの設定となります。

スローシンクロの設定

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 ⚡（フラッシュモード）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、[⚡SLOW] に設定します。





2 ⚡ ボタンを押した状態で Ⓞ を押します。

- メニューが表示されたら、⚡ボタンから指をはなします。



3 ⊕⊖を押して［先幕効果］［赤目・先幕効果］［後幕効果］から選択し、Ⓞ を押します。

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。

ヒント

モードメニューからもスローシンクロの設定ができます

→トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［スローシンクロ］→［先幕効果］［赤目・先幕効果］［後幕効果］から選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

4 フラッシュ

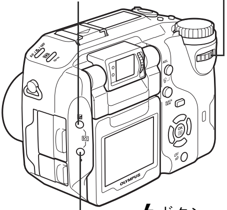
フラッシュ補正

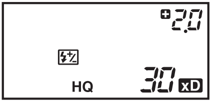
フラッシュの発光量を増減します。
被写体が小さい、被写体の背景が遠いなど、場合によってはフラッシュの発光量を補正した方がよいときがあります。また、コントラスト（明暗差）を意図的につけたいときにもこの機能が便利です。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 （フラッシュモード）ボタンと（露出補正）ボタンを同時に押しながら、コントロールダイヤルを回して調節します。

- 設定中はコントロールパネルに補正値が表示されます。





左に回すと発光量が減少します。
–2.0まで設定できます。



右に回すと発光量が増えます。
+2.0まで設定できます。

ヒント

- 補正値は［1/3EV］または［1/2EV］刻みで設定できます。
「露出ステップ－露出の設定幅を選択する」（P.178）

注意

- シャッター速度が1/300より速い場合は、フラッシュ補正の効果が十分に得られないことがあります。

外部フラッシュ（別売）

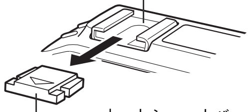
専用外部フラッシュを使って撮る

専用外部フラッシュオリンパスFLシリーズで、多彩なフラッシュ撮影を行うことができます。
専用外部フラッシュのみでの撮影だけでなく、内蔵フラッシュと併用しての撮影も可能です。
専用外部フラッシュを使うと、カメラのフラッシュモードと露出設定を自動的に検出するなど、内蔵フラッシュと同様に扱うことができます。
専用外部フラッシュは、カメラ上部のホットシューに取り付けて使うか、専用フラッシュブラケットFL-BK01（別売）と専用ブラケットケーブルFL-CB02（別売）を組み合わせて使います。

ここでは専用外部フラッシュFL-20をホットシューに取り付けて撮影する方法を説明します。

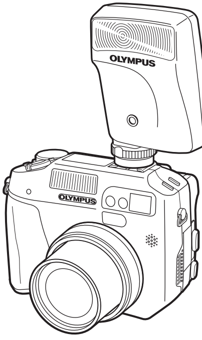
モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 ホットシューカバーを矢印の向きにスライドさせて外します。専用外部フラッシュを取り付けます。



- 専用外部フラッシュの取り付け方は、専用外部フラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- ホットシューカバーはなくさないように保管し、専用外部フラッシュを取り外したあとは、もう一度取り付けてください。

2 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［フラッシュ選択］の順に選択します。
☞「メニューの操作方法」（P.53）



専用外部フラッシュのみを使う場合
→［外部］を選択し、Ⓞを押します。再びⓄを押すと、メニューが終了します。

内蔵フラッシュと併用して、専用外部フラッシュを使う場合
→［内蔵＋外部］を選択し、Ⓞを押します。再びⓄを押すと、メニューが終了します。

3 専用外部フラッシュの電源を入れます。
- 「TTL-AUTO」にモードダイヤルを設定します。
- フラッシュの電源は、必ずフラッシュをカメラに取り付けてから入れてください。

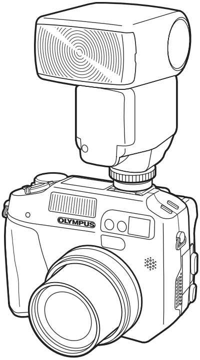
4 ⚡（フラッシュモード）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、フラッシュモードを選択します。
☞「フラッシュ撮影」（P.78）

注意
- 近距離撮影時は露出オーバー（明るすぎ）になることがありますので、その際は内蔵フラッシュのみで撮影してください。
- 内蔵フラッシュと専用外部フラッシュを両方発光させる場合は、内蔵フラッシュは補助光源として発光しますので、専用外部フラッシュの光量が不足する場合は露出が不足することがあります。
- 広角側での撮影では、フラッシュの照射角度が27mmレンズ（35mmフィルム換算）の画角をカバーしていることをご確認ください。
- ワイドパネルをご使用の場合、フラッシュの到達距離が短くなります。

市販の外部フラッシュを使って撮る

市販の外部フラッシュは、ホットシューに接続できるものであれば、使うことができます。使用できる市販の外部フラッシュについては次頁をご覧ください。オリンパスFLシリーズ以外の市販の外部フラッシュは、カメラから発光量の調整をすることはできません。

モードダイヤル設定 ▶ M



1 外部フラッシュをホットシューに取り付けてカメラと接続します。

- 外部フラッシュの取り付け方は、外部フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

2 M モードに設定します。シャッター速度と絞り値を設定します。

☞「マニュアル撮影」（P.92）

- シャッター速度を遅く設定した場合、画像がぶれて撮影されますのでご注意ください。また、フラッシュの効果を出すために、シャッター速度は1/200～1/300の間に設定されることをおすすめします。

3 外部フラッシュの電源を入れます。

- フラッシュの電源は、必ずフラッシュをカメラに取り付けてから入れてください。

4 外部フラッシュ側で、発光量を自動（オート）に設定し、外部フラッシュのISOと絞り値をカメラのISOと絞り値に合わせます。

- 外部フラッシュ側のモードの選択方法は、各フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

注意

- カメラのフラッシュモードは、市販の外部フラッシュには適用されません。カメラのフラッシュモードが発光禁止でも発光します。
- お使いになる外部フラッシュがカメラに同調するか、あらかじめご確認の上、ご使用下さい。

使用できる市販外部フラッシュについて

市販の外部フラッシュをお使いになる前に、下記の事項を必ずご確認ください。

(1) 市販のフラッシュには、シンクロ端子が高圧タイプのものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、カメラを故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。お使いのフラッシュのシンクロ端子の仕様については、フラッシュのメーカーにお問い合わせください。

(2) 市販のフラッシュには、シンクロ端子の極性が逆の機種があり、この場合接続しても発光しません。フラッシュのメーカーへご相談ください。

(3) 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で調節する必要があります。外部フラッシュをオートモードでご使用になる場合は、カメラで設定されているF値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。

(4) 外部フラッシュのオートF値やISO感度をカメラと同条件に設定しても、撮影条件によっては適正露出にならない場合があります。このような場合は外部フラッシュ側のオートF値かISO値をシフトするか、マニュアルモードで距離を計算してご使用ください。

(5) フラッシュの照射角がレンズの画角をカバーする製品をご使用ください。但し、ワイド側の近距離撮影においては、画面下がけられる場合があります。フラッシュの配光を広げるワイドアダプタが付属されているものが理想的です。

(6) フル発光時の閃光時間が1/200秒以下の製品をご使用ください。
閃光時間が長いものは、光の一部が露出に寄与しなくなる場合があります。

(7) **オリンパスFLシリーズ以外の通信機能付き外部フラッシュ、およびその付属品をお使いになると正常に機能しないだけでなく、故障の原因となることがありますのでご使用にならないでください。**

スレーブモードを使って撮る

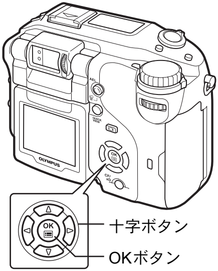
フラッシュ光に同期して発光する市販のスレーブフラッシュを使う場合などに設定します。
フラッシュの発光量を10段階に設定できます。連写を設定してもフラッシュを発光させることができます。ただし、発光量を大きくすると、連写の間隔が長くなります。

オート発光、赤目軽減：強制発光に設定が自動的に変更されます。
赤目・先幕効果　　　：先幕効果に設定が自動的に変更されます。

モードダイヤル設定 ▶ A M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［フラッシュ選択］→［スレーブ］を選択、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

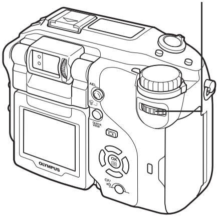


2 △▽を押して、発光量を［1］～［10］から選択し、OKを押します。

3 メニューが消えるまで繰り返しOKを押します。

絞り優先撮影 A

モードダイヤル設定 ▶ A



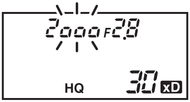
1 コントロールダイヤルを回して、絞り値を設定します。

左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。



右に回すと絞りが絞られ(絞り値が大きくなり）ます。

- 絞り値の設定幅は変更できます。☞「露出ステップー露出の設定幅を選択する」（P.178）
- シャッターボタンを半押しすると、コントロールパネルにシャッター速度が表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出でない場合はシャッター速度が点滅します。

コントロールパネル		液晶モニタ	意味
	点灯	緑の絞り値表示	適正露出
	点滅	赤の絞り値表示	適正露出が得られません。液晶モニタを点灯させているときは、以下のように対応してください。



▲が表示されるとき…露出オーバー
コントロールダイヤルを右に回して、絞り値を大きくします。

▼が表示されるとき…露出アンダー
コントロールダイヤルを左に回して、絞り値を小さくします。

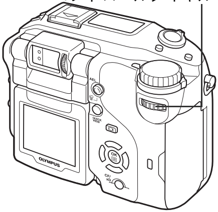
設定範囲　W側：F2.8～F8.0、T側：F4.8～F8.0

注意
- フラッシュがオート発光、または強制発光に設定されているとき、シャッター速度は、ズームの設定がもっとも広角側（W端）で1/30秒、もっとも望遠側（T端）で1/100秒よりも低速にはなりません。

シャッター優先撮影 S

モードダイヤル設定 ▶ S My

コントロールダイヤル



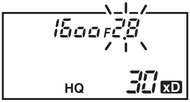
1 コントロールダイヤルを回して、シャッター速度を設定します。

左に回すとシャッター速度が遅くなります。



右に回すとシャッター速度が速くなります。

- シャッター速度の設定幅は変更できます。☞「露出ステップ－露出の設定幅を選択する」（P.178）
- シャッターボタンを半押しすると、コントロールパネルに絞り値が表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出でない場合は絞り値が点滅します。

コントロールパネル		液晶モニタ	意味
	点灯	緑のシャッター速度表示	適正露出
	点滅	赤のシャッター速度表示	適正露出が得られません。液晶モニタを点灯させているときは、以下のように対応してください。



▲が表示されるとき…露出オーバー
コントロールダイヤルを右に回して、シャッター速度を速くします。

▼が表示されるとき…露出アンダー
コントロールダイヤルを左に回して、シャッター速度を遅くします。

設定範囲：4～1/2000（秒）

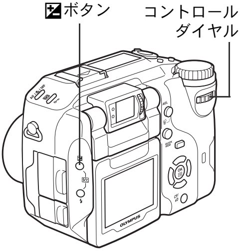
注意
- シャッター速度を遅く設定して撮影するときは、カメラぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

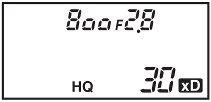
マニュアル撮影 M

モードダイヤル設定 ▶ M My

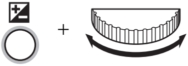
1 （露出補正）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、絞りを設定します。

- 絞り値とシャッター速度の設定幅は変更できます。
  「露出ステップ－露出の設定幅を選択する」（P.178）





左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。



右に回すと絞りが絞られ（絞り値が大きくなり）ます。

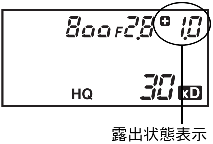
2 コントロールダイヤルを回して、シャッター速度を設定します。

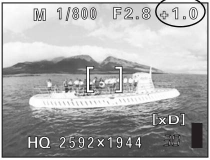
左に回すとシャッター速度が遅くなります。



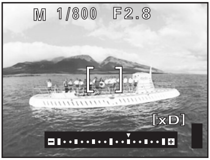
右に回すとシャッター速度が速くなります。

- シャッターボタンを半押しすると、設定されている絞り値とシャッター速度から算出される露出と、カメラが算出する適正露出との露出差が－3.0～＋3.0EVの範囲で、表示されます。
- コントロールパネルの露出状態表示が点滅、または液晶モニタの露出状態表示が赤く表示されたときは、露出差が－3.0EVよりも小さい、または＋3.0EVよりも大きいことを示しています。





• AEL（AE ロック）ボタンを押すと、右図のような露出状態を示すバーが表示されます。



絞り値：F2.8～F8.0
シャッター速度：15～1/2000（秒）
（絞り値F8.0のときは1/4000まで）

ヒント

長時間露出（バルブ）撮影するには

1 コントロールダイヤルを左に回して、シャッター速度をbulbに設定します。
2 シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。
  • バルブ撮影は最長120秒まで可能です。
  • パワーバッテリーホルダーを使うと、リモートケーブル（別売）を使用できます。

注意
• シャッター速度を遅く設定して撮影するときは、カメラぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

Mモードリアル表示 －撮影結果に近い露出で液晶モニタに表示する

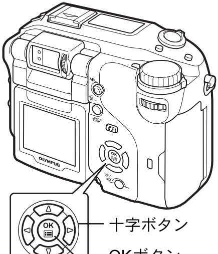
Mモードで液晶モニタを見て撮影するときは、被写体を確認しやすいように、カメラが明るさを自動的に調整して液晶モニタに表示します（オフ（初期設定）の場合)。「オン」に設定すると、設定した露出に応じた明るさで被写体が液晶モニタに表示されます。撮影結果に近い画像をあらかじめ液晶モニタで確認しながら撮影することができます。

モードダイヤル設定 ▶ M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［リアル表示］→［オン］を選択し、を押します。

「メニューの操作方法」（P.53）

• 再度を押すと、メニューが終了します。



5 撮影の応用

マイモード撮影

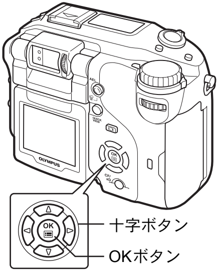
マイモードは、メニューのマイモード設定で登録した設定で撮影します。あらかじめ、使用する撮影モードや機能の設定をマイモードとして登録しておくことで、お好みの撮影がすばやくできます。登録されている8種類のマイモードから、どの設定を使用するか選択します。

モードダイヤル設定 ▶ マイモード

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［マイモード選択］→［マイモード1］～［マイモード8］から選択し、OKを押します。

「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。
- ［マイモード1］のみ、あらかじめ設定値が登録されています。［マイモード2］～［マイモード8］は設定値を登録しないと選択できません。
  「マイモード設定－マイモードに機能を登録する」（P.174）



ピント合わせの応用

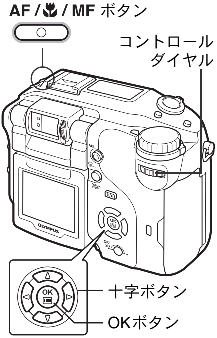
AF方式－ピント合わせの範囲を変える

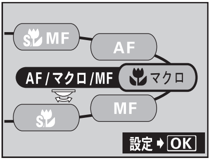
被写体の焦点を合わせる方式を選択します。

iESP　被写体が中央にない場合にもピントを合わせます。ピントの合った位置に液晶モニタのAFターゲットマークが移動します。
スポット　AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。

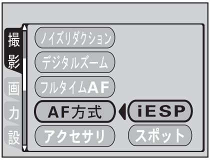
モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1　AF/マクロ/MF ボタンを押しながら OK を押します。
- AF方式メニューが表示されます。
- ［**MF**］、または［**S-マクロMF**］に設定しているときは、OKを押してもメニューは表示されません。





2　上下を押して［iESP］、または［スポット］から選択し、OKを押します。
- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



ヒント

モードメニューからもAF方式の設定ができます

→トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［AF 方式］→［iESP］、または［スポット］から選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

注意

- 🎥モードでは、AF方式は［iESP］に固定されています。設定は変更できません。

フルタイムAF－ピント合わせの時間を短くする

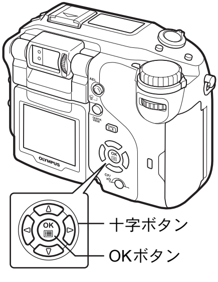
シャッターボタンを半押ししなくても、ピント合わせの動作を繰り返します。「オン」に設定すると、ピント合わせの時間が短縮され、シャッターチャンスを逃すことなく撮影できます。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［フルタイムAF］→［オン］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 液晶モニタに被写体が表示されます。
- 液晶モニタが点灯していないとフルタイムAFは作動しません。
- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



注意

- 🎥モードでは、「ムービー録音」がオンに設定されていると撮影中はフルタイムAFは働きません。
- フルタイムAFを設定しているときは、電池の消耗が早くなります。

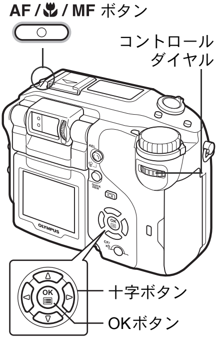
AFターゲット移動－AFターゲットマークの位置を変える

AFターゲットマークの位置を移動させて、ピント合わせをするエリアを選択します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

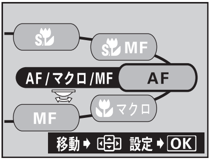
1 AF方式を［スポット］に設定します。

☞「AF方式－ピント合わせの範囲を変える」（P.95）



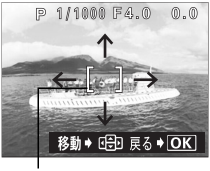
2 AF/マクロ/MFボタンを押しながら十字ボタンを押して、AFターゲットマークをピントを合わせたいエリアに移動させます。

- ［**MF**］、または［**S マクロMF**］に設定しているときは、十字ボタンを押してもAFターゲットマークの移動はできません。



3 撮影します。

- AFターゲットマークの位置を元（中央）に戻すには、右の画面で**AF/マクロ/MF**ボタンを押した状態でOKを押します。



5 撮影の応用

注意
- カメラの電源を切ったり、撮影モードを切り換えると、AFターゲットの位置は中央に戻ります。
- デジタルズームがオンのときは、AFターゲット移動はできません。

AFイルミネータについて

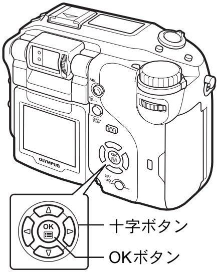
被写体が暗い場合でも、オートフォーカスでのピント合わせを可能にします。シャッターボタンを半押しすると自動的にAFイルミネータが発光し、被写体を照らします。初期設定は「オン」です。AFイルミネータを「オフ」にするには、以下の手順にしたがって設定してください。

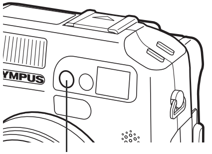
モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［AFイルミネータ］→［オフ］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。





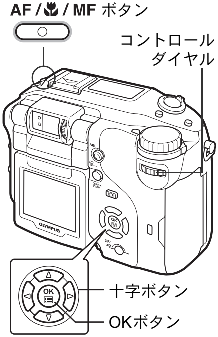
注意
- 80cm以下の近接撮影では、AFイルミネータを点灯させてもピントが合わない場合があります。

マニュアルフォーカス－手動でピントを合わせる

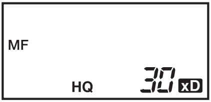
オートフォーカスでピント合わせがうまくいかないときは、手動でのピント合わせが可能です。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

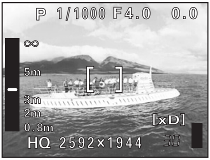
1 AF/🌷/MF（AF／マクロ／MF）ボタンを押しながら、コントロールダイヤルを回して［MF］に設定します。



- コントロールパネルに MF が表示されます。

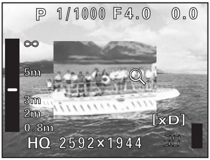


- AF/🌷/MFボタンから指をはなすと、液晶モニタに被写体が表示されます。



2 △▽を押して、ピント位置を設定します。

- 操作中は中央部が拡大表示されます。ピントが正しく合っているかどうか、確認してください。
- 液晶モニタの左側の距離表示は、目安です。
- 0.8m 以下にカーソルを移動させると、自動的に目盛りが20cm～80cmになります。



5
撮影の応用

3 撮影します。
- ピントは設定した距離で固定されます。

ヒント

ピント位置を固定しておきたい

→ 手順2でピント位置を決定した後で、Ⓞを押します。ピント位置が固定され、画面に赤く**MF**と表示されます。

フォーカスロックした位置で、ピント位置を固定させたい

1. 液晶モニタが消灯しているときは、[◎]を押して液晶モニタを点灯させておきます。
2. 距離を合わせたいものにAFターゲットマークを合わせて、シャッターボタンを半押しします。
3. シャッターボタンを半押しした状態で**AF/🌷/MF**ボタンを押します。
   - 液晶モニタに距離表示が表示されます。
   - MFに設定され、フォーカスロックをした位置でピント位置が固定されます。
   - オートフォーカスに戻すには、［AF］に設定してください。

距離表示の一番上にカーソルを合わせても、ピントが∞（無限位置）に合わない

→ 液晶モニタを見ながら △▽ を押して、カーソルの位置を少しずつ調整してください。

至近距離で撮影したい

→ スーパーマクロMFモードで撮影すると、約3cmまで近づいて、マニュアルフォーカスで撮影できます。**AF/🌷/MF**ボタンを押しながら、コントロールダイヤルを回してS🌷MFに設定してください。
☞「スーパーマクロ撮影－至近距離で撮る」（P.108）

注意
- デジタルズームの倍率が2.5倍以上のときは、ピントを合わせている範囲は拡大表示されません。
- 撮影距離を設定した後でズーム操作をすると、設定距離が変わることがあります。再度、ピント位置を設定してください。

測光

測光方式には、以下の4通りがあります。目的に合わせて選択してください。

デジタルESP測光　画面の中央部と周辺部を別々に測光し、演算して最適な露出を決定します。

スポット測光　測光ターゲットマークの範囲を測光し、露出を決定します。逆光などで被写体が暗くなるときに背景の光などに影響されることなく、被写体を適正露出で撮影できます。☞ P.101

マルチ測光　被写体の数カ所（最大8カ所）を測光し、その平均値から最適な露出を決定します。明暗の差の大きい被写体など、適正露出がでにくい場合に有効です。☞ P.103

中央重点測光　画面の中央部に重点をおいた広い範囲を測光し、露出を決定します。同辺部の明るさを影響させたくないときに使用します。☞ P.101

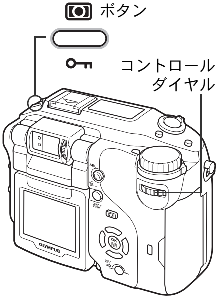
スポット測光・中央重点測光－測光範囲を選択して撮る

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 (測光）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、(スポット測光）または(中央重点測光）に設定します。

- コントロールパネルに、またはが表示されます。



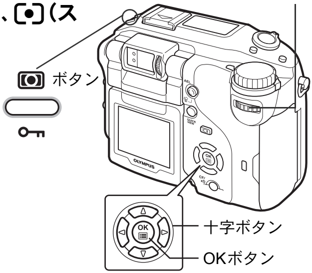


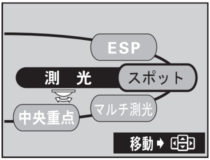
測光ターゲット移動－スポットターゲットの位置を変える

測光モードをスポットに設定しているときに、測光ターゲットマークの位置を移動させて、測光するエリアを選択します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 (測光)ボタンを押した状態でコントロールダイヤルを回して、[•](スポット測光)に設定します。



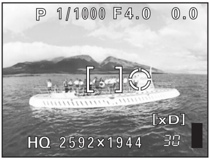


2 ボタンを押した状態で十字ボタンを押して、測光ターゲットマークを測光したいエリアに移動させます。



3 撮影します。

- 測光ターゲットマークの位置を元(中央)に戻すには、手順2の画面で ボタンを押した状態で を押します。



• カメラの電源を切ったり、撮影モードを切り換えると、測光ターゲットの位置は中央に戻ります。

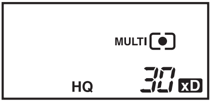
注意

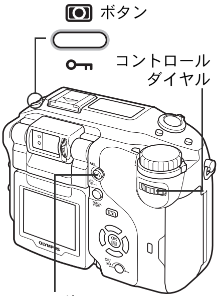
マルチ測光－被写体の明るさを複数箇所測る

モードダイヤル設定 ▶ P A S

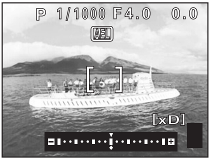
1 (測光)ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、MULTI (マルチ測光)に設定します。

• コントロールパネルに MULTI が表示されます。





2 測光したいところに AF ターゲットマークを合わせて、AEL (AEロック)ボタンを押します。最大8カ所まで測光を繰り返します。



• 液晶モニタにマルチ測光バーが表示されます。
• 9回目以降の操作は無効です。
• 測光をやり直すには、AELボタンを1秒以上押して MEMO と表示させます。再度AELボタンを押すと、測光値は取り消されます。

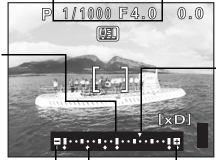
5

撮影の応用

例：2つのポイントを測光した場合（AELボタンを2回押した場合）

2回の測光の平均値から算出されたシャッター速度／絞り値。さらにポイントを測光して、平均値を出すたびに、ここの数値は更新されます。

2回の測光の平均値。バーの中央は、常に測光したポイントの平均値を示します。



レンズを向けている被写体を測光して、平均値との差を表示します。シャッターボタンを半押しすると、測光値は固定され、このマークは止まります。（AELボタンを押さないと、平均値の計算にはここの値は含まれません。）

AELボタンを押したポイントの測光値。◇の数は、押した回数分表示されます。測光値と平均値との差の分だけ、バーの中央からはなれた位置に◇が表示されます。

平均値を示すバーの中央から、◇が±3以上はなれると、◁ ▷が赤く表示されます。

ヒント

マルチ測光値を撮影後も記憶させたい（AEメモリ）

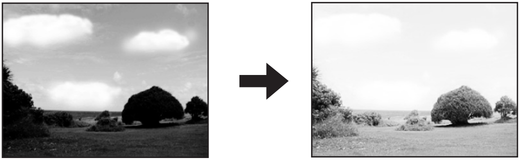
→ 手順2で測光した後に、AELボタンを1秒以上押します。MEMOと表示されます。MEMOが表示されている間、露出は記憶されています。AEメモリを解除するには、再度AELボタンを押します。

測光値が取り消されてしまった

→ 手順2で測光した後に、ボタンやモードダイヤルを操作すると、マルチ測光値が取り消されます。

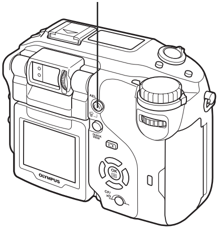
AEロック撮影－露出を固定するには AEL

被写体のコントラストが強いときなど、適正露出が得られないときに使います。
例えば、空が構図の広い範囲を占めていると被写体が暗くなってしまうことがあります。この場合、空を外した構図の状態でAELボタンを押して測光値を一時的にロックします（露出を固定します）。次に、空を入れた構図に戻して撮影をします。



モードダイヤル設定 P A S

1 測光値をロックしたい構図にして、AEL（AEロック）ボタンを押します。



- 測光値が記憶されます。
- AEロックをやり直したいときは、再度AELボタンを押してAEロックを解除します。AELボタンを押すたびに、ロックと解除が繰り返されます。

2 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせて、シャッターボタンを半押しします。



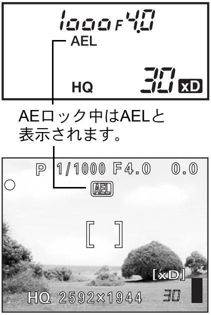
- 緑ランプが点灯します。

5

撮影の応用

3 シャッターボタンを全押しします。

- AE ロックは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。



ヒント

ロックした測光値を撮影後も記憶させたい（AEメモリ）

→ 手順1でAEロックした後、または手順2でシャッターボタンを半押しした後に、AELボタンを1秒以上押します。MEMOと表示されます。MEMOが表示されている間、露出は記憶されています。AEメモリを解除するには、再度AELボタンを押します。

AEロックをしたのに、解除されてしまった

→ AEロックした後で、ボタンやモードダイヤルを操作しないでください。AEロックが解除されます。

→ スリープモードから復帰したときや、電源を一度切ったときは、AEロックが解除されます。

注意

- マルチ測光が設定されているときは、AE ロックできません。測光方式を［ESP］、［スポット］または［中央重点］に設定してください。☞「測光」（P.101）
- メニューが表示されているときは、AEロックできません。
☞「メニューの操作方法」（P.53）

マクロ撮影－近くのものを撮る

通常の撮影では、近接した被写体（20cm～80cm）にピントを合わせるのに時間がかかりますが、🌷（マクロ）モードにすると近接撮影のピント合わせが早くなります。🌷モードでは、名刺サイズをほぼフレームいっぱいに撮影できます（光学ズームをもっとも望遠にして、20cmまで近づいて撮影した場合）。

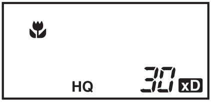

通常撮影

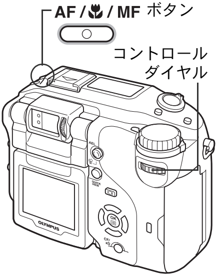

マクロ撮影

モードダイヤル設定 P A S M

1 AF/🌷/MF（AF／マクロ／MF）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、🌷に設定します。

- コントロールパネルに🌷が表示されます。





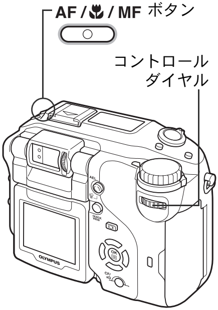
- **AF/🌷/MF**ボタンから指をはなすと、液晶モニタに被写体が表示されます。

注意
- 被写体との距離が近いと、ファインダ内の画像と実際に写る範囲にずれが生じます。撮影には液晶モニタをお使いください。
- フラッシュ使用時は影が目立ったり適正な明るさにならないことがあります。

スーパーマクロ撮影－至近距離で撮る

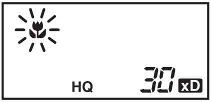
被写体に約3cmまで接近して撮影できます。約2.1×2.8cmの被写体をフレームいっぱい撮影できます。
スーパーマクロは通常の撮影距離にも対応しますが、ズームは使用できません。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M



1 AF/🌷/MF（AF／マクロ／MF）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、S🌷（スーパーマクロ）に設定します。

- コントロールパネルの🌷が点滅します。



- **AF/🌷/MF**ボタンから指をはなすと、液晶モニタに被写体が表示されます。
- ズームが所定位置に移動し、固定されます。

●スーパーマクロMF

被写体に近づいて撮影する場合、被写体が影になりやすく、オートフォーカスではピントが合いにくくなることがあります。この場合は、スーパーマクロMFに設定してマニュアルフォーカスで撮影します。

1 AF/🌷/MF ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、S🌷MF（スーパーマクロMF）に設定します。

- コントロールパネルのMFが点滅します。

2 AF/🌷/MFボタンから指をはなすと、液晶モニタに被写体とマニュアルフォーカスの距離表示が表示されます。

3 △▽を押してピントを合わせます。

- OKを押すとピント位置が固定され、画面に赤く MF S🌷 と表示されます。

注意

- 被写体との距離が近いと、ファインダ内の画像と実際に写る範囲にずれが生じます。撮影には液晶モニタをお使いください。
- スーパーマクロ撮影では、内蔵フラッシュは使えません。外部フラッシュは使用できますが、フラッシュの光がけられる場合があります。撮影した画像は液晶モニタで確認してください。

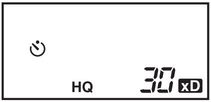
セルフタイマー撮影

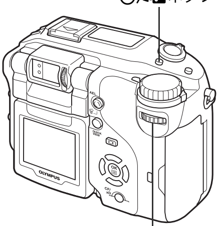
セルフタイマーを使って撮影します。カメラを三脚にしっかり固定して撮影してください。記念写真などを撮るときに便利です。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 （セルフタイマー／リモコン）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、（セルフタイマー）に設定します。

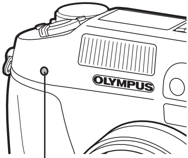
- コントロールパネルにが表示されます。





2 シャッターボタンを全押しして、撮影します。

- ピントと露出はシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。
- セルフタイマー／リモコンランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- ムービー撮影の場合、再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了してください。



- 作動中のセルフタイマーを中止するには、ボタンを押します。
- セルフタイマーモードは、一回の撮影が終わると自動的に解除されます。

注意

- 連写モードでセルフタイマー撮影すると、設定にかかわらず最大5コマ撮影されます。

5 撮影の応用

リモコン撮影

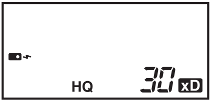
同梱のリモコンを使って撮影できます。記念写真を撮るときや、夜景撮影など、カメラに触れないでシャッターを切りたい場合に便利です。

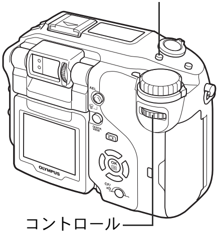
モードダイヤル設定 P A S M

1 カメラを三脚などでしっかり固定させます。

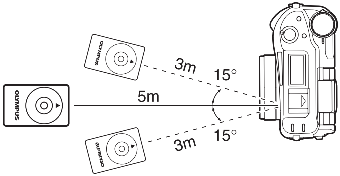
2 （セルフタイマー／リモコン）ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して、（リモコン）に設定します。

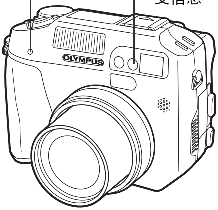
- コントロールパネルに が表示されます。





3 リモコンをカメラのリモコン受信窓に向けます。





4 リモコンのシャッターボタンを押します。

- ピントと露出が固定され、カメラのセルフタイマー／リモコンランプが点滅し、約2秒後にシャッターが切れます。

ヒント

リモコンのシャッターボタンを押してもセルフタイマー／リモコンランプが点滅しない

→ カメラから離れすぎているため、リモコン信号が届いていません。カメラに近づいて、再度リモコンのシャッターボタンを押してください。

→ リモコンの電池残量が少なくなっています。新しい電池と交換してください。☞「リモコンの電池交換」（P.248）

リモコンモードを解除したい

→ リモコンモードは撮影後も自動的には解除されません。手順2にしたがってオフ（表示なし）に設定してください。

注意

- リモコン受信窓に強い光があたると、リモコンの届く距離が短くなったり、撮影ができなくなることがあります。
- リモコン撮影で連写をする場合は、リモコンのシャッターボタンを押し続けてください。リモコンの受信状態が悪くなると、連写が途中で終了してしまうことがあります。

連写（高速連写／連写／AF連写／オートブラケット）

連続撮影（連写）には、高速連写、連写、AF連写、オートブラケットの4種類があります。
画質モードがTIFFに設定されているときは、連続撮影はできません。

ドライブモード

単写	シャッターボタンを押すたびに、1コマだけ撮影されます。（通常の撮影モード、1コマ撮影）
高速連写	通常の連写より高速で連写できます。記録する画質設定によって連写速度が異なります。 約3コマ／秒で約4枚（SHQのプリント拡大のみ3枚）
連写	最初の1コマでピント、明るさ（露出）、ホワイトバランスが固定されます。 約1.4コマ／秒で約10枚（HQモード使用時）
AF連写	1コマごとにピントを合わせます。連写速度は遅くなります。
オートブラケット	☞「オートブラケット撮影」（P.113）

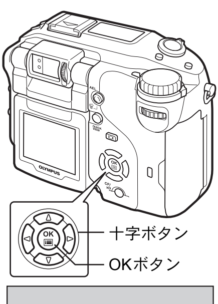
高速連写・連写・AF連写

モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ドライブ］→［高速連写］または［連写］［AF連写］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



2 撮影します。

- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指をはなすと連写は止まります。
- ファインダを使って撮影してください。連写中、液晶モニタに被写体は表示されません。



オートブラケット撮影

状況によっては、カメラが算出する最適な露出で撮影するより、露出を補正して撮影するほうが良い仕上がりになる場合があります。
オートブラケット撮影を設定すると、シャッターボタンを押している間1コマごとに自動的に露出を変えて連続撮影をします。変化させる露出差と連続撮影枚数は、メニューで選択します。ピントとホワイトバランスは最初の1コマで固定されます。

例：BKT設定が［±1.0］［×3］の場合

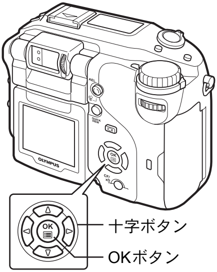


－1.0　　0.0　　＋1.0

モードダイヤル設定 ▶ P A S

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ドライブ］→［BKT］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 露出差を選択します。△▽を押して［±0.3］または［±0.7］［±1.0］を選択し、▷を押します。

- 露出ステップを［1/2EV］に設定しているときは、［±0.5］［±1.0］［±1.5］から選択します。
☞「露出ステップ－露出の設定幅を選択する」（P.178）



5
撮影の応用

3 撮影枚数を選択します。⊗⊗を押して［×3］または［×5］を選択し、㊙を押します。

- 画像サイズと画質の組み合わせにより、［×3］しか選択できない場合があります。
- メニューが消えるまで繰り返し㊙を押します。

4 撮影します。

- 設定した枚数の撮影が終わるまで、シャッターボタンを全押しし続けます。途中でやめるときは、シャッターボタンをはなします。

注意

- 以下の場合、高速連写・連写・AF 連写・オートブラケット撮影 はできません。
  - 画質モードがTIFF
  - ノイズリダクションの設定がオンの場合
- 画質モードがRAWの場合、連写・AF連写は選択できません。
- 連写モード（高速連写・連写・AF 連写・オートブラケット撮影 ）時は、内蔵フラッシュは発光しません。オートブラケット撮影では外部フラッシュも発光しません。
- **M**モードではオートブラケット撮影できません。
- **S**、**M**モード以外ではシャッター速度は、手ぶれを抑えるため最長1/30秒に設定されています。そのため暗い被写体では露出不足の画像になります。
- **S**モード以外のオートブラケット撮影では、露出差 0 のときにシャッター速度が1/30より長秒時の場合、1/30秒に固定してブラケット撮影します。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- オートブラケット撮影では、カードの空きが設定枚数以上ないと続けて次の撮影をすることはできません。

パノラマ撮影

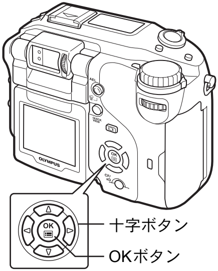
当社製のxDピクチャーカードを使うと、パノラマ撮影が簡単に楽しめます。被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像を、CAMEDIA Master（付属のCD-ROMに収録）でつなぎ合わせ、1枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

モードダイヤル設定 ▶ P MY 夜景 風景 風景人物 スポーツ ポートレート

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［パノラマ］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- パノラマが設定されます。液晶モニタに被写体が表示されます。



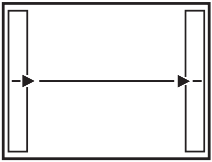
2 液晶モニタを見ながら、十字ボタンでつなげる方向を指定します。

▷ ：次の画像を右につなげます。

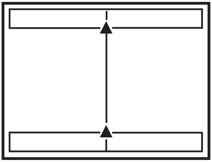
◁ ：次の画像を左につなげます。

△ ：次の画像を上につなげます。

▽ ：次の画像を下につなげます。



左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

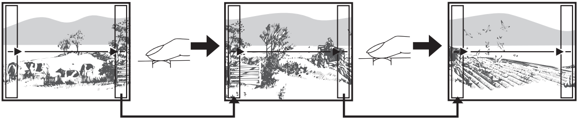


下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

5 撮影の応用

3 被写体の端が重なるように撮影します。

- ピント・露出・ホワイトバランスなどは、1枚目で決定されます。1枚目に太陽などの光の強い被写体を入れた撮影をしないでください。
- 1枚目を撮影した後は、ズーム操作はできません。
- 最大10枚までパノラマ撮影が可能です。



端の枠の画像を覚えておいて、次のコマの枠の画像と同じになるように撮影してください。前に撮影した画像の右端（左回りのときは左端）は、次の画像の左端（左回りのときは右端）と同じ画像が撮影できるように構図を設定して撮影してください。

- 10 枚撮り終わると警告マークが表示されます。



4 パノラマ撮影を終了するには、(OK)を押します。

- 画面内の枠が消えて、通常の撮影モードに戻ります。

注意

- パノラマ合成機能付きのカード以外でパノラマ撮影はできません。
- パノラマ撮影中はフラッシュ、連写（高速連写・連写・AF 連写・オートブラケット）、プログラムシフト、ガイドライン撮影は使用できません。
- 画質モードをTIFF（非圧縮）に設定してパノラマ撮影をすると、同じ画像サイズのJPEG（圧縮）で記録されます。
- 画質モードがRAWのときは、パノラマ撮影できません。
- パノラマ撮影中にモードダイヤルを操作すると、パノラマ撮影は解除され、通常の撮影モードに戻ります。
- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合は、CAMEDIA Masterをご使用ください。

合成ツーショット撮影

2回続けて撮影した画像を合成して、1枚の画像として保存します。別々の被写体を1枚の画像にして楽しむことができます。



再生時の画面

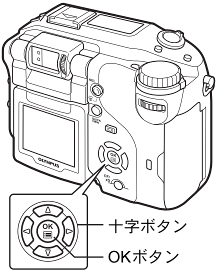
モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［合成ツーショット］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 液晶モニタに合成ツーショット撮影画面が表示されます。

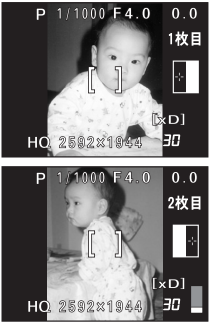


2 液晶モニタを見ながら1枚目を撮影します。

- 撮影した被写体は合成時には左側に配置されます。

3 続けて2枚目を撮影します。

- 撮影した被写体は合成時には右側に配置されます。
- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、モードメニューに戻ります。



撮影時の画像

注意

- 合成ツーショット撮影中は、パノラマ撮影、連写（高速連写・連写・AF連写・オートブラケット)、プログラムシフト、ガイドライン撮影は使用できません。
- 画質モードがRAWのときは、合成ツーショット撮影はできません。
- 1枚撮影後、合成ツーショットを中止したいときは㊗を押してください。1枚目に撮影した画像は記録されません。
- 合成ツーショット撮影中にモードダイヤルを操作すると合成ツーショット撮影は解除されます。
- 1枚撮影後にスリープモードに入ると、合成ツーショット撮影は解除されます。

ガイドライン撮影

構図を決めるときに便利なガイドラインを液晶モニタに表示します。

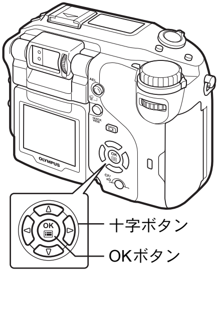
罫線表示　縦横の罫線が表示されます。罫線を目安にして構図を決めます。

オン　人物のシルエットなどのガイドラインが表示されます。数種類のガイドラインから目的にあったものを選択し、撮影します。

モードダイヤル設定　P A S M

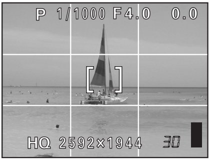
1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ ］→［罫線表示］、または［オン］を選択します。

☞「メニューの操作方法」(P.53)



2 ［罫線表示］を選択した場合は、㊋を押します。

- 再度㊋を押すとメニューが終了します。
- 液晶モニタに罫線が表示されます。



［罫線表示］の場合

［オン］を選択した場合は、▷を押します。☞ 手順3へ進みます。

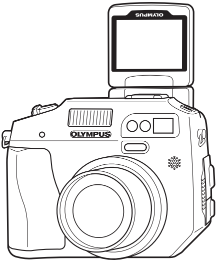
- 液晶モニタにガイドラインが表示されます。



［オン］の場合

3 △▽を押してガイドラインを選択し、撮影します。

- 液晶モニタを見ながら構図を決めて、対面撮影できます。
- 円形のガイドラインを選択すると、CDのレーベルにプリントするのに適した状態を確認しながら撮影できます。
- ガイドライン撮影を終了するには、㊋を押してメニューを表示させます。再度㊋を押すと、メニューが終了します。



ヒント

- 再生モードで罫線を表示することができます。
☞「罫線表示－画像上に罫線を表示する」（P.187）

注意

- ガイドラインは撮影した画像には写し込まれません。

ファンクション撮影（モノクロ／セピア／白板／黒板）

特殊効果をつけて撮影します。

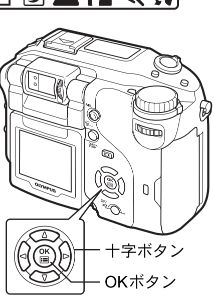
モノクロ　白黒に撮影できます。
セピア　セピア色に撮影できます。
白板　白黒写真になり白板に書いた黒字が強調され、読みやすくなります。
黒板　白黒写真になり黒板に書いた白字が強調され、読みやすくなります。

モードダイヤル設定　P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ファンクション撮影］→ファンクション撮影の種類を選択し、㊇を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- モードでは、［白板］［黒板］は選択できません。
- 再度㊇を押すと、メニューが終了します。





ヒント

白板、黒板を選択しても、文字がきれいに撮影されない
→露出補正をします。☞「露出補正」（P.130）

注意
- ［白板］［黒板］を設定すると、フラッシュは発光しません。
- ファンクション撮影を設定すると、ホワイトバランス、WB補正、彩度の設定はできません。

スチル録音

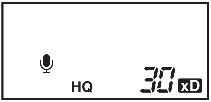
静止画撮影時に音声を録音します。シャッターが閉じてから約0.5秒後に録音を開始し、約4秒間録音します。
スチル録音をオンに設定すると、撮影後、毎回自動的に録音します。

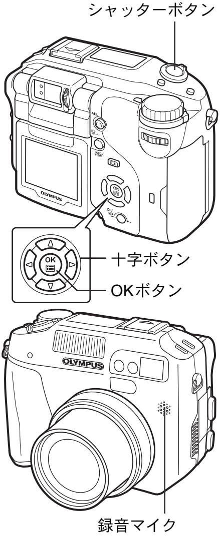
モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［スチル録音］→［オン］を選択し、㊙を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度㊙を押すと､メニューが終了します。
- コントロールパネルに🎙が点灯します。





2 シャッターボタンを押して録音が始まったら､カメラのマイクを録音する対象に向けます。

- 録音中を示すバーが表示されます。
- 録音中は緑ランプが点滅し、コントロールパネルの🎙が点滅します。

ヒント

- スチル録音／ムービー録音した画像は液晶モニタに［♪］が表示されます。録音した画像を再生すると、音声がスピーカから出力されます。音量は調節することができます。☞「再生音量－音量を調整する」（P.191）
- 静止画再生中に、音声をあとから録音することができます。また、撮影中に録音済みの音声を録音し直すこともできます。☞「音声の録音」（P.157）

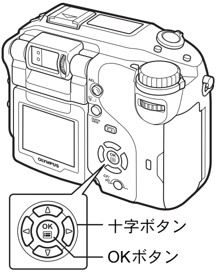
注意

- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。
- 録音中は次の撮影ができません。
- 以下の場合は、録音できません。
  画質モードがTIFFに設定されている場合／連写（高速連写・連写・AF連写・オートブラケット）が設定されている場合／パノラマ撮影／合成ツーショット撮影
- 録音中にボタン操作などを行うと、その音が録音されてしまうことがあります。

ムービー録音

ムービー撮影と同時に音声を録音します。

モードダイヤル設定



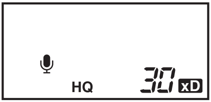
1 トップメニューから［ムービー録音］→［オン］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- コントロールパネルにマイクが点灯します。

2 撮影と同時に録音が開始されます。

- 録音中はコントロールパネルのマイクが点滅します。



注意

- ムービー録音がオンに設定されていると、ムービー撮影中は、ピントとズームが固定されます。ムービー録音をオフに設定すると、ムービー撮影中、光学ズームとデジタルズームがどちらも動作します。
- 録音対象がカメラから1m以上はなれると、きれいに録音されない場合があります。

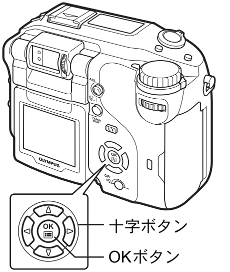
別売のアクセサリーを使用する

別売の専用コンバージョンレンズ、または防水プロテクタをカメラに取り付けて撮影する際に設定します。

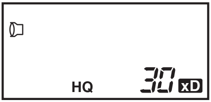
モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［アクセサリ］→［ ］（コンバージョンレンズ）、または［ ］（防水プロテクタ）を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。
- コントロールパネルに が表示されます。



注意

- レンズにフィルタを取り付けた状態で、コンバージョンレンズ、または防水プロテクタを使うことはできません。
- コンバージョンレンズを取り付けた場合、内蔵フラッシュの光はけられます。フラッシュを使用するときは外部フラッシュを使用してください。
- コンバージョンレンズ、または防水プロテクタを取り付けた場合、ピント合わせに時間がかかることがあります。
- コンバージョンレンズと防水プロテクタを同時に使用するときは、 を選択してください。

画質モード

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。各画質モードでの画像サイズやカードへの記録可能枚数については、P.126の表をご覧ください。

通常の画質モード

← **画像が精細になる**

↑ **画像サイズが大きくなる**

用途	圧縮／画像サイズ	非圧縮	低圧縮	高圧縮
プリントサイズに合わせて選択	2592×1944	TIFF	SHQ	HQ
	2288×1712		SQ1 高画質	SQ1 標準
	2048×1536			
	1600×1200			
	1280×960		SQ2 高画質	SQ2 標準
	1024×768			
小さいプリントやホームページ用	640×480			

●画像サイズ

画像をカードに記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントするときは、大きなサイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、カードに記録できる枚数は少なくなります。

●圧縮

TIFFモード以外の画質モードでは、画像を圧縮して保存します。圧縮が高いほど画質は粗くなります。

●画像サイズとパソコンモニタ上での画像の大きさ

撮影した画像をパソコン上で見る場合に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。たとえば、1024×768ピクセルの画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が1024×768のとき画像を等倍（100％）で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上（1280×1024など）になると、モニタの一部にしか表示されません。

特殊な画質モード

画質モード	特徴	画像サイズ
RAW	画像処理を行わない撮影したままの生データです。	2592×1944
プリント拡大（SHQ、HQ）	画像サイズを拡大します。大きなサイズでプリントするときに適しています。	3264×2448
3：2（TIFF、SHQ、HQ）	写真店でプリントするときに適しています。	2592×1728

RAW データ

ホワイトバランス、シャープネス、コントラスト、色変換などの処理を行っていない未加工のデータです。画像として表示するにはCAMEDIA Masterを使います。Photoshopで再生するためのプラグインソフトもあります（当社ホームページからダウンロードできます）。一般のソフトウェアで表示したり、プリント予約することはできません。
このカメラで、画質モードをRAWデータに設定して撮影した画像を編集することができます。☞「RAW編集」（P.161）

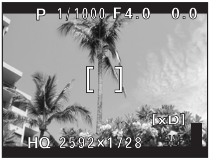
プリント拡大

プリント拡大を選択すると、総画素数の510万画素を800万画素相当（3264×2448）に拡大することができ、A3用紙など大きなサイズでプリントするときに有効です。画素数を増やすほどきれいにプリントすることができますが、ファイルサイズも大きくなります。🎥モードではプリント拡大の設定はありません。

注意
画質モードがSHQのプリント拡大の設定では、高速連写の最大撮影枚数は3枚になります。

3：2

通常、画像の横と縦の比は4：3の比率になっていますが、3：2に設定することで、写真店でプリントする際に画像の端が切れないでプリントできます。🎥モードでは3：2の設定はありません。
撮影範囲を液晶モニタで確認してから撮影してください。



3:2に設定したときのモニタ表示

●画質モードと撮影可能枚数

撮影可能枚数は、カードの記録容量÷ファイルサイズでおおよその計算ができます。また、カードをカメラに入れたとき、コントロールパネルや液晶モニタに表示されます。

静止画画質モード

画質モード	画像サイズ		圧縮	ファイル形式	撮影可能枚数（枚） 32MB 音声あり	音声なし	ファイルサイズ (MB)
RAW	2592×1944		非圧縮	ORF	4	4	約7.7
TIFF	2592×1944		非圧縮	TIFF	—	2	約15.2
	3:2 2592×1728				—	2	約13.5
	2288×1712				—	2	約11.8
	2048×1536				—	3	約9.5
	1600×1200				—	5	約5.8
	1280×960				—	8	約3.8
	1024×768				—	13	約2.4
	640×480				—	33	約1.0
SHQ	2592×1944		低圧縮	JPEG	8	8	約3.8
	3:2 2592×1728				9	9	約3.4
	プリント拡大3264×2448				7	7	約4.6
HQ	2592×1944		高圧縮		24	25	約1.3
	3:2 2592×1728				27	28	約1.2
	プリント拡大3264×2448				15	16	約2.1
SQ1	2288×1712	高画質	*		12	12	約2.6
		標準			31	32	約1.0
	2048×1536	高画質			14	14	約2.3
		標準			39	40	約0.9
	1600×1200	高画質			22	22	約1.5
		標準			60	64	約0.5
SQ2	1280×960	高画質			33	34	約1.0
		標準			90	99	約0.4
	1024×768	高画質			51	53	約0.6
		標準			132	153	約0.3
	640×480	高画質			117	132	約0.3
		標準			248	331	約0.1

*高画質→低圧縮／標準→高圧縮

ムービー画質モード

画質モード	画像サイズ	撮影可能秒数（秒）	
		32MB	
		音声あり	音声なし
SHQ	640×480（15コマ／秒）	34	35
HQ	320×240（15コマ／秒）	93	96
SQ	160×120（15コマ／秒）	374	424

注意

- カードの撮影可能枚数はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもコントロールパネルや液晶モニタに表示される枚数が変わらないことがあります。
- ビデオ出力をPALに設定してAVケーブルを接続した状態で撮影すると、ムービーの撮影時間は「ムービー画質モード」の表の時間とは異なります。

画質モードを選択する

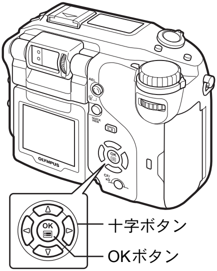
モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［画質モード］を選択し、を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

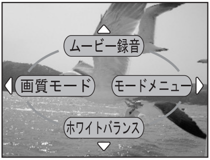
- 「画質モード」がショートカットメニューとしてトップメニューに表示されている場合は、「画質モード」のそばに示されている矢印と同じ方向の十字ボタンを押します。

☞「ショートカット設定」（P.171）



モードダイヤル設定 ▶ ⊏⊐ 🎥

トップメニューから◁を押して［画質モード］を選択します。
☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 △▽を押して画質モードを選択します。
スチル画質モードの場合は［RAW］［TIFF］［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］から選択します。
ムービー画質モードの場合は［SHQ］［HQ］［SQ］から選択します。☞ 手順4

3 スチル画質モードで［TIFF］［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］を選択した場合は、▷を押して画像サイズを選択する画面を表示し、△▽を押して選択します。
［SQ1］［SQ2］を選択した場合は画像サイズを選択後▷を押し、さらに△▽を押して［高画質］または［標準］を選択します。



4 OKを押します。
- メニューが消えるまで繰り返しOKを押します。

ISO感度

ISO感度は数値が大きいほど感度が高く、より暗いところ（光量が少ないところ）での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれノイズが増えて画像が粗くなります。

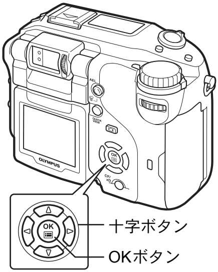
オート	被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。
80/100/200/400	感度を低くすると、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。感度が高くなるにつれて、より暗いところで撮影ができます。

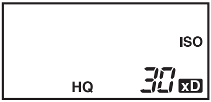
モードダイヤル設定 P A S M

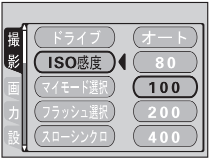
1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ISO感度］を選択して△▽を押して最適なISO感度を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- **A**、**S**、**M**モードの場合、［オート］は選択できません。
- 再度OKを押すと、メニューが終了します。
- ISO 感度をオート以外に設定するとコントロールパネルに「ISO」が表示されます。







注意

- 感度を高く設定するほど画像のノイズが増えます。
- ISOがオートに設定されているとき、暗いところでフラッシュを使わずに撮影すると、シャッター速度が遅くなり手ぶれする可能性があるため自動的に感度が上がります。
- ISO感度がオートに設定されているとき、被写体が遠くフラッシュ光が届かない場合、自動的に感度が上がります。
- **P**、**A**、**S** モードでは、フラッシュをスローシンクロにしたとき、設定したISO感度により最長シャッター速度が変わります。

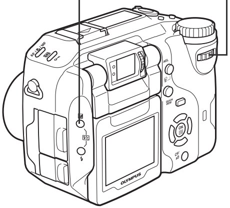
露出補正

撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。補正値を設定して露出を調整します。液晶モニタで露出を補正した画像を確認できます。

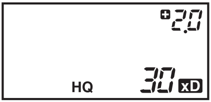
モードダイヤル設定 ▶ P A S

1 （露出補正）ボタンを押しながら、コントロールダイヤルを回します。

- ＋方向に補正する　右方向に回すと＋2.0まで設定できます。
- −方向に補正する　左方向に回すと−2.0まで設定できます。



- 補正値は1/3EVまたは1/2EV刻みで設定できます。☞「露出ステップ−露出の設定幅を選択する」（P.178）
- コントロールパネルに露出補正値が表示されます。

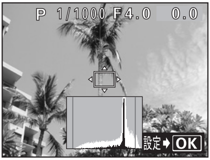




–2.0　　0.0　　+2.0

ヒント

- 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く映ってしまいますが、＋に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に－に補正すると効果的です。
- ヒストグラム表示を［☒オン］に設定しているとき、液晶モニタが点灯中に☒ボタンを押すと、液晶モニタにヒストグラム表示されます。
- ☒ボタンを押しながら㊙を押すと、［ヒストグラム表示］の設定変更のメニューにジャンプします。☞「ヒストグラム表示－画像の輝度分布を表示する」（P.180）



- ヒストグラムターゲットは移動することができます。
☞「ヒストグラムターゲットを移動する」（P.182）
- **M**モードではヒストグラム表示できません。

注意

- **M** モードでは ☒ ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回すと、絞り設定になります。☞「マニュアル撮影」（P.92）
- フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。
- 撮るものの周囲が極端に明るいときや極端に暗いときは、露出補正で補正しきれないときがあります。

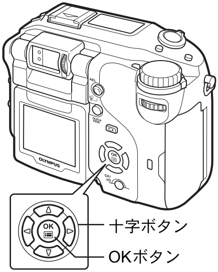
ホワイトバランス

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球の灯りがあたっているときでは、それぞれの白が違います。ホワイトバランスを調整することにより、このような光源による微妙な色の違いを見たままの色に表現することができます。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［ホワイトバランス］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



- 「ホワイトバランス」がショートカットメニューとしてトップメニューに表示されている場合は、「ホワイトバランス」のそばに示されている矢印と同じ方向の十字ボタンを押します。

☞「ショートカット設定」（P.171）

2 △▽を押して、［オート］［プリセット1］［プリセット2］［カスタム］［ワンタッチ］から撮影状況にあわせて選択します。



オートを選択　㊇を押します。再度㊇を押すと、メニューが終了します。

プリセット1を選択　▷を押して次の選択画面を表示します。
☞「プリセット1ホワイトバランス」（P.133）

プリセット2を選択　▷を押して次の選択画面を表示します。
☞「プリセット2ホワイトバランス」（P.133）

カスタムを選択　▷を押して次の選択画面を表示します。
☞「カスタムホワイトバランス」（P.134）

ワンタッチを選択　▷を押して次の選択画面を表示します。
☞「ワンタッチホワイトバランス」（P.135）

オートホワイトバランス

光源によらず、全体の色のバランスを自動的に調整します。

プリセット1ホワイトバランス

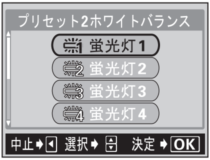
屋外で撮影するとき、光源に応じてホワイトバランスを選択します。△▽を押して次の中から選択し、OKを押します。
設定が終了したら、メニューが消えるまで繰り返しOKを押します。

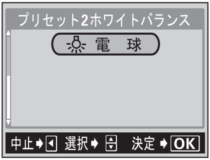


日陰　日陰での撮影
曇天　曇天時の撮影
晴天　晴天時の撮影
夕日　夕日があたっている時の撮影

プリセット2ホワイトバランス

屋内で撮影するとき、光源に応じてホワイトバランスを選択します。△▽を押して次の中から選択し、OKを押します。
設定が終了したら、メニューが消えるまで繰り返しOKを押します。



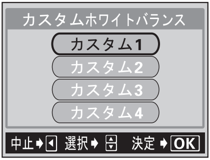


蛍光灯1　昼光色(6700K)* の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。昼光色の蛍光灯は、主に家庭で使われています。
蛍光灯2　昼白色(5000K)* の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。昼白色の蛍光灯は、デスク上のスタンドなどに一般的に使われています。
蛍光灯3　白色(4200K)* の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。白色の蛍光灯は、オフィスなどで一般的に使われています。
蛍光灯4　温白色(3500K)* の蛍光灯の灯りのもとでの撮影。
電球　電球(3000K)* の灯りのもとでの撮影。

* 色温度(K)はあくまでも目安です。正確な色を示すものではありません。

カスタムホワイトバランス

［カスタムWB登録］で登録したホワイトバランスを選択します。▲▼を押して［カスタム1］［カスタム2］［カスタム3］［カスタム4］から選択し、Ⓞを押します。
再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。
未登録のカスタムホワイトバランスはグレー表示され、選択できません。



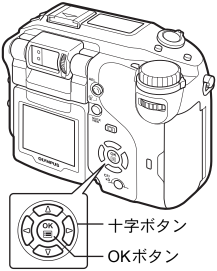
●カスタムホワイトバランスを登録する

現在設定されているホワイトバランスと補正値を［カスタム1］～［カスタム4］に登録し、ホワイトバランスのカスタムメニューとして選択できるようにします。

モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［カスタムWB登録］→［カスタム1］［カスタム2］［カスタム3］［カスタム4］から選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



- 現在設定されているホワイトバランスと補正値が、カスタムWBとして登録されました。
- 指定した番号にすでにカスタムホワイトバランスが登録されている場合は、確認の画面が表示されます。新たに登録する場合は［解除する］を選択してⓄを押します。
- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。

6

画像・画質・露出の調整

ワンタッチホワイトバランス

プリセットホワイトバランスでは調整しきれない微妙な色合いを設定します。撮影する光源で照らされた白いものにカメラを向けてホワイトバランスを設定することにより、実際の撮影状況に最適なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。

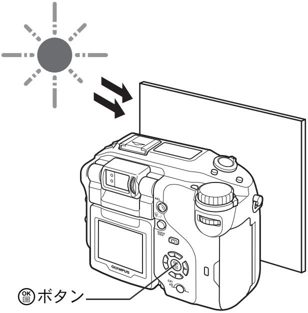
1 ワンタッチホワイトバランス画面が表示された状態で、カメラを白い紙に向けます。

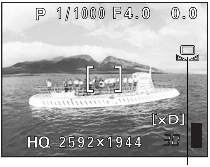
- 紙は画面いっぱいになるように置き、影の部分ができないようにしてください。



2 (OK)を押します。

- 新しいホワイトバランスが設定され、モードメニューに戻ります。





3 メニューが消えるまで繰り返し(OK)を押します。

注意

- ワンタッチホワイトバランスでは、紙に反射している光が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、適切な設定ができません。
- 特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- オート以外のホワイトバランスに設定して撮影した場合、画像を再生して色を確認してください。
- オート以外のホワイトバランスに設定してフラッシュを発光した場合、液晶モニタで見た色と異なった色で撮影されることがあります。

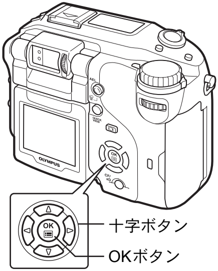
WB補正

ホワイトバランスのオート、プリセット1、プリセット2、ワンタッチごとに補正値を設定して微調整します。

モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［WB補正］を選択し、Ⓟを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 ⓪⓪ を押して［オート］［プリセット1］［プリセット2］［ワンタッチ］から選択し、Ⓟを押します。

- WB補正画面上にWB補正バーが表示されます。



3 現在のホワイトバランスの値に対し、⓪を押すたびに青みがかり、⓪を押すたびに赤みがかった画像になります。㊞を押すと、調整値が決定されます。

- ホワイトバランスはBLUE方向、RED方向ともそれぞれ7段階の調節が可能です。
- 調整値決定後、再度㊞を押すと、メニューが終了します。



6

画像・画質・露出の調整

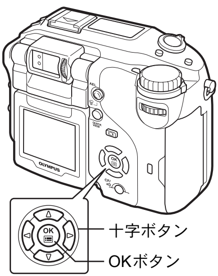
シャープネス

画像の鮮鋭度を調整します。

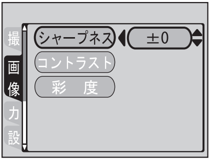
モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［シャープネス］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」(P.53)



2 △▽を押して、±5段階の調整ができます。



- ＋方向に調整　△を押すと、画像の輪郭がよりシャープになり画像が鮮やかになります。プリントなど鑑賞用に適しています。
- －方向に調整　▽を押すと、画像の輪郭がソフトになります。パソコンでの加工に適しています。

- 設定が終わったら、OKを押します。再度OKを押すと、メニューが終了します。

注意

- ＋方向に調整しすぎると、画像にノイズが目立つ場合があります。

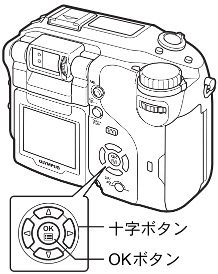
コントラスト

画像のコントラスト（明暗の差）を調整します。明暗差の小さい画像にメリハリを出したり、明暗差の大きい画像を柔らかい仕上がりにすることができます。

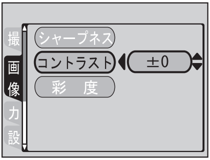
モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［コントラスト］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 △▽を押して、±5段階の調整ができます。



- ＋方向に調整　△を押すと、明暗の差がより大きくなりメリハリのある画質になります。
- －方向に調整　▽を押すと、明暗の差がより小さくなり、比較的柔らかい印象の画質になります。パソコンでの加工に適しています。

- 設定が終わったら、OKを押します。再度OKを押すと、メニューが終了します。

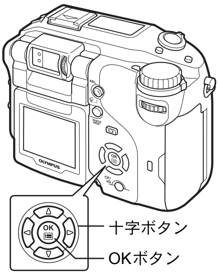
彩度

画像の色の濃さを調整します。

モードダイヤル設定 P A S M

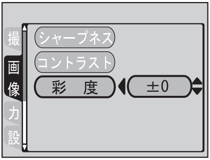
1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［彩度］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 △▽を押して、±5段階の調整ができます。

- ＋方向に調整　△を押すと、色が濃くなります。
- －方向に調整　▽を押すと、色が薄くなります。



- 設定が終わったら、OKを押します。再度OKを押すと、メニューが終了します。

シーンプリセット

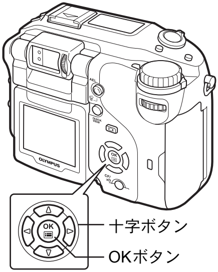
P、**A**、**S**、**M**、Ⓜ︎、🎥モードのとき、目的のシーンにあった画像処理をします。色再現、シャープネス、コントラスト、彩度が調整されます。

モードダイヤル設定 ▶ **P A S M** Ⓜ︎ 🎥

1 トップメニューから［モードメニュー］→［画像］→［シーンプリセット］→［標準］または［ポートレート］［風景］［夜景］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- ポートレート、風景、夜景については「撮影シーンで選ぶモード」（P.65）を参照してください。
- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



ノイズリダクション

長時間露光時に発生するノイズを軽減します。夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。この機能をオンに設定すると、カメラが自動的にノイズを軽減してきれいな画像を撮影することができます。ただし、撮影時間は通常の約2倍になります。
シャッター速度の設定が1/2秒より遅いときに動作します。


ノイズリダクション：オフ


ノイズリダクション：オン

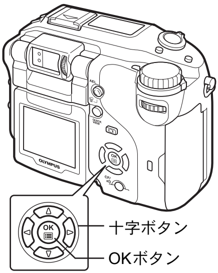
ここでの画像は、単にノイズリダクションの効果を示しているものです。
実際の画像とは異なります。

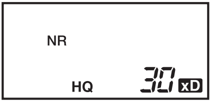
モードダイヤル設定 ▶ P A S M My

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ノイズリダクション］→［オン］または［オフ］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」(P.53)

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。
- ノイズリダクションを［オン］にするとコントロールパネルに「NR」が表示されます。





注意

- ★ モードに設定していると、ノイズリダクションはオンに固定されています。
- ノイズリダクションをオンに設定すると、撮影後にカメラがノイズを取り除く動作をするため、撮影時間が通常の約2倍になります。この間、次の撮影はできません。
- ノイズリダクションの設定がオンのとき、高速連写、連写、AF 連写、オートブラケット撮影はできません。
- 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。
- シャッター速度が遅い撮影では、三脚の使用をおすすめします。

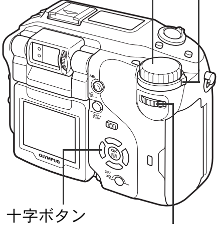
静止画を見る

モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 モードダイヤルを ▶（再生モード）にして、パワースイッチをONにします。

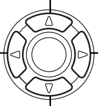
☞「電源を入れる／切る」（P.37）

• 最後に撮影した画像が表示されます。（1コマ再生）



2 十字ボタンまたはコントロールダイヤルで、見たい画像を表示します。

• 十字ボタン



• コントロールダイヤル



注意

• 3分以上何も操作をしないと、スリープモード（待機状態）になり、液晶モニタが消灯します。◎などのボタンを操作すると再び点灯します。

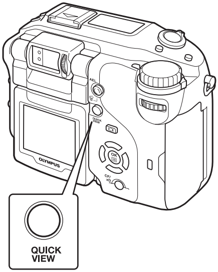
簡単再生（QUICK VIEW）

撮影モードのままで画像を再生することができます。撮影した画像を確認後、すぐに撮影に戻りたいときに便利です。
簡単再生で表示した画像は、通常の再生モードと同様に、各機能が使用できます。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 撮影モードで QUICK VIEW ボタンを押します。

- すぐに再生モードになり、最後に撮影した画像が表示されます。(1コマ再生)



2 撮影モードに戻るには、再度QUICK VIEWボタンを押します。

- 軽くシャッターボタンを押しても、撮影モードに戻れます。

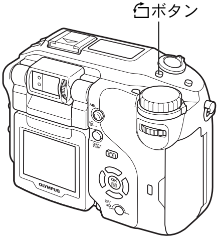
回転再生

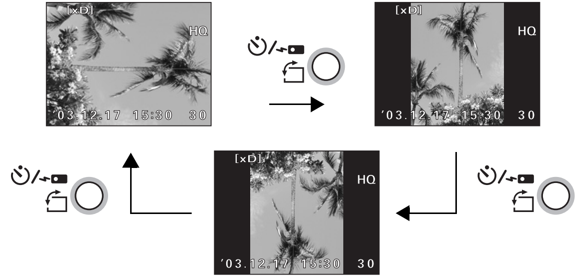
カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。反時計方向に90度、時計方向に90度の回転ができます。

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 1コマ再生中、（回転再生）ボタンを押します。

- ボタンを押すたびに、画像が反時計方向に90度、時計方向に90度、元の位置の順に回転します。





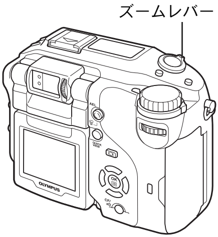
注意

- 次の画像は回転再生できません。
  ムービー／プロテクトされた画像／パソコンで編集した画像／他のカメラで撮影した画像
- 電源を切っても、画像が回転された状態は記録されます。

クローズアップ再生

液晶モニタに表示される画像を1.5倍、2倍、2.5倍、3倍、3.5倍、4倍と段階的に拡大表示します。

モードダイヤル設定 ▶ ▶

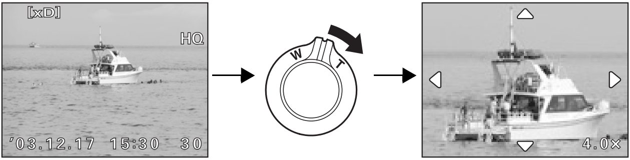


1 拡大したい静止画を選択します。

- 🎥のついた画像は、拡大できません。

2 ズームレバーをT側（🔍）に回します。

- 回すたびに段階的に拡大表示されます。
- 拡大表示中に十字ボタンを押すと、その方向に画像をずらして表示することができます。
- コントロールダイヤルを回すと前後のコマを同じ拡大率で表示します。
- W側に回すと1倍の大きさに戻ります。



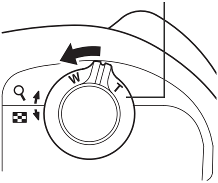
注意
- 拡大した状態で画像を保存することはできません。

インデックス再生

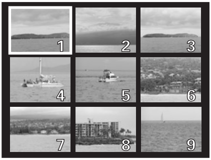
液晶モニタに複数の画像を一度に表示します。表示するコマ数を4、9、16分割から選ぶことができます。☞「インデックス分割数を変えるには」(P.148)

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

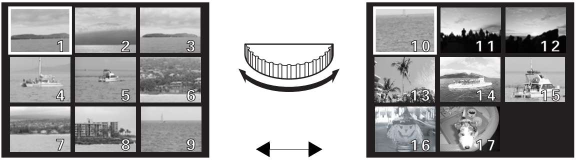
1　1コマ再生中、ズームレバーをW側（▦）に回します。



- 十字ボタンを押して画像を選択します。
  - ◁ ：1つ前のコマへ移動。
  - ▷ ：1つ次のコマへ移動。
  - △ ：上のコマへ移動。
  - ▽ ：下のコマへ移動。



- インデックス再生中、コントロールダイヤルを回すとインデックス画面のページを切り換えます。



- ズームレバーをT側に回すと1コマ再生に戻ります。

7

再生

インデックス分割数を変えるには

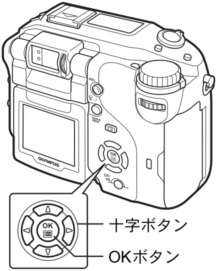
インデックス再生のコマ数を4コマ、9コマ、16コマから選択します。

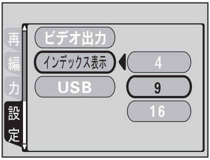
モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［インデックス表示］→［4］［9］［16］から選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

• 再度OKを押すと、メニューが終了します。





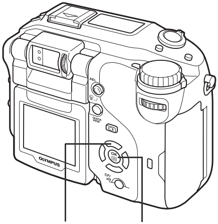
自動再生

カードに記録されている静止画像を1枚ずつ自動的に再生します。ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 静止画を選択して Ⓞ を押し、トップメニューを表示します。

2 △ を押すと、自動再生がスタートします。



△ボタン　　ⓄKボタン

3 Ⓞを押すと、自動再生が終了します。

- Ⓞを押すまで自動再生が繰り返されます。



注意

- 長時間自動再生を行う場合は、AC アダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、30 分経過すると、自動的に自動再生が終了し、スリープモード（待機状態）になります。

7

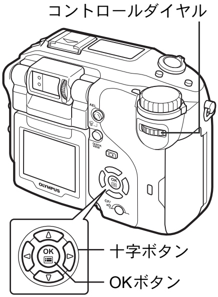
再生

ムービーを見る

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 十字ボタンまたはコントロールダイヤルで、再生したい🎥マークの付いた画像を表示させます。

☞「静止画を見る」（P.143）





2 Ⓞを押します。

- トップメニューが表示されます。



3 △ を押して［ムービープレイ］を選択します。

4 △▽を押して［ムービー再生］を選択し、Ⓞを押します。



- ムービーが再生されます。再生が終わるとムービーの先頭に戻ります。
- 再生中は早送り／早戻しができます。
  - ▷：早送りします。
    押すたびに速度が1→2→20→1倍速の順に切り替わります。
  - ◁：早戻しします。
    押すたびに速度が1→2→20→1倍速の順に切り替わります。
  - Ⓞ：一時停止します。

7

再生

- 再生終了後に、再び OK を押すとメニューが表示されます。

  再生　　もう一度再生します。
  コマ送り　コマ送りをします。
  中止　　再生を中止します。

  ▲▼を押して［再生］［コマ送り］［中止］から選択し、OK を押します。



●［コマ送り］を選択したときの操作

▲：ムービーの先頭のコマを表示します。

▼：ムービーの末尾のコマを表示します。

▶：ムービーのコマが進みます。押し続けると再生します。

◀：ムービーのコマが戻ります。押し続けると逆再生します。

OK：ムービー再生メニューが表示されます。

ヒント

- 撮影モードからも簡単再生（QUICK VIEW）でムービーを再生できます。☞「簡単再生（QUICK VIEW）」（P.144）

注意

- カードアクセスランプが点滅しているときは、カードからカメラへの画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがあります。カードアクセスランプの点滅中は、絶対にカードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、カードが破壊され使用できなくなる場合があります。

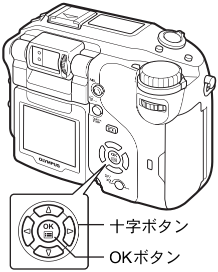
ムービーの編集

撮影したムービーからインデックスを作成したり、編集することができます。ただし、SHQで約23秒、HQで約75秒、SQで約300秒以上撮影したムービー画像は編集できません。

インデックス作成　作成したムービーの内容が一目でわかるようにムービーを9分割して画面に表示し、1つの画像として保存（インデックス作成）します。
ムービー編集　撮影したムービーから必要な部分を切り出して編集します。

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 十字ボタンで 🎥 のついた画像を選択します。



2 トップメニューから［ムービープレイ］→各編集項目を選択します。
☞「メニューの操作方法」（P.53）



- ［インデックス作成］を選択
- ［ムービー編集］を選択　☞ P.154

インデックス作成

3 ⊿⊽を押して［インデックス作成］を選択し、㊊を押します。



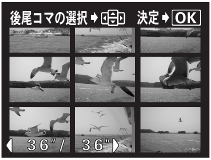
7
再生

4 十字ボタンでインデックスの先頭のコマを選択し、Ⓞを押します。

△：ムービーの先頭のコマへジャンプします。
▽：ムービーの末尾のコマへジャンプします。
▷：コマが進みます。押し続けるとムービーを再生します。
◁：コマが戻ります。押し続けるとムービーを逆再生します。



5 手順4と同様に、十字ボタンでインデックスの後尾のコマを選択し、Ⓞを押します。



6 △▽を押して画像を保存するカードを選択し、Ⓞを押します。

- カメラに挿入されているカードが1種類のときは、この手順はありません。
- 選択したカードの空き容量が不足するときは、設定画面に戻ります。

7 △▽を押して［決定］を選択し、Ⓞを押します。

- 再生モードに戻り、ムービーから抜き出された9コマの画像がインデックス表示されます。作成された画像は新規の画像として保存されます。
- コマ指定をやり直す場合は［再設定］を選択してⓄを押します。手順4からやり直します。
- インデックス作成をやめるときは［中止］を選択してⓄを押してください。



ヒント

- インデックス作成された画像は、ムービー撮影時の画質とは異なる静止画として保存されます。

ムービー撮影時の画質モード	インデックス画像の画質
SHQ	SQ1(2048×1536ピクセル)
HQ	SQ2(1024×768ピクセル:高画質)
SQ	SQ2(640×480ピクセル:高画質)

注意

- ムービーの記録時間により、自動的に抜き出される画像の間隔は異なります。
- インデックス作成されるコマ数は、9コマです。
- カードの空き容量が不足しているときは作成することはできません。

ムービー編集

3 △▽を押して［ムービー編集］を選択し、OKを押します。



4 十字ボタンでムービーの残したい部分の先頭のコマを選択し、OKを押します。



△：ムービーの先頭のコマへジャンプします。

▽：ムービーの末尾のコマへジャンプします。

▷：コマが進みます。押し続けるとムービーを再生します。

◁：コマが戻ります。押し続けるとムービーを逆再生します。

5 手順4と同様に、ムービーの残したい部分の最後のコマを選択し、(OK)を押します。



6 △▽ を押して画像を保存するカードを選択し、(OK) を押します。

- カメラに挿入されているカードが1種類のときは、この手順はありません。
- 選択したカードの空き容量が不足するときは、設定画面に戻ります。

7 △▽を押して［新規作成］または［上書き保存］を選択し、(OK)を押します。

新規作成 編集したムービーを新しいムービーとして保存します。

上書き保存 編集したムービーを元のムービーの名前で保存します。元のムービーは失われます。



8 △▽を押して［決定］を選択し、(OK)を押します。

- コマ指定をやり直す場合は［再設定］を選択して(OK)を押します。手順4からやり直します。
- インデックス作成をやめるときは［中止］を選択して(OK)を押してください。



- 編集されたムービーが新規作成または上書き保存され、再生モードに戻ります。

注意

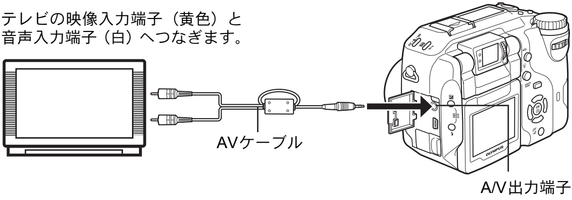
- 他のカメラで撮影した音声付きのムービーは編集できません。
- カードの空き容量が不足している場合は、［新規作成］は選択できません。

テレビでの再生

付属のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。静止画とムービーの両方の再生ができます。

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 カメラとテレビの電源を切り、AVケーブルでカメラのA/V出力端子とテレビのビデオ入力端子を接続します。



2 テレビの電源を入れて「ビデオ入力」に設定します。
- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 モードダイヤルを[▶]に合わせて、カメラの電源を入れます。
- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、十字ボタンで表示する画像を選択します。
- 「クローズアップ再生」、「インデックス再生」、「自動再生」等の再生機能が可能です。

ヒント
- テレビで再生する場合は、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。

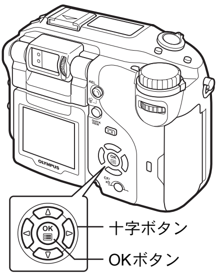
注意
- カメラのビデオ信号が、お使いのテレビの映像信号に合っていることを確認してください。☞「ビデオ出力－ビデオ出力方式を選択する」（P.198）
- AVケーブルを接続すると、カメラの液晶モニタ表示は消えます。
- テレビとの接続には必ず付属のAVケーブルをご使用ください。
- テレビにより画像が画面中央からずれることがあります。
- テレビには画像全体を表示するために少し小さめに表示され、画像の外側に黒枠が表示されます。テレビからビデオプリンタに画像を出力すると、黒枠が表示されることがあります。

音声の録音

撮影済みの静止画に音声を録音（アフレコ）します。また、録音済みの音声を新たに録音し直すこともできます。録音できる時間は1画面につき約4秒間です。

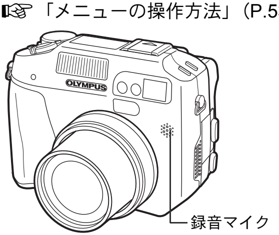
モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 十字ボタンで音声を録音したい静止画を選択します。

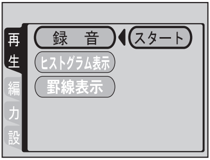


2 トップメニューから［モードメニュー］→［再生］→［録音］を選択します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



3 ▷を押すと［スタート］が表示されます。



4 カメラのマイクを録音したい対象に向けてOKを押すと、録音が開始されます。

- 録音中を示すバーが表示されます。

注意

- 録音対象がカメラから約1m以上はなれると、きれいに録音されません。
- 録音済みの画像に再度録音した場合は、前の音声が消えて新しい音声のみ残ります。
- カード残量がない場合（警告画面が表示されるカード）では、録音できないことがあります。
- 録音中にボタン操作をすると操作音が録音されることがあります。
- 一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。

静止画の編集

撮影した静止画を編集して別の画像として保存します。以下の編集を行うことができます。

リサイズ　画像サイズを640×480、または320×240に変更して、別の画像として保存します。

トリミング　画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。

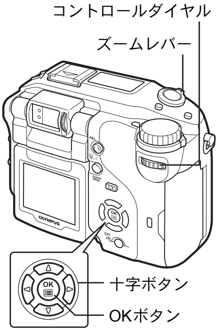
RAW編集　RAWデータ形式で記録した画像にホワイトバランスやシャープネスなどの画像処理を行って、TIFFやJPEGの別の画像として保存します。撮影後に結果を確かめながら、自分のイメージに近い画像にすることができます。

モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 トップメニューから［モードメニュー］→［編集］→各編集項目を選択します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- ［リサイズ］を選択　☞ P.159
- ［トリミング］を選択　☞ P.159
- ［RAW編集］を選択　☞ P.161
  RAW編集を選択するときは、画質モードが「RAW」で記録された画像をあらかじめ表示しておきます。



リサイズ



2　[リサイズ] を選択した状態で、▷を押します。

3　コントロールダイヤルで編集したい静止画を選択し、OKを押します。

4　△▽を押して画像サイズを選択し、OKを押します。

- リサイズを中止するときは［中止］を選択し、OKを押します。

5　△▽ を押して画像を保存するカードを選択し、OK を押します。

- カメラに挿入されているカードが1種類のときは、この手順はありません。
- 選択したカードの空き容量が不足するときは、設定画面に戻ります。

6　△▽を押して［決定］を選択し、OKを押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、手順3に戻ります。

注意

- 次の場合はリサイズできません。
  ムービーやパソコンで編集した画像／カードの空き容量が不足している場合
- 撮影時の画像サイズが640×480の場合、［640×480］の設定はできません。

トリミング



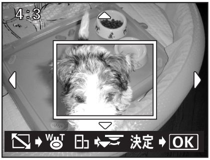
2　[トリミング] を選択した状態で、▷を押します。

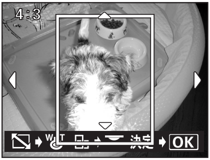
3　コントロールダイヤルで編集したい静止画を選択し、OKを押します。

4　△▽を押して［新規作成］選択し、OKを押します。

5 十字ボタン、ズームレバー、コントロールダイヤルを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

- △▽◁▷を押してトリミングする位置を移動し、ズームレバーをW側またはT側に動かしてトリミングのサイズを決めます。
- コントロールダイヤルでトリミング枠の縦と横を選択します。
- 画像サイズが2592 × 1944、または2592 ×1728の場合は、3:2のトリミングサイズが選択できます。





6 (OK)を押します。

- 設定されたトリミング画像が 1 秒間表示されます。

7 △▽ を押して画像を保存するカードを選択し、(OK) を押します。

- カメラに挿入されているカードが1種類のときは、この手順はありません。
- 選択したカードの空き容量が不足するときは、設定画面に戻ります。

8 △▽ を押して［決定］を選択し、(OK) を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、手順3に戻ります。
- トリミングされた画像は元の画像とは別の画像として保存されます。
- トリミングをやり直す場合は［再設定］を選択して(OK)を押します。手順5からやり直します。



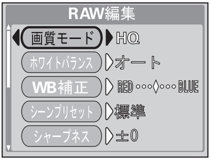
- トリミングをやめるときは［中止］を選択して(OK)を押してください。

注意

- 次の場合はトリミングできません。
  ムービー／カードの空き容量が不足している場合／
  画質モードを［プリント拡大］に設定した画像
- 他のカメラで撮影した画像は、トリミングできない場合があります。
- トリミングした画像を印刷した場合、粗くなることがあります。

7 再生

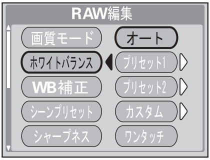
RAW編集



2 ［RAW編集］を選択した状態で、▷を押します。

3 コントロールダイヤルで編集したい画像を選択し、(OK)を押します。

- 画質モードがRAWで記録された画像以外は選択できません。



4 △▽を押して設定する項目を選択し、▷を押します。

5 △▽を押して詳細内容を選択し、(OK)を押します。

6 必要なすべての項目を設定したら(OK)を押します。

7 △▽を押して画像を保存するカードを選択し、(OK)を押します。

- カメラに挿入されているカードが1種類のときは、この手順はありません。
- 選択したカードの空き容量が不足するときは、設定画面に戻ります。

8 △▽を押して［決定］を選択し、(OK)を押します。

- 作成中を示すバーが表示され、画像が保存された後、手順3に戻ります。

●RAW編集で設定可能な項目

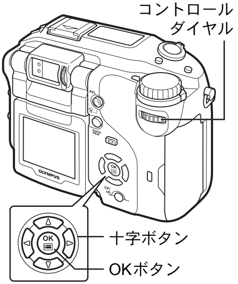
項目	詳細設定	参照頁
画質モード	TIFF／SHQ／HQ／SQ1／SQ2	P.124
ホワイトバランス	オート／プリセット1／プリセット2／カスタム／ワンタッチ	P.132
WB補正	RED7～BLUE7	P.137
シーンプリセット	標準／ポートレート／風景／夜景	P.141
シャープネス	±5	P.138
コントラスト	±5	P.139
彩度	±5	P.140
ファンクション撮影	オフ／モノクロ／セピア	P.120
トリミング	—	P.159

画像のコピー

xDピクチャーカードとコンパクトフラッシュまたはマイクロドライブ間で画像をコピーします。両方にカードが入っていないと、このメニューは選択できません。
選択されているカードがコピー元になります。コピー元を変更する場合はカード切り換えボタンを押して変更してください。☞「使用するカードを切り換える」(P.35)

全コマ　カードに記録されている全ての画像をコピーします。
選択コマ　画像を選択してコピーします。

モードダイヤル設定 ▶ ▭ [▶]



1 トップメニューから［モードメニュー］→［編集］→［コピー］を選択し、▷を押します。
☞「メニューの操作方法」(P.53)

- 全コマコピーか選択コマコピーかを選択する画面が表示されます。

2 △▽を押して［全コマ］または［選択コマ］を選択し、▷を押します。

●［全コマ］を選択



コピーするかどうか確認の画面が表示されますので、［実行］を選択してⓄを押します。
- コピーが実行され、メニューが終了します。

●［選択コマ］を選択



再生画面が表示されますので、コピーするコマをコントロールダイヤルを使って選択し、Ⓞを押します。
- コピーが実行されます。
- 複数のコマをコピーする場合は、この操作を繰り返します。
- コピーを終了する場合は◁を押します。メニューが消えるまで繰り返しⓄを押します。

注意
- 同じカード内での画像のコピーはできません。
- ファイル容量が25MB以上の場合（SHQで約28秒、HQで約75秒、SQで約300秒以上のムービーコマ）はコピーができません。このような画像をコピーしようとした場合「コピーできません」という画面が表示されます。

画像にプロテクト(保護)をかける

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。1コマ消去や全コマ消去の操作をしても、プロテクトされた画像は消去されません。

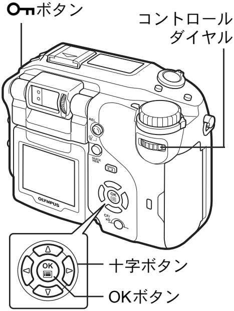
モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 十字ボタンまたはコントロールダイヤルで、プロテクトをかけたい画像を表示します。

☞「静止画を見る」（P.143）

2 О┳（プロテクト）ボタンを押します。

- プロテクトを解除するには、再び О┳ ボタンを押します。





プロテクトされると表示されます。

注意

- プロテクトされた画像は1コマ消去／全コマ消去で消去できませんが、フォーマットを行うとすべて消去されます。

画像を消去する

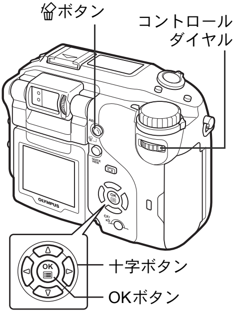
撮影した画像を消去します。再生している1コマのみを消去する1コマ消去とカード内のすべての画像を消去する全コマ消去があります。

注意
- 消去したい画像がプロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。
- 消去した画像は元に戻せません。大切なデータを消さないように十分に注意してください。☞「画像にプロテクト(保護)をかける」(P.163)

1コマ消去

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 十字ボタンまたはコントロールダイヤルで、消去したい画像を表示します。
☞「静止画を見る」(P.143)



2 (消去)ボタンを押します。
•「1コマ消去」画面が表示されます。

3 を押して[消去]を選択し、を押します。
・画像が消去され、メニューが終了します。



7

再生

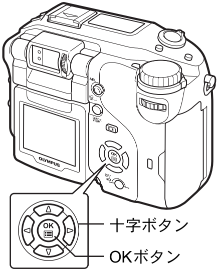
全コマ消去

カード内のすべての画像を消去します。

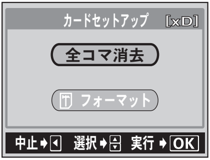
モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 トップメニューから［モードメニュー］→［カード］→［カードセットアップ］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

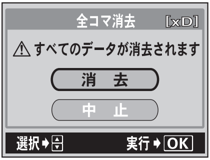


2 △▽を押して［全コマ消去］を選択して、OKを押します。



3 △▽を押して［消去］を選択して、OKを押します。

• すべての画像が消去されます。



設定クリア－電源を切っても設定を残す

電源を切った後も、変更した設定値を保持することができます。設定クリアが適用される機能については次頁の表を参照してください。
設定クリアの［オン］［オフ］の設定は、すべてのモードで共通です。いずれかのモードで設定クリアを設定すると、撮影モード、再生モードにかかわらず、適用されます。

オン 電源を切ると変更した設定値は初期設定に戻ります。（初期状態）
例）「画質モード」をSQ1に変更しても「設定クリア」が「オン」に設定されていると、電源を入れなおしたときに初期設定のHQに戻ります。

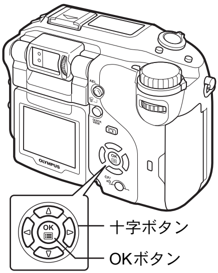
オフ 電源を切っても変更した設定値は保持されます。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［設定クリア］→［オフ］または［オン］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



注意

- マイモードの設定およびモードメニューの設定タブの機能（設定クリア、言語、ビープ音など）は、設定クリアがオンに設定されていても初期設定に戻りません。

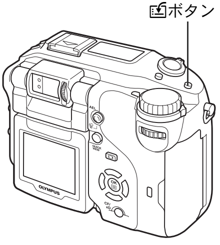
●設定クリアで設定が元に戻る機能とその設定

機能名	初期設定	参照頁
絞り値	F2.8	P.90
シャッター速度	1/1000	P.91
プログラムシフト	リセット	P.63
露出補正	0.0	P.130
フラッシュ	オート	P.78
フラッシュ補正	0.0	P.84
AF／マクロ／MF	AF	P.99, 107, 108
測光	ESP	P.101
セルフタイマー／リモコン	オフ	P.109, 110
液晶モニタ	オン（点灯）	P.23
カード切り換え	xD	P.35
光学ズーム	ワイド	P.76
ドライブ	単写	P.112
BKT設定	±1.0、3枚	P.113
ISO感度	オート	P.129
マイモード選択	マイモード1	P.94
フラッシュ選択	内蔵+外部	P.85
スレーブ	1	P.89
スローシンクロ	先幕効果	P.83
ノイズリダクション	オフ	P.141
デジタルズーム	オフ	P.77
フルタイムAF	オフ	P.96

機能名	初期設定	参照頁
AF方式	iESP	P.95
スチル録音	オフ	P.121
アクセサリ	オフ	P.123
ファンクション撮影	オフ	P.120
ヒストグラム表示	オフ	P.180
	オフ	P.118
mode リアル表示	オフ	P.93
画質モード	HQ	P.124
ホワイトバランス	オート	P.132
WB補正	補正なし	P.137
シーンプリセット	標準	P.141
シャープネス	±0	P.138
コントラスト	±0	P.139
彩度	±0	P.140
TIFF設定	2592×1944	P.127
SHQ・HQ設定	2592×1944	P.127
SQ1設定	1600×1200 標準	P.127
SQ2設定	640×480 標準	P.127
罫線表示	オフ	P.187
情報表示	オフ	P.179
リサイズ	640×480	P.159

カスタムボタン設定

カスタムボタンに使用頻度の高い機能を登録します。カスタムボタンに登録すると、トップメニュー画面からショートカットメニューやモードメニューを選択して画面を表示するのではなく、カスタムボタンを押して直接、設定画面を表示することができます。
設定画面では、コントロールダイヤルで設定項目を選択して(OK)を押すと、それぞれの詳細設定画面に進みます。そこでさらに、十字ボタンや(OK)を押して詳細設定をすることができます。



カスタムボタンに設定できる機能	コントロールダイヤルによる設定項目	参照頁
ドライブ(初期設定)	単写、高速連写、連写、AF連写、BKT*	P.112
ISO感度	オート、80、100、200、400	P.129
マイモード選択*	1、2、3、4、5、6、7、8	P.94
ノイズリダクション	オフ、オン	P.141
デジタルズーム	オフ、オン	P.77
フルタイムAF	オフ、オン	P.96
スチル録音	オフ、オン	P.121
ファンクション撮影	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板	P.120
画質モード	RAW、TIFF*、SHQ*、HQ*、SQ1*、SQ2*	P.124
ホワイトバランス	オート、プリセット1*、プリセット2*、カスタム*、ワンタッチ	P.132
シーンプリセット	標準、ポートレート、風景、夜景	P.141
シャープネス	－5～±0～＋5	P.138
コントラスト	－5～±0～＋5	P.139
彩度	－5～±0～＋5	P.140

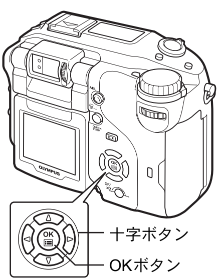
* さらに詳細を設定するためのサブメニューがあります。

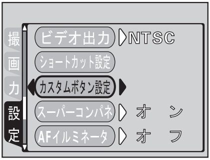
カスタムボタンに機能を登録する

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［カスタムボタン設定］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」(P.53)





2 △▽を押して設定する機能を選択し、OKを押します。

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



注意

- カスタムボタン設定に［マイモード選択］を登録した場合、モードダイヤルを MY 以外に合わせて（カスタム）ボタンを押しても、受け付けられません。モードダイヤルを MY に合わせてボタンを押してください。マイモード選択画面が表示されます。

8

カメラの便利機能

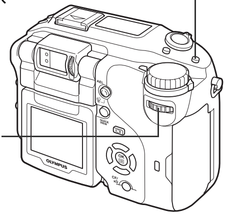
カスタムボタンを使う

モードダイヤル設定 P A S M

1 （カスタム）ボタンを押します。

- 液晶モニタに登録した機能がメニュー表示されます。

ボタン

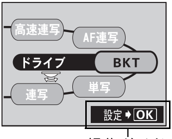


コントロールダイヤル

2 ボタンを押しながらコントロールダイヤルを回して設定します。

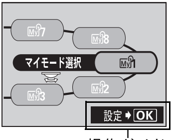
- ボタンはダイレクトボタンと同じように使うことができます。
  「ダイレクトボタンの操作」（P.46）
- 画面下に操作ガイドが表示される場合は、さらに詳細な設定が可能です。

例1）［ドライブ］を登録した場合



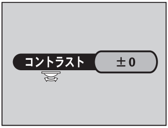
操作ガイド

例2）［マイモード選択］を登録した場合



操作ガイド

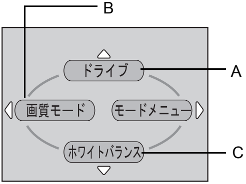
例3）［コントラスト］を登録した場合



8 カメラの便利機能

ショートカット設定

静止画撮影モード（**P**/**A**/**S**/**M**/ / / / / / ）のトップメニューのショートカットメニュー（A、B、C）を登録します。
使用頻度の高い機能をショートカットメニューとして登録しておくと、ダイレクトにその機能の設定画面までジャンプできるので便利です。



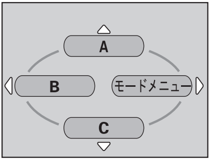
トップメニュー

初期値
A: ドライブ
B: 画質モード
C: ホワイトバランス

ショートカットメニューに登録できる機能	参照頁
ドライブ	P.112
ISO感度	P.129
マイモード選択	P.94
フラッシュ選択	P.85
スローシンクロ	P.83
ノイズリダクション	P.141
デジタルズーム	P.77
フルタイムAF	P.96
AF方式	P.95
アクセサリ	P.123
スチル録音	P.121
パノラマ	P.115
合成ツーショット	P.117
ファンクション撮影	P.120
ヒストグラム表示	P.180
	P.118
リアル表示	P.93
画質モード	P.124
ホワイトバランス	P.132
WB補正	P.137
カスタムWB登録	P.134
シーンプリセット	P.141
シャープネス	P.138
コントラスト	P.139
彩度	P.140

ショートカットメニューを登録する

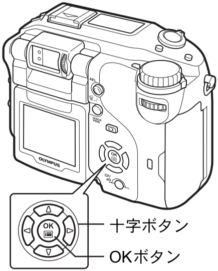
右図のA、B、Cの位置のショートカットメニューを登録します。



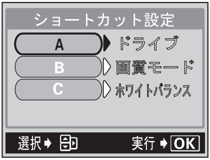
モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［ショートカット設定］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 △▽を押して［A］または［B］、［C］を選択し、▷を押します。



3 △▽を押して設定する機能を選択し、OKを押します。

- ショートカットメニューが設定されました。
- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



8

カメラの便利機能

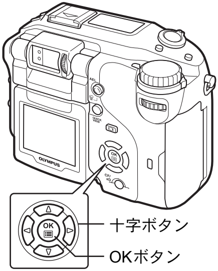
ショートカットメニューを使う

設定したショートカットメニューを使用します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

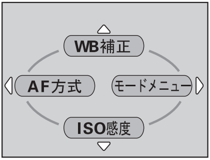
1 (OK) を押してトップメニューを表示します。

- 登録したショートカットメニューがトップメニューに表示されます。



2 △ または ◁▽ を押して、ショートカットメニューを選択します。

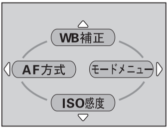
- 設定した機能の設定画面までジャンプします。



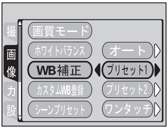
例）ショートカットメニュー Aに「WB補正」を登録した場合

トップメニュー　設定画面

(OK)押す →



→



△を押すとWB補正設定画面までジャンプします。

8

カメラの便利機能

マイモード設定－マイモードに機能を登録する Ⓜy

撮影に関する機能を自由に設定し、マイモードとして登録します。設定してある内容をそのままマイモードとして登録することもできます。
マイモードを設定してモードダイヤルを Ⓜy にすると、その設定で撮影することができます。マイモード設定は、マイモード1〜8まで8種類のパターンが設定できます。マイモード1のみ初期値が設定されています。

●マイモード設定が適応される項目

マイモード設定が可能な項目	初期値	参照頁	マイモード設定が可能な項目	初期値	参照頁
P/A/S/M/S-Prg	P	P.63	フルタイムAF	オフ	P.96
絞り値	F2.8	P.90	AF方式	iESP	P.95
シャッタ速度	1/1000	P.91	アクセサリ	オフ	P.123
露出補正	0.0	P.130	スチル録音	オフ	P.121
LCD *1	オン	P.23	パノラマ	オフ	P.115
ズーム位置 *2	28mm	ー	合成ツーショット	オフ	P.117
フラッシュ	オート	P.78	ファンクション撮影	オフ	P.120
フラッシュ補正	0.0	P.84	ヒストグラム表示	オフ	P.180
測光	ESP	P.101	ガイドライン	オフ	P.118
セルフタイマー／リモコン	オフ	P.109, 110	[M] mode リアル表示	オフ	P.93
AF／マクロ／MF	AF	P.99, 107, 108	画質モード	HQ	P.124
ドライブ	単写	P.112	ホワイトバランス	オート	P.132
ISO感度	オート	P.129	WB補正	補正なし	P.137
フラッシュ選択	内蔵＋外部	P.85	シーンプリセット	標準	P.141
スローシンクロ	先幕効果	P.83	シャープネス	±0	P.138
ノイズリダクション	オフ	P.141	コントラスト	±0	P.139
デジタルズーム	オフ	P.77	彩度	±0	P.140

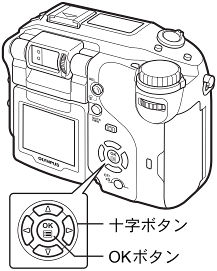
*1 電源を入れたときの液晶モニタのオン／オフ／オン [ ]（AF ターゲットマークのみ）の表示を設定します。

*2 Ⓜy モードでのズーム位置の設定は、28mm/35mm/55mm/80mm/110mm の中から選択できます。（表示されるズーム位置は35mmカメラの焦点距離換算値です。）

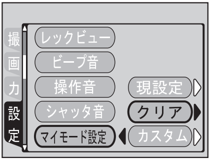
モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［マイモード設定］を選択し、を押します。

「メニューの操作方法」（P.53）



2 を押してマイモード設定の種類を選択し、を押します。



現設定	現在のカメラの設定を一括して登録します。
クリア	現在登録されている設定を初期値に戻します。
カスタム	1つずつ機能を登録します。

- マイモード登録画面が表示されます。

3 設定するマイモードのNo.を選択します。

- を押して［マイモード1］～［マイモード8］を選択し、を押します。



●手順2で［現設定］を選択

4 を押して［登録］を選択し、を押します。

- 選択したマイモードに現在のカメラの設定が登録されます。



8

カメラの便利機能

●手順2で［クリア］を選択

4 △▽を押して［クリア］を選択し、OKを押します。

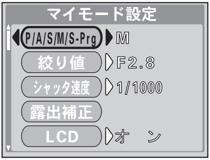
- 選択したマイモードに登録されている設定がクリアされます。
  何も登録されていないとマイモード撮影で選択できません。



●手順2で［カスタム］を選択

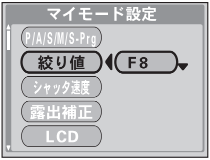
4 △▽を押してマイモードに設定するカスタム設定項目を選択し、▷を押します。

- カスタム設定項目については、「マイモード設定が適応される項目」(P.174) を参照してください。



△▽を押してカスタム設定項目の設定を変更し、OKを押します。

- 設定内容が保存されます。
- 必要に応じて他のカスタム設定項目の設定も変更します。



5 すべての設定が終了したらOKを押します。

- 手順2の画面に戻ります。
- 再度OKを押すと、メニューが終了します。

注意

- ズームの位置は、「マイモード設定」内の「ズーム位置」の 5 つの設定値のうち、現在使用しているズームの設定値に近い値になります。

カードのフォーマット

カードをフォーマットします。フォーマットとは、カードをこのカメラで書き込みできるように初期化することです。当社製以外のカードやパソコンでフォーマットしたカードを使用する場合は、必ずこのカメラでフォーマットしてください。

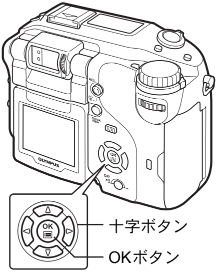
フォーマットするとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。すでに使用しているカードをフォーマットするときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

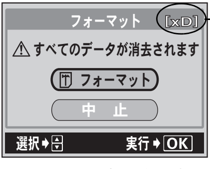
1 トップメニューから［モードメニュー］→［カード］→［カードセットアップ］→を選択し、を押します。

「メニューの操作方法」（P.53）

- **PASM**：
  フォーマット画面が表示されます。
- ：
  カードセットアップ画面が表示されます。



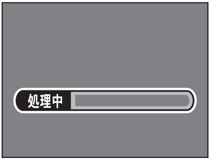
2 モードダイヤルがP A S Mの場合は、を押して［フォーマット］を選択します。の場合は、を押して［フォーマット］を選択し、を押します。フォーマット画面が表示されますので、を押して［フォーマット］を選択します。



フォーマットしようとしているカードが表示されます。

3 ㊉を押します。

- 画面に処理中のバーが表示され、フォーマットされます。



注意

- フォーマット中は絶対に次のことをしないでください。カードが使用できなくなるおそれがあります。
  カードカバーを開ける／電池を取り外す／ACアダプタの抜き差しをする（カメラに電池が入っている、いないにかかわらず絶対にしないでください。）

露出ステップ－露出の設定幅を選択する

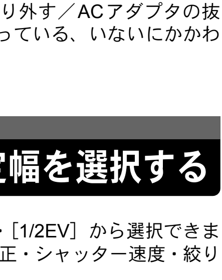
露出補正・フラッシュ補正の設定幅を［1/3EV］・［1/2EV］から選択できます。設定変更に応じて、露出補正・フラッシュ補正・シャッター速度・絞り値に設定できる値が変わります。

モードダイヤル設定　P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［露出ステップ］→［1/3EV］または［1/2EV］を選択し、㊉を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度㊉を押すと、メニューが終了します。



8 カメラの便利機能

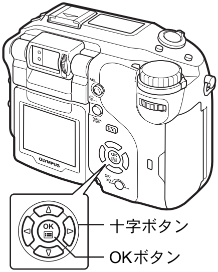
情報表示－画像の詳細情報を表示する

再生時の画像の詳細情報を3秒間表示します。表示される情報の内容については、「液晶モニタの表示」（P.24）を参照してください。

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1　トップメニューで ◁ を押すと詳細情報が表示されます（オン）。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



- 再度Ⓞを押してトップメニューを表示させて、◁を押すと詳細情報が表示されなくなります（オフ）。



情報表示オンの時



情報表示オフの時

注意

- このカメラ以外で撮影した画像は、情報表示オン時でもすべての情報が表示されないことがあります。
- ヒストグラム表示が設定されているときは、情報表示オン／オフに関わらずヒストグラムが表示されます。
- DPOFを使用せずにプリントサービスを利用する場合に指定するファイル番号は、情報表示をオンにしたときに表示されます。
☞「プリント予約とは」（P.202）

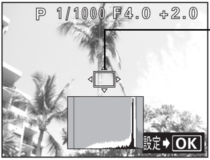
ヒストグラム表示－画像の輝度分布を表示する

撮影時および再生時に液晶モニタに写っている画像の輝度成分をグラフ化してヒストグラム表示します。画像上に直接黒つぶれ部／白とび部を表示することもできます。
撮影時は、被写体の明るさのコントラストが分かるので、より厳密に露出をコントロールすることができます。再生時は、撮影した画像の輝度分布を表示します。
ヒストグラム表示は、撮影モードと再生モードで別々に設定することができます。

オフ	ヒストグラムを表示しません。
⊠オン	⊠（露出補正）ボタンを押したとき、ヒストグラムを表示します。▶モードでは、この機能はありません。 ☞「露出補正」（P.130）
オン	常にヒストグラムを表示します。
ダイレクト	白とび部／黒つぶれ部を画像上に直接表示します。

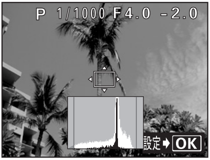
例）**P**モードで［オン］［⊠オン］が選択されたとき（⊠ボタンを押している状態）

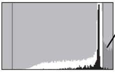
明るい画像のとき



ヒストグラム
ターゲットマーク

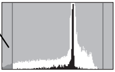
暗い画像のとき





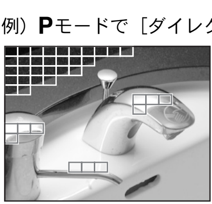
赤の枠内に多く入ると、画像は白くとび気味に写ります。

青の枠内に多く入ると、画像は黒くつぶれ気味に写ります。



ヒストグラムの緑色の部分は、ヒストグラムターゲットマーク内の輝度分布です。

例）**P**モードで［ダイレクト］が選択されたとき



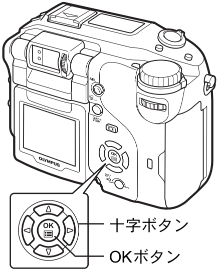
赤い枠：白とび部のあるエリア
青い枠：黒つぶれ部のあるエリア

１つのエリア内に黒つぶれ部と白とび部の両方がある場合も、青い枠で表示されます。

モードダイヤル設定 ▶ P A S

1 トップメニューから［モードメニュー］→［撮影］→［ヒストグラム表示］を選択し、ヒストグラムの表示方法を選択して㊙を押します。
☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度㊙を押すと、メニューが終了します。
- ［オン］、または［ダイレクト］を選択すると、液晶モニタにヒストグラムが表示されます。

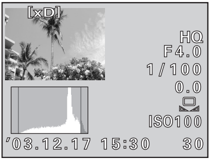




モードダイヤル設定 ▶ ▶

トップメニューから［モードメニュー］→［再生］→［ヒストグラム表示］を選択し、ヒストグラムの表示方法を選択して㊙を押します。
☞「メニューの操作方法」（P.53）

- ［オン］を選択すると、ヒストグラムが表示されます。
- ［ダイレクト］を選択すると、画像の黒つぶれ部が青く、白とび部が赤く点滅します。



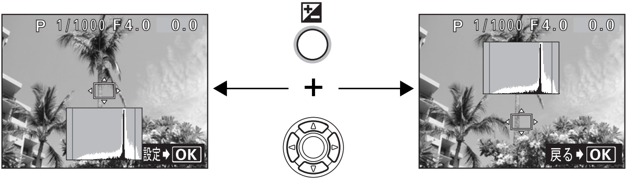
再生モードで［オン］を選択したとき

注意

- ヒストグラム表示を常時オンに設定していても、以下のときはヒストグラムが表示されません。
  Mモード／パノラマ撮影時／合成ツーショット撮影時／マルチ測光中
- 露出補正中にヒストグラム表示のオン／オフを切り換えることができます。☞「露出補正」（P.130）
- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものとは異なることがあります。
- ムービーでは、ヒストグラムは表示されません。
- 他のカメラで撮影した画像は、ヒストグラム表示できないことがあります。

●ヒストグラムターゲットを移動する

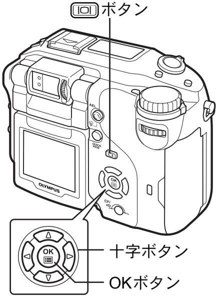
撮影モードでヒストグラム表示中に、±ボタンを押しながら十字ボタンを押すとヒストグラムターゲットが移動できます。ターゲットの範囲内がヒストグラム上に緑で表示されます。
±ボタンを押しながら㊍を押すと、移動したヒストグラムターゲットの位置がリセットされます。



スーパーコンパネ表示−液晶モニタにコントロールパネルの情報を表示する

撮影モード時、液晶モニタにコントロールパネルの表示内容をより見やすく表示します。

モードダイヤル設定 P A S M



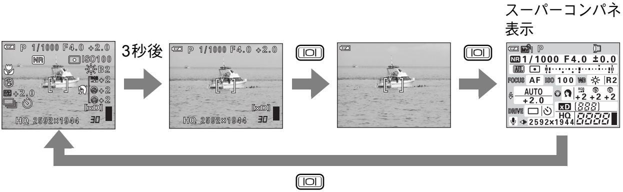
1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［スーパーコンパネ］→［オン］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。

2 を繰り返し押して、スーパーコンパネを表示します。

- スーパーコンパネを［オン］に設定しているときは、以下の順で液晶モニタの表示が切り換わります。

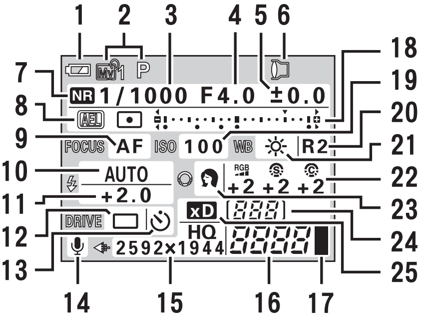


- ダイレクトボタンを押すと、スーパーコンパネ上に設定項目が緑で表示されます。コントロールダイヤルを回して、スーパーコンパネで設定値を確認しながら設定することができます。
- スーパーコンパネ画面の各項目の詳細については、次項の「●スーパーコンパネ画面表示」（P.184）を参照してください。

注意

- マクロ撮影やデジタルズームなど、液晶モニタを使って撮影する機能に設定されているときは、液晶モニタに被写体が表示されます。

●スーパーコンパネ画面表示



1	電池残量
2	撮影モード
3	シャッター速度
4	絞り値
5	露出補正値
6	アクセサリー
7	ノイズリダクション
8	AEロック／AEメモリ
9	フォーカスモード
10	フラッシュモード
11	フラッシュ補正値
12	ドライブ
13	セルフタイマー／リモコン

14	録音
15	画質モード、画素数
16	撮影可能枚数／撮影可能秒数
17	メモリゲージ
18	スポット測光／マルチ測光ポイント／中央重点測光
19	ISO感度
20	WB補正
21	ホワイトバランス
22	彩度、シャープネス、コントラスト
23	シーンプリセット
24	フォルダ番号
25	使用カード

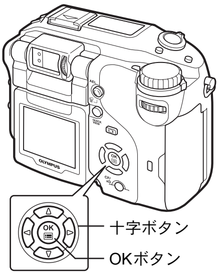
モニタ調整－液晶モニタの明るさを調整する

液晶モニタの明るさを見やすいように調整します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［モニタ調整］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 液晶モニタを見ながら △▽ を押して明るさを調整し、設定が決まったら OK を押します。

- △を押すと明るくなり、▽を押すと暗くなります。
- 再度 OK を押すと、メニューが終了します。



8

カメラの便利機能

レックビュー－撮影後すぐに画像を確認する

撮影した画像の記録中にその画像を液晶モニタに表示することができます。

オン　撮影した画像をカードに記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。レックビュー中でもすぐに次の撮影に入れます。

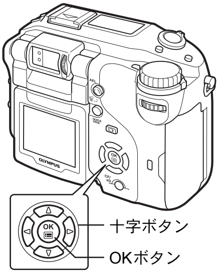
オフ　記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1　トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［レックビュー］→［オフ］または［オン］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



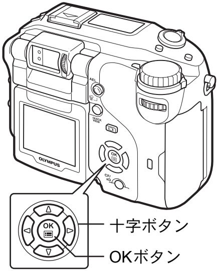
罫線表示－画像上に罫線を表示する

再生時に、液晶モニタに罫線を表示します。

モードダイヤル設定 ▶ [▶]

1 トップメニューから［モードメニュー］→［再生］→［罫線表示］→［オン］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



• 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。

• 罫線が表示されます。



8

カメラの便利機能

ビープ音－警告音を設定する

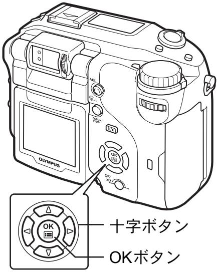
カメラが発する警告音の音量を「オフ」「小」「大」から選択します。ご購入時は「大」に設定されています。音を消す場合は「オフ」に設定してください。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［ビープ音］→［オフ］または［小］、［大］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

• 再度OKを押すと、メニューが終了します。



8

カメラの便利機能

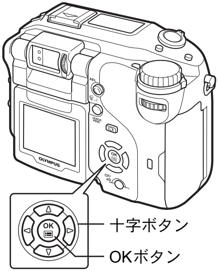
操作音－ボタンの操作音を設定する

メニュー表示などカメラのボタン操作をしたときに発する操作音の音色を2種類から選びます。さらに、それぞれの音量を「小」「大」から選択できます。ご購入時は音色「1（ピッ）」、音量「小」に設定されています。音を消す場合は「オフ」に設定してください。

モードダイヤル設定 P A S M

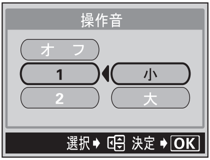
1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［操作音］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 ［1］または［2］を選択して▷を押し、さらに［小］または［大］を選択してOKを押します。

- 無音に設定する場合は［オフ］を選択し、OKを押します。
- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



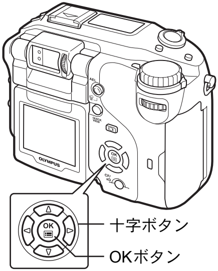
シャッター音－シャッター音を設定する

シャッターボタンを押して撮影したときに発するシャッター音の音色を2種類から選びます。さらに、それぞれの音量を「小」「大」から選択できます。ご購入時は音色「1」、音量「小」に設定されています。音を消す場合は「オフ」に設定してください。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

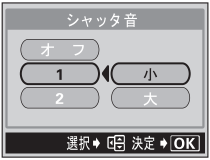
1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［シャッタ音］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」(P.53)



2 ［1］または［2］を選択して▷を押し、さらに［小］または［大］を選択してⓄⓚを押します。

- 無音に設定する場合は［オフ］を選択し、Ⓞⓚを押します。
- 再度Ⓞⓚを押すと、メニューが終了します。



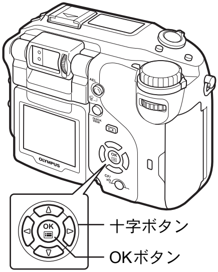
再生音量－音量を調整する

静止画の音声メモやムービー再生時の音量、電源を入れたり切ったりするときの音量を設定します。5段階の音量が設定できます。

モードダイヤル設定 ▶ ▭ [▶]

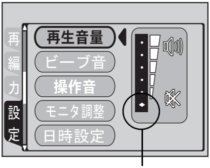
1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［再生音量］を選択し、▷を押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）



2 △▽を押して音量を設定し、Ⓞを押します。

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



ここに設定すると音声は再生されません。

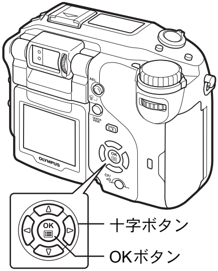
PW ON／PW OFF設定－起動時と終了時の画面と音を設定する

電源を入れたときや切ったときに表示される画面と音を設定します。自分で画像を登録して設定することもできます。☞「画面登録－起動時と終了時に表示される画面を登録する」（P.193）

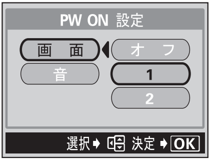
PW ON設定　電源を入れたときの画面と音を設定
PW OFF設定　電源を切ったときの画面と音を設定

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［PW ON設定］（［PW OFF設定］）を選択します。
☞「メニューの操作方法」（P.53）

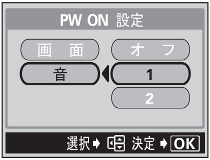


2 ⊿⊽を押して［画面］を選択し、▷を押します。⊿⊽を押して［オフ］または［1］［2］を選択し、◁を押します。



オフ　画面表示なし
1　初期設定
2　自分で登録した画像が選択できます。何も登録されていないと、電源を入れたとき／切ったときに何も表示されません。

3 ⊿⊽ を押して［音］を選択し、PW ON時（PW OFF時）の音を設定します。⊿⊽を押して［オフ］または［1］［2］を選択し、◁を押します。



- 選択できる音は2種類です。無音にする場合は、［オフ］を選択します。
- 音量は再生音量で設定した音量です。
☞「再生音量－音量を調整する」（P.191）
- 設定が終了したらOKを押します。メニューが消えるまで繰り返しOKを押します。

8
カメラの便利機能

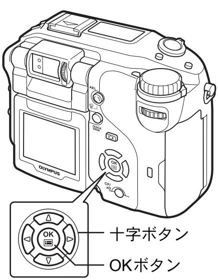
画面登録－起動時と終了時に表示される画面を登録する

電源を入れたときや切ったときに表示される画面を登録します。カードに保存されている画像から登録することができます。登録した画面を表示するときはPW ON／PW OFF設定を行います。
☞「PW ON／PW OFF設定－起動時と終了時の画面と音を設定する」(P.192)

PW ON　電源を入れたときの画面を登録
PW OFF　電源を切ったときの画面を登録

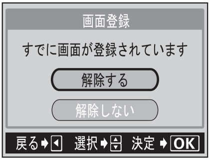
モードダイヤル設定 ▶ ▭ [▶]

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［画面登録］を選択し▷を押します。
☞「メニューの操作方法」(P.53)



2 △▽を押して［PW ON］または［PW OFF］を選択し、Ⓞを押します。
- すでに画像が登録されている場合は、登録済みの画像を解除して新たに画像を登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。画面を登録する場合は［解除する］を選択し、Ⓞを押します。［解除しない］を選ぶと［PW ON］［PW OFF］を選択する画面に戻ります。





3 十字ボタンで登録する画像を選択し、Ⓞを押します。

8
カメラの便利機能

4　△▽を押して［決定］を選択し、OKを押します。

- 画面登録され、手順2に戻ります。続けて画面登録することができます。
- ◁を押すと、メニューに戻ります。



注意

- このカメラで正しく再生できない画像およびムービーコマは、画面登録できません。

ファイル名メモリー－ファイル名の付け方を設定する

記録される画像に、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイルNo.（0001-9999）、フォルダNo.（100-999）を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　　ファイル名

¥DCIM¥***OLYMP¥Pmdd****.jpg

フォルダNo.（100~999）　月（1~C）　日（01~31）　ファイルNo.（0001~9999）

- ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

フォルダNo.とファイルNo.の付け方は、［リセット］［オート］の2種類あります。パソコンで画像を取り込む際に、扱いやすい方をお選びください。

ファイル名メモリーの設定

リセット　カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.は「No.100」に、ファイルNo.は「No.0001」に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。

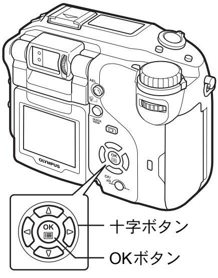
オート　カードを入れ換えても、フォルダNo.、ファイルNo.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。

モードダイヤル設定　P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［ファイル名メモリー］→［リセット］または［オート］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



8 カメラの便利機能

注意
- ファイルNo.が9999を超えるとファイルNo.は0001に戻り、フォルダNo.が変わります。
- 最大のフォルダNo.999、ファイルNo.9999に達すると、カードに残量があっても撮影可能枚数が0になり撮影できません。新しいカードに取り換えてください。

ピクセルマッピング－画像処理機能をチェックする

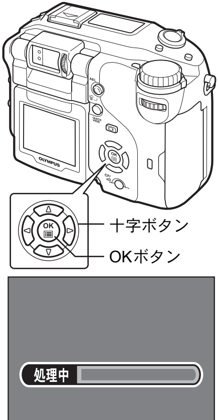
CCDと画像処理機能のチェックを同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［ピクセルマッピング］を選択し、▷を押します。

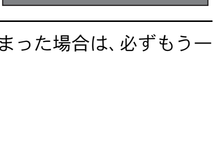
☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 「スタート」と表示されます。



2 OKを押します。

- ピクセルマッピング実行中のバーが表示されます。終了するとモードメニューに戻ります。



注意
- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

m／ft設定－距離の単位を選択する

マニュアルフォーカスモード時の画面に表示される距離の単位を選択します。

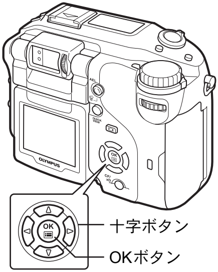
m　長い距離はメートル、短い距離はセンチで表示します。
ft　長い距離はフィート、短い距離はインチで表示します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［m／ft］→［m］または［ft］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



ビデオ出力－ビデオ出力方式を選択する

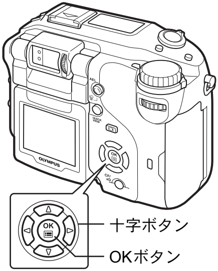
お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCまたはPALを選択します。海外でテレビに接続して再生するときに、設定を合わせてください。「ビデオ出力」はビデオケーブルを接続する前に選択してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像が正しく再生できません。

モードダイヤル設定 P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［ビデオ信号］→［NTSC］または［PAL］を選択し、Ⓞを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度Ⓞを押すと、メニューが終了します。



ヒント

主な国と地域のテレビ映像信号

カメラをお使いのときは、あらかじめご確認ください。

NTSC　日本、台湾、韓国、北米

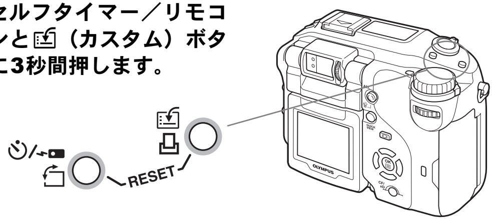
PAL　ヨーロッパ諸国、中国

オールリセットーカメラの機能を初期設定に戻す

設定した項目をリセットして初期値に戻します。

モードダイヤル設定 ▶ P A S M

1 （セルフタイマー／リモコン）ボタンと（カスタム）ボタンを同時に3秒間押します。



リセットされる項目

機能名	初期設定	参照頁	機能名	初期設定	参照頁
絞り値	F2.8	P.90	セルフタイマー／リモコン	オフ	P.109, P.110
シャッター速度	1/1000	P.91	フルタイムAF	オフ	P.96
プログラムシフト	リセット	P.63	AF方式	iESP	P.95
露出補正	0.0	P.130	アクセサリ	オフ	P.123
ヒストグラムターゲット	中央	P.182	スチル録音	オフ	P.121
フラッシュ	オート	P.78	パノラマ	オフ	P.115
フラッシュ補正	0.0	P.84	合成ツーショット	オフ	P.117
AF／マクロ／MF	AF	P.99, 107, 108	ファンクション撮影	オフ	P.120
AFターゲット	中央	P.97	ヒストグラム表示	オフ	P.180
測光	ESP	P.101		オフ	P.118
測光ターゲット	リセット	P.102	リアル表示	オフ	P.93
AEロック（マルチ測光）	オフ	P.105	画質モード	HQ	P.124

8

カメラの便利機能

機能名	初期設定	参照頁	機能名	初期設定	参照頁
WB補正	補正なし	P.137	ホワイトバランス	オート	P.132
シーンプリセット	標準	P.141	ノイズリダクション	オフ	P.141
液晶モニタ	オン（点灯）	P.23	デジタルズーム	オフ	P.77
カード切り換え	xD	P.35	シャープネス	±0	P.138
ドライブ	単写	P.112	コントラスト	±0	P.139
BKT設定	±1.0、3枚	P.113	彩度	±0	P.140
ISO感度	オート	P.129	TIFF設定	2592×1944	P.127
フラッシュ選択	内蔵+外部	P.85	SHQ・HQ設定	2592×1944	P.127
スレーブ	1	P.89	SQ1設定	1600×1200 標準	P.127
スローシンクロ	先幕効果	P.83	SQ2設定	640×480 標準	P.127
			情報表示	オフ	P.179

USB設定－USBケーブルの接続先を設定する

付属のUSBケーブルをカメラに接続する前に、カメラに接続する対象をパソコン、またはプリンタのどちらかに設定します。

PC　USB ケーブルでカメラとパソコンを接続して、パソコンに画像を転送するときに使用します。カメラとパソコンの接続方法については、別冊の「デジタルカメラ／パソコン接続操作説明書」をご覧ください。

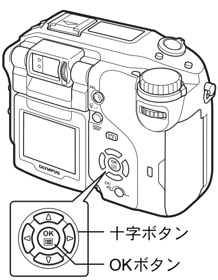
プリント　USB ケーブルでカメラと PictBridge 対応プリンタを接続するときに選択します。パソコンを使わずに直接画像をプリントできます。☞「カメラをプリンタに接続する」（P.214）

モードダイヤル設定　▶　P A S M

1 トップメニューから［モードメニュー］→［設定］→［USB］→［PC］または［プリント］を選択し、OKを押します。

☞「メニューの操作方法」（P.53）

- 再度OKを押すと、メニューが終了します。



プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。
プリント予約をすると、DPOF 対応のプリンタやDPOF 対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。
DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格で、プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定をカードに記録します。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする
予約されている内容に従ってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする
パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

DPOF を使用せずにプリントサービスを利用される方へ

写真店などのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
ファイル番号は情報表示をオンにしたときに表示されます。
（例） FILE: 100-0016
フォルダの通し番号　画像の通し番号

ヒント

撮影時の画質モードとプリントの関係

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点（ピクセル）の数が用いられ、dpi（dot per inch）と呼ばれています。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpi の値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。

プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モードをできるだけ高いものに設定することをおすすめします。☞「画質モード」（P.124）

注意

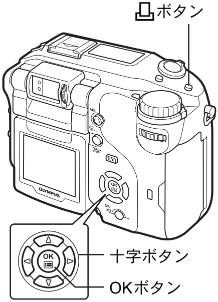
- 他のDPOF機器で設定されたDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器でDPOF予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、以前に予約した内容は消去されます。
- カードに空き残量が少ないと予約できない場合があります。「カード残量がありません」と表示されます。
- DPOF 予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚までです。
- 「この画像は再生できません」と表示される画像でも、プリント予約を設定できることがあります。その場合、1 コマ再生だとプリント予約マーク（凸）は表示されません。複数の画像を表示（インデックス表示）しているときは、凸マークが表示され、プリント予約を確認できます。
- プリンタまたはラボにより、一部機能が制限されることがあります。
- TIFF で記録された画像は、プリントできない場合があります。
- プリント予約は、カードに予約を記録するときに時間がかかることがあります。
- RAWデータで記録された画像は、プリント予約できません。

全コマ予約

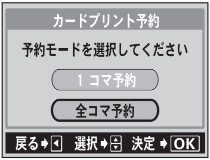
カードの中の全画像をプリント予約します。プリントする枚数と撮影日時のプリントを指定することができます。

モードダイヤル設定 ▶

1 **静止画を再生します。**
   - のついた画像はプリント予約できません。



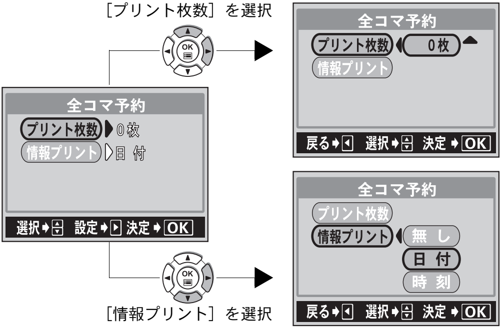
2 **（プリント予約）ボタンを押してカードプリント予約画面を表示します。**
   - すでにプリント予約した画像がある場合は、その予約設定を残すか解除するか選択する画面が表示されます。



3 **を押して、［全コマ予約］を選択し、を押します。**

4 **を押して、［プリント枚数］［情報プリント］から選択し、を押します。**

5 プリント枚数、情報プリントの設定を行います。



●プリント枚数を設定するには

△▽を押してプリント枚数を設定し、OKを押します。
△ ：枚数が増えます。
▽ ：枚数が減ります。

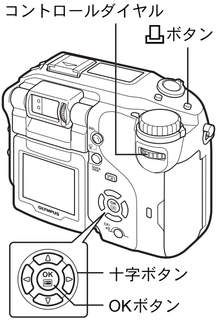
●情報プリントを設定するには

△▽を押して［無し］［日付］［時刻］から選択し、OKを押します。
無し　画像のみプリントされます。
日付　全ての画像に撮影年月日が付加されてプリントされます。
時刻　全ての画像に撮影時刻が付加されてプリントされます。
- プリント枚数、情報プリントの設定後、OKを押すと、再生画面に戻ります。

1コマ予約

選択した画像のみをプリント予約します。プリントする画像を表示してプリント枚数を設定します。

モードダイヤル設定 ▶ ▶

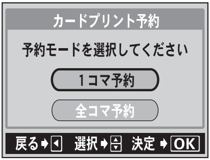


1 静止画を再生します。

- のついた画像はプリント予約できません。

2 （プリント予約）ボタンを押してカードプリント予約画面を表示します。

- すでにプリント予約した画像がある場合は、その予約設定を残すか解除するかを選択する画面が表示されます。



3 を押して、［1コマ予約］を選択し、を押します。

4 プリント予約したいコマを十字ボタンまたはコントロールダイヤルを使って選択し、を押します。



5 プリント予約したい内容に応じて、十字ボタンで項目を選択します。



1コマ予約メニュー画面

詳細予約 プリント枚数、情報プリント、トリミングを設定します。予約が設定され、手順6へ進みます。

1枚予約 プリント枚数が 1 枚の設定のみです。情報プリント、トリミングの設定はありません。→手順9

予約解除 表示されている画像のプリント予約を解除します。
→「プリント予約の解除」（☞ P.212）

予約終了 プリント予約を終了します。→手順11

6 △▽を押して、［プリント枚数］［情報プリント］［トリミング］から選択し、▷を押します。



7 プリント枚数、情報プリント、トリミングの設定を行います。

●プリント枚数を設定するには

△▽を押してプリント枚数を設定し、OKを押します。

△ ：枚数が増えます。
▽ ：枚数が減ります。



9
プリント予約

●情報プリントを設定するには

⊗⊘を押して［無し］［日付］［時刻］を選択し、㊙を押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　プリント予約した全ての画像に撮影年月日が付加されてプリントされます。
時刻　プリント予約した全ての画像に撮影時刻が付加されてプリントされます。



●トリミングをするには

☞「トリミング」（P.209）

8 プリント枚数、情報プリント、トリミングの設定後、㊙を押すと、プリント予約が設定され、手順4の画面に戻ります。

- 表示されている画像に 凸 マークが表示されます。
- 他の画像を続けてプリント予約するときは、手順4〜8を繰り返します。



9 ㊙を押して1コマ予約メニュー画面を表示させます。

10 ◁を押して［予約終了］を選択します。

- カードプリント予約画面に戻ります。



11 再度◁を押すと予約確認の画面が表示され、もう一度◁を押すと、プリント予約を終了します。

トリミング

撮影した画像の一部を拡大してプリントします。

モードダイヤル設定 ▶ ▶

1　1コマ予約画面で△▽を押して［トリミング］を選択し▷を押します。

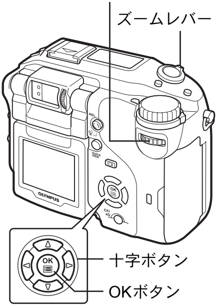
☞「1コマ予約」（P.206）

- すでにトリミングが設定されている場合は、トリミング画面が表示されますので、△▽を押して［再設定］を選択し、OKを押します。



2　十字ボタン、ズームレバー、コントロールダイヤルを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

- △▽◁▷を押してトリミングする位置を移動し、ズームレバーをW側またはT側に動かしてトリミングのサイズを決めます。
- コントロールダイヤルでトリミング枠の縦と横を選択します。
- 画像サイズが2592×1944、または2592×1728の場合は、3:2のトリミングサイズが選択できます。



3　OKを押します。



4 ⊖⊗を押して［決定］を選択し、㊫を押します。



決定　設定されているトリミングを保存します。1コマ予約画面に戻ります。

再設定　再度トリミングをし直します。→手順2

中止　設定されているトリミングを解除します。1コマ予約画面に戻ります。

5 ㊫を押すとプリント予約が設定され、画像の選択に戻ります。再び㊫を押します。

6 ⊲を押して［予約終了］を選択します。



- カードプリント予約画面に戻ります。
- 再度 ⊲ を押すと予約確認の画面が表示され、もう一度⊲を押すと、プリント予約を終了します。

注意

- プリントされる画像の大きさは、プリンタの設定によります。トリミングの大きさが小さいと、プリントするときの拡大率が大きくなるため、プリント画像は粗くなります。
- 詳細なクローズアッププリントを行うためには、TIFF、SHQ、HQの画質モードでの撮影をおすすめします。
- 元の画像はトリミングされていません。トリミングに対応していないプリンタでは、通常のプリントになります。
- トリミングを設定した画像を回転再生しないでください。トリミングで指定した範囲が変わります。

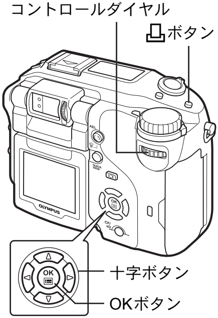
プリント予約の解除

カード内の画像のプリント予約を解除します。
すべてのプリント予約を解除する方法と選んだ画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

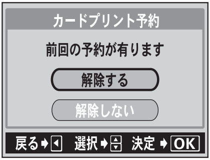
●全ての予約の解除

モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 ⎍(プリント予約)ボタンを押します。
- カードプリント予約画面が表示されます。



2 ⊚⊚を押して［解除する］を選択し、⊛を押します。



3 ◁を押して、メニューを終了します。

9
プリント予約

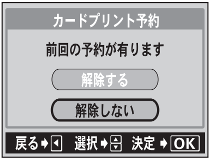
●1コマ予約の解除

モードダイヤル設定 ▶ ▶

1 (プリント予約）ボタンを押します。

2 △▽を押して［解除しない］を選択し、OKを押します。

- プリント予約した画像がない場合は、この画面は表示されません。



3 △▽を押して［1コマ予約］を選択し、OKを押します。

4 プリント予約を解除したいコマを十字ボタンまたはコントロールダイヤルを使って選択し、OKを押します。

- 1コマ予約メニュー画面が表示されます。



5 ▽を押して[予約解除]を選択します。

- プリント予約が解除され、手順4の画面に戻ります。



6 他に予約解除する画面がない場合は、OKを押します。

- 1コマ予約メニュー画面が表示されます。

7 ◁を押して［予約終了］を選択します。

- 再生画面に戻るまで、繰り返し◁を押します。

10ダイレクトプリント

ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数の設定は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラの液晶モニタを見ながら操作します。また、プリント予約の設定内容を使って、プリントすることもできます。☞「プリント予約」(P.202)
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは…異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

標準設定とは…PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面(P.216～221)で[凸標準設定]を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

ヒント

- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

注意

- 電源には別売のACアダプタのご使用をおすすめします。電池をご使用の場合は、充分に充電された電池をお使いください。プリンタと通信中にカメラが動作を停止すると、プリンタが誤動作したり、画像データを壊すことがあります。
- RAW データで記録された画像およびムービーは、プリントできません。
- USBケーブルを取り付けているときは、カメラはスリープモード(待機状態)になりません。

カメラをプリンタに接続する

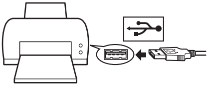
付属のUSBケーブルで、カメラをPictBridge対応プリンタに接続します。

1 カメラのUSBモードを［プリント］に設定します。

☞「USB設定－USBケーブルの接続先を設定する」（P.201）

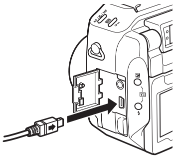
- プリントしたい画像を記録してあるカードをあらかじめ選択しておいてください。

2 プリンタの電源を入れて、プリンタのUSBポートに、カメラに付属の専用USBケーブルのプリンタ接続側のプラグを差し込みます。



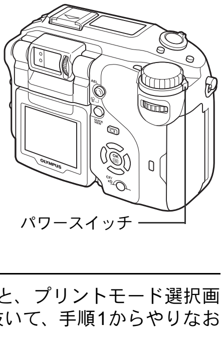
- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

3 カメラのモードダイヤルを ▶ に合わせ、専用USBケーブルをカメラのUSB端子に差し込みます。



4 カメラのパワースイッチを ON の位置に合わせて、カメラの電源を入れます。

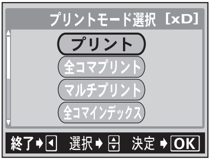
- カメラの液晶モニタが点灯し、「しばらくお待ちください」と表示された後、プリントモード選択画面が表示されます。プリントの設定はカメラの液晶モニタを見ながら操作します。☞「プリントする」（P.215）に進みます。



注意
- USBモードが［PC］に設定されていると、プリントモード選択画面は表示されません。USBケーブルを抜いて、手順1からやりなおしてください。

プリントする

カメラをPictBridge対応プリンタに接続すると、カメラの液晶モニタにプリントモード選択画面が表示されます。この画面でプリントモードを選択して、プリントします。選択できるプリントモードは、以下のとおりです。



プリント 選択した画像をプリントします。
☞「プリントモード/マルチプリントモード」(P.215)

全コマプリント カードの中の全画像をプリントします。
☞「全コマプリントモード」（P.219）

マルチプリント* 1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
☞「プリントモード/マルチプリントモード」(P.215)

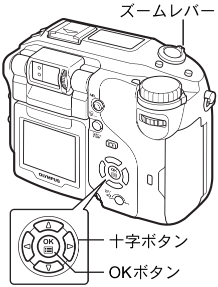
全コマインデックス* カードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
☞「全コマインデックスモード/予約プリントモード」（P.221）

予約プリント* プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約（P.202）された画像が無いときは、選択できません。
☞「全コマインデックスモード/予約プリントモード」（P.221）

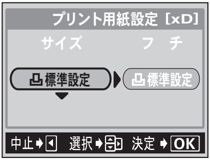
* プリンタによっては選択できません。

プリントモード/マルチプリントモード

1 プリントモード選択画面で、△▽を押して［プリント］、または［マルチプリント］を選択し、OKを押します。
- プリント用紙設定画面が表示されます。



2 △▽を押して用紙サイズを選択し、▷を押します。



プリントモードの画面

- **プリントモードの場合**
  →手順3へ進みます。
- **マルチプリントモードの場合**
  →手順4へ進みます。
- 用紙サイズの設定値は、お使いのプリンタによって異なります。
- プリント用紙設定画面が表示されないときは、用紙サイズとフチまたは分割数の設定は標準設定になります。→手順5へ進みます。

3 △▽を押してフチの有無を選択し、OKを押します。→手順5へ進みます。



有り（▭）	用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□）	用紙いっぱいにプリントします。

4 △▽を押して分割数を選択し、OKを押します。



- 設定可能な分割数は、手順2で選択した用紙サイズやプリンタの種類によって異なります。

5 ◁▷、またはコントロールダイヤルでプリントする画像を選択します。



- ズームレバーを W 側に回すと、インデックス表示されます。インデックスから画像を選択することもできます。

6 予約方法を選択します。

1枚予約	選択している画像を標準設定で予約します。プリント枚数は1枚です。
詳細予約	選択している画像のプリント枚数を設定してプリント予約します。日付やファイル名の付加、画像のトリミングなどの設定もできます。

●1枚予約する

△を押します。

- 凸が表示されている画像のときに△を押すと、予約が解除されます。

予約マークが表示されます。



●詳細予約する

① ▽を押します。

- プリント情報設定画面が表示されます。

② △▽を押して設定したい項目を選択し、▷を押します。

- △▽を押して設定を変更し、(OK)を押します。
- 設定可能な項目は、お使いのプリンタによって異なります。プリンタが対応していない項目は選択できません。



プリント枚数	プリント枚数を設定します。枚数は 10 枚まで設定できます。
日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付が付加されてプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名が付加されてプリントされます。
トリミング（⊏⊐）	撮影した画像の一部を拡大してプリントします。☞「トリミングするには」（P.223）

- マルチプリントモードでは、［日付］［ファイル名］の設定はできません。

③ 詳細予約の設定が終了したら、OKを押します。

- 手順5の画面に戻ります。



- 複数の画像をまとめてプリントまたはマルチプリントするときは、手順5と手順6の「1枚予約」と「詳細予約」を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- マルチプリントモードでは、▦が表示されます。

7 OKを押します。

- プリント画面が表示されます。

8 プリントします。



- △▽を押して［プリント］［中止］から選択し、OKを押します。

プリント プリントを開始します。
中止 設定した内容が取り消され、プリントモード選択画面に戻ります。

- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.225）

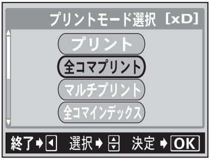
●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータを転送中にOKを押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△▽を押して［中止］を選択し、OKを押します。



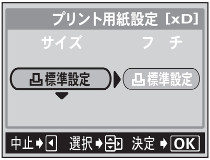
全コマプリントモード

1 プリントモード選択画面で、△▽を押して［全コマプリント］を選択し、OKを押します。



- プリント用紙設定画面が表示されます。

2 △▽を押して用紙サイズを選択し、▷を押します。



- 用紙サイズの設定値は、お使いのプリンタによって異なります。
- プリント用紙設定画面が表示されないときは、用紙サイズとフチの設定は標準設定になります。→手順4へ進みます。

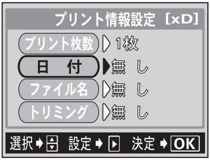
3 △▽を押してフチの有無を選択し、OKを押します。



有り（□）	用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□）	用紙いっぱいにプリントします。

- プリント情報設定画面が表示されます。

4 △▽を押して設定したい項目を選択し、▷を押します。



- △▽ を押して設定を変更し、OK を押します。
- プリント情報設定ができないプリンタの場合は、手順6へ進みます。
- 設定可能な項目は、お使いのプリンタによって異なります。プリンタが対応していない項目は選択できません。

日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付が付加されてプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名が付加されてプリントされます。

5 (OK)を押します。

- プリント画面が表示されます。

6 プリントします。

- △▽を押して［プリント］［中止］から選択し、(OK)を押します。

プリント　プリントを開始します。
中止　設定した内容が取り消され、プリントモード選択画面に戻ります。



- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.225）

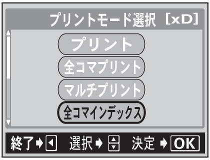
●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータの転送中に(OK)を押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△▽を押して［中止］を選択し、(OK)を押します。



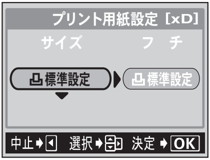
全コマインデックスモード/予約プリントモード

1 プリントモード選択画面で、△▽を押して［全コマインデックス］、または［予約プリント］を選択し、OKを押します。



- プリント用紙設定画面が表示されます。

2 △▽を押して用紙サイズを選択し、▷を押します。



- 用紙サイズの設定値は、お使いのプリンタによって異なります。
- 選択しているプリントモードによっては、用紙サイズまたはフチの選択はできません。
- プリント用紙設定画面が表示されないときは、用紙サイズとフチの設定は標準設定になります。→手順4へ進みます。

3 △▽を押してフチの有無を選択し、OKを押します。



有り（▢）	用紙の周辺に余白を付けてプリントします。
無し（□）	用紙いっぱいにプリントします。

- プリント画面が表示されます。

4 プリントします。



- △▽を押して［プリント］［中止］から選択し、OKを押します。

プリント	プリントを開始します。
中止	設定した内容が取り消され、プリントモード選択画面に戻ります。

- プリントが終了すると、プリントモード選択画面に戻ります。
☞「ダイレクトプリントを終了する」（P.225）

●プリントを途中で中止するには

プリンタへデータの転送中にOKを押すと、プリント続行、または中止の選択画面が表示されます。プリントを中止するには、△▽を押して［中止］を選択し、OKを押します。



注意

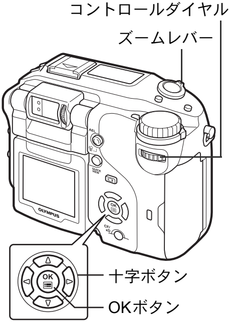
- 全コマインデックスプリントでは、分割数などの設定はプリンタによって自動的に決められます。
- インデックスの機能に対応していないプリンタでは、全コマインデックスプリントはできません。
- DPOFに対応していないプリンタでは、予約プリントはできません。

トリミングするには

プリントモード、またはマルチプリントモードの詳細予約でトリミングを設定するときは、以下の手順で行います。

1 十字ボタンとズームレバーを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。

- △▽◁▷を押してトリミングする位置を移動し、ズームレバーをW側またはT側に回してトリミングのサイズを決めます。
- コントロールダイヤルでトリミング枠の縦と横を選択します。
- 画像サイズが2592×1944、または2592×1728の場合は、3:2のトリミングサイズが選択できます。
- すでにトリミングが設定されている場合は、トリミング画面が表示されますので、△▽を押して［再設定］を選択し、OKを押します。



2 OKを押します。



3 △▽を押して［決定］を選択し、OKを押します。



決定	設定されているトリミングを保存します。
再設定	再度トリミングをしなおします。→手順1に戻ります。
解除	設定されているトリミングを解除します。

- OKを押すとトリミングが設定され、プリント情報設定画面に戻ります。

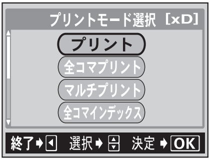
注意

- プリントされる画像の大きさは、プリンタの設定によります。トリミングの大きさが小さいと、プリントするときの拡大率が大きくなるため、プリント画像は粗くなります。
- 詳細なクローズアッププリントを行うためには、TIFF、SHQ、HQの画質モードでの撮影をおすすめします。

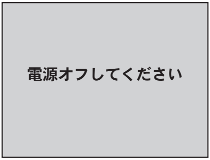
ダイレクトプリントを終了する

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

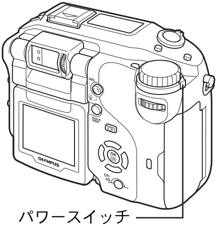
1 プリントモード選択画面で、◁ を押します。



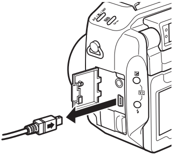
• メッセージが表示されます。



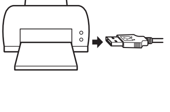
2 カメラのパワースイッチを OFF の位置に合わせて、電源を切ります。



3 カメラからUSBケーブルを抜きます。



4 プリンタから USB ケーブルを抜きます。



エラーコードが表示されたときは

ダイレクトプリント設定中およびプリント中にカメラの液晶モニタにエラーコードが表示されたときは、以下のように対応してください。
対処方法については、お使いのプリンタの取扱説明書もご覧ください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
接続されていません	カメラがプリンタに正しく接続されていません。	カメラとプリンタを正しく接続しなおしてください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、再度電源を入れなおしてください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。

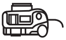
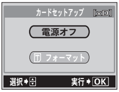
ヒント

- その他のエラーコードが表示されたときは、「エラーコード表示」（P.227）をご確認ください。

11その他

エラーコード表示

コントロールパネル	液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
- - -	カードを認識できません	カードが入っていません。 または認識できません。	カードを入れてください。またはカードを正しく入れなおしてください。 それでもこの表示が消えないときはカードをフォーマットしてください。フォーマットできない場合、このカードはご使用になれません。
-E-	このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
-P-	書き込み禁止になっています	カードが書込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
0	撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数、または秒数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
0	カード残量がありません	カードに空き容量がなく、プリント予約やファンクション撮影など新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
000	画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生・プリント予約してください。
表示なし	この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。

-0-	 カードカバーが開いています	カードカバーが開いています。	カードカバーを閉めてください。
-F-		カードがフォーマットされていません。	カードをフォーマットしてください。 フォーマットすると、カード内のデータはすべて消去されます。
表示なし	! コピーできません	25MB以上の画像(SHQで約28秒、HQ で約 75 秒、SQで約300秒以上のムービーコマ)はカード間のコピーができません。	1コマコピーで左記の画像を避けてコピーしてください。
表示なし	⚠ ズームエラー	レンズに無理な力が加わり、動いてしまいました。	パワースイッチを一度OFFにして、カメラの電源を入れなおしてください。

故障かな？と思ったら

●準備操作

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない／ボタンを押しても動作しない		
電源が切れている	パワースイッチをONにしてください。	P.37
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	P.28
寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。	ー
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	P.38
パソコンに接続している	パソコンと接続中、カメラは動作しません。	ー

●撮影

原因	こうしましょう	参照ページ
シャッターボタンを押しても撮影ができない		
電池残量が少なくなった	電池を充電してください。	P.28
再生モードになっている	モードダイヤルを▶以外にしてください。	P.67
フラッシュの充電が完了していない	一度シャッターボタンから指をはなし、オレンジランプの点滅が終わってから撮影してください。	P.79
カードの容量がいっぱいになった	不要な画像を消すか、新しいカードを入れてください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。	P.164
撮影中やカードの書き込み中に電池がなくなった（液晶モニタが消灯した。またはコントロールパネルの電池残量マークのみが点滅している。）	電池を充電してください。（カードアクセスランプが点滅中は、消灯するまでお待ちください。）	P.28
液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している	メモリゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	P.25
カードに問題がある	「エラーコード表示」でご確認ください。	P.227

原因	こうしましょう	参照ページ
ファインダが見にくい		
視度調節が正しくない	AFターゲットマークがはっきり見えるように調整してください。	P.44
ファインダが結露*している	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	—

* 結露： 外気が寒いときに空気中にある水蒸気が急速に冷やされて水滴になること。カメラが冷えた状態で急に暖かい部屋などに入れた場合に発生します。

液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	モードメニューの「液晶モニタ調整」で液晶モニタの明るさを調整してください。	P.185
太陽光の下である	液晶モニタを引き出して下に向けて使用するか、太陽の光を手などでさえぎってください。	—
撮影時に液晶モニタの画面に縦スジが入る	晴天下のような明るい被写体にカメラを向けると、画面に縦スジが入ることがあります。故障ではありません。	—
画像ファイルに記録される日付が正しくない		
日時が設定されていない	日時を設定してください。お買い上げ時には日時の設定はされていません。	P.42
電池を抜いて放置していた	電池を抜いた状態で約5日間放置すると、日時設定が解除されます。もう一度、日時を設定してください。	P.29, 42
設定した機能が電源を切ると元に戻ってしまう		
「設定クリア」の機能が「オン」に設定されている	「モードメニュー」の「設定」タブにある「設定クリア」を「オフ」に設定してください。	P.166
ピントが合わない		
被写体との距離が近すぎる	被写体との距離は20cm以上はなして撮影してください。20cmよりも近づいて撮影するときは、スーパーマクロモードに設定してください。	P.107, 108
AFが苦手な被写体である	マニュアルフォーカスにして手動でピントを合わせるか、フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.72, 99
被写体が暗い	AFイルミネータをオンにしてください。	P.98
レンズの表面が結露*した	電源を切ってしばらくおき、カメラ全体が環境温度になじんで乾燥するのを待ってからお使いください。	—

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタが消灯した		
カメラがスリープモード（待機状態）になっている	シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	P.38
液晶モニタを消灯して電源を切った	「モードメニュー」の「設定」タブにある「設定クリア」が「オフ」に設定されていると、電源を切る前の状態が記憶されています。 液晶モニタを点灯させてから電源を切ってください。	P.69, 166
フラッシュが発光しない		
フラッシュが発光禁止に設定されている	フラッシュの設定を「発光禁止」以外に設定してください。	P.78
明るい被写体である	フラッシュを強制的に発光させたい場合は、フラッシュを「強制発光」に設定してください。	P.78
連写（連写・高速連写・AF連写・オートブラケット撮影）が設定されている	連写ではフラッシュはご使用になれません。 ドライブメニューで「単写」に設定してください。	P.112
ムービーモードに設定されている	ムービーモードではフラッシュはご使用になれません。以外の撮影モードにしてください。	P.74
ファンクション撮影の白板・黒板モードが設定されている	ファンクション撮影の白板・黒板モードではフラッシュはご使用になれません。	P.120
スーパーマクロモード撮影をしている	スーパーマクロモードではフラッシュはご使用になれません。スーパーマクロを「オフ」に設定してください。	P.108
パノラマ撮影をしている	パノラマではフラッシュはご使用になれません。 パノラマ撮影を解除してください。	P.115
電池の消耗が早い		
寒い中で使用している	低温下では電池の性能が低下します。カメラを防寒具や衣類の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。	ー
電池残量が正しく表示されていない	カメラの消費電力が大きく変化する際、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。電池を充電してください。	P.25, 28
ファインダ横の緑ランプとオレンジランプが同時に点滅している		
電池の残量がない	電池を充電してください。	P.28

●画像の再生

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像のピントが合っていない		
AFが苦手な被写体を撮影した	マニュアルフォーカスにして手動でピントを合わせるか、フォーカスロックを使ってピントを合わせてください。	P.72, 99
シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった（手ぶれ）	カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。	P.45
フラッシュが必要な暗い状況で「発光禁止」に設定していた	フラッシュを「発光禁止」以外に設定してください。シャッタースピードが遅くなると手ぶれが起きやすくなります。三脚をご使用になるか、フラッシュを「オート」にして撮影してください。	P.78
レンズが汚れていた	レンズの汚れを拭きとってください。レンズブロワー（市販）でレンズのほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパー（市販）でやさしく拭いてください。レンズを汚れたままにしておくとかびが生えることがあります。	P.247
撮影した画像が明るすぎる		
フラッシュの設定が「強制発光」になっていた	「強制発光」以外のフラッシュモードに設定してください。	P.78
中央部に暗いものがある	中央部に暗いものがあると周辺部が明るく写ります。露出補正をアンダー（－）側に設定してください。	P.130
ISOが高感度設定になっている	ISO感度をオートまたは80などの低感度に設定してください。	P.129
A（**M**）モードで小さい絞り値になっている	絞り込んで（絞り値を大きくして）ください。または、**P**モードに設定してください。	P.90
S（**M**）モードで遅いシャッター速度に設定されている	シャッター速度を速くしてください。または、**P**モードに設定してください。	P.91

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像が暗い		
フラッシュを指で覆ってしまった。	カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気をつけてください。	P.45
撮りたいものがフラッシュ撮影範囲より遠かった	フラッシュ撮影範囲内で撮影してください。	P.79
フラッシュが「発光禁止」になっていた	フラッシュを「発光禁止」以外に設定してください。	P.78
逆光状態で小さい被写体を撮影した	フラッシュを「強制発光」に設定するか、測光を「スポット」に設定して撮影してください。	P.78, 101
連写モードで撮影した	連写モードはシャッタースピードの最長時間が短くなるので、暗い場所では通常よりも暗く写るおそれがあります。ドライブメニューで「単写」に設定してください。	P.112
中央部に明るいものがある	中央部に明るいものがあると全体が暗く写ります。露出補正をオーバー（+）側に設定してください。	P.130
A（**M**）モードで大きい絞り値になっている	絞りを開いて（絞り値を小さくして）ください。または、**P**モードに設定してください。	P.90
S（**M**）モードで速いシャッター速度に設定されている	シャッター速度を遅くしてください。または、**P**モードに設定してください。	P.91
撮影した画像の色がおかしい		
照明の色が影響した	照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P.132
撮影する構図の中に白の基準になるものがなかった	白いものを入れて撮影するか、フラッシュを「強制発光」に設定して撮影してください。	P.78
ホワイトバランスの設定を間違えた	照明に合わせて、もう一度ホワイトバランスを設定しなおしてください。	P.132
フィルターを使っていた	使用するフィルターによっては、不自然な色になることがあります。ワンタッチホワイトバランスを使用してください。	P.132
画像の一部が暗い		
レンズに指やストラップがかかってしまった	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップがかからないように気をつけてください。	P.45

原因	こうしましょう	参照ページ
画像のハレーション部に不自然な色がつく		
紫外線の影響で輝度差の大きい被写体（木漏れ日、夜景での明るい窓の枠、直射日光下の金属の反射など）を撮影すると、発生する場合があります。	• 専用のUVフィルターを使用します。全体の色再現バランスを崩す場合がありますので、左記の条件下のみでの使用をおすすめします。 • 画像をパソコンでレタッチします。フォトレタッチソフト（Photoshop、PaintShop Proなど）を使用して、レタッチします。不自然な色の部分をスポイトツールなどで抽出したあと、色域指定を行ない、色変換や色彩度の調整をする方法があります。レタッチの方法は、各ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。	ー
液晶モニタ上で再生できない		
電源が入っていない	モードダイヤルを▶に合わせてから、パワースイッチをONにしてください。	P.143
撮影モードになっている	QUICK VIEWボタンを押すか、モードダイヤルを▶にしてください。	P.143, 144
カードに画像が記録されていない	液晶モニタに「画像が記録されていません」と表示されます。撮影してから再生してください。	ー
カードに問題がある	「エラーコード表示」でご確認ください。	P.227
テレビに接続している	AVケーブルを接続しているときは液晶モニタは点灯しません。	P.156
1コマ消去・全コマ消去ができない		
画像がプロテクトされている	Oπマークの付いた画像を表示して、Oπボタンを押してプロテクトを解除してください。	P.163
カメラとテレビを接続してもテレビに映像がでない		
カメラの映像出力信号が間違っている	使用する地域の映像信号にビデオ出力の設定を合わせてください。	P.198
テレビの映像信号の設定が間違っている	テレビをビデオ（映像）入力モードにしてください。	P.156
液晶モニタが見にくい		
液晶モニタの明るさの設定が適切でない	モードメニューの「液晶モニタ調整」で液晶モニタの明るさを調節してください。	P.185
太陽光の下である	液晶モニタを引き出して下に向けて使用するか、太陽の光を手などでさえぎってください。	ー
日本語以外の言語で画面表示される		
表示言語が日本語以外に設定されている	言語の設定（🗣☰）を「日本語」に設定してください。	P.40

●パソコンやプリンタとの接続

原因	こうしましょう	参照ページ
パソコンでカメラが認識されない		
USBドライバがインストールできていない	Windows 98/98SEではUSBドライバのインストールが必要です。別冊の「デジタルカメラ／パソコン接続操作説明書」にしたがってドライバをインストールしてください。	ー
カメラの電源が入っていない	パワースイッチをONにして、カメラの電源を入れてください。	P.37

メニュー一覧

●P/A/S/M/ / / / / / モード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	ドライブ※1	単写／高速連写／連写／AF連写／BKT	P.112
		ISO感度	オート／80／100／200／400	P.129
		マイモード選択※2	マイモード1～マイモード8	P.94
		フラッシュ選択	内蔵+外部／外部／スレーブ	P.85
		スローシンクロ	先幕効果／赤目•先幕効果／後幕効果	P.83
		ノイズリダクション※3	オフ／オン	P.141
		デジタルズーム	オフ／オン	P.77
		フルタイムAF	オフ／オン	P.96
		AF方式	iESP／スポット	P.95
		アクセサリ	オフ／ ／	P.123
		スチル録音	オフ／オン	P.121
		パノラマ※4		P.115
		合成ツーショット		P.117
		ファンクション撮影	オフ／モノクロ／セピア／白板／黒板	P.120
		ヒストグラム表示※5	オフ／ オン／オン／ダイレクト	P.180
			オフ／オン／罫線表示	P.118
		リアル表示※6	オフ／オン	P.93
	画　像	画質モード	RAW／TIFF／SHQ／HQ／SQ1／SQ2	P.124
		ホワイトバランス	オート／プリセット1／プリセット2／カスタム／ワンタッチ	P.132
		WB補正	オート／プリセット1／プリセット2／カスタム	P.137
		カスタムWB登録	カスタム1／カスタム2／カスタム3／カスタム4	P.134
		シーンプリセット※3	標準／ポートレート／風景／夜景	P.141
		シャープネス	–5～+5	P.138
		コントラスト	–5～+5	P.139
		彩度	–5～+5	P.140
	カード	カードセットアップ	フォーマット／中止	P.177

次のページにつづく

●P/A/S/M/My/夜景/風景/風景人物/スポーツ/ポートレートモード（つづき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	設　定	設定クリア※7	オフ／オン	P.166
		露出ステップ	1/3EV／1/2EV	P.178
		(言語)	日本語／ENGLISH／FRANCAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL／ITALIANO／РУССКИЙ／PORTUGUES	P.40
		PW ON設定	画面／音	P.192
		PW OFF設定	画面／音	P.192
		レックビュー	オフ／オン	P.186
		ビープ音	オフ／小／大	P.188
		操作音	オフ／1／2	P.189
		シャッタ音	オフ／1／2	P.190
		マイモード設定	現設定／カスタム／クリア	P.174
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.195
		ピクセルマッピング		P.196
		モニタ調整		P.185
		日時設定		P.42
		m／ft設定	m／ft	P.197
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.198
		ショートカット設定	A／B／C	P.171
		カスタムボタン設定		P.168
		スーパーコンパネ	オフ／オン	P.183
		AFイルミネータ	オフ／オン	P.98
		USB	PC／プリント	P.201
（ドライブ）			ショートカット設定で登録した機能	
（画質モード）			ショートカット設定で登録した機能	
（ホワイトバランス）			ショートカット設定で登録した機能	

※1 夜景モードでは選択できません。

※2 Myモード以外では選択できません。

※3 夜景 風景 風景人物 スポーツ ポートレートモードでは選択できません。

※4 **A S M**モードでは選択できません。

※5 **M**モードでは選択できません。

※6 **M**モード以外では選択できません。

※7 Myモードでは選択できません。

11

その他

●モード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	撮　影	ISO感度	オート／80／100／200／400	P.129
		デジタルズーム	オフ／オン	P.77
		フルタイムAF	オフ／オン	P.96
		アクセサリ	オフ／ ／	P.123
		ファンクション撮影	オフ／モノクロ／セピア	P.120
	画　像	WB補正	オート／プリセット1／プリセット2／カスタム	P.137
		シーンプリセット	標準／ポートレート／風景／夜景	P.141
		シャープネス	–5～+5	P.138
		コントラスト	–5～+5	P.139
		彩度	–5～+5	P.140
	カード	カードセットアップ	フォーマット／中止	P.177
	設　定	設定クリア	オフ／オン	P.166
		露出ステップ	1/3EV／1/2EV	P.178
			日本語／ENGLISH／FRANCAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL／ITALIANO／РУССКИЙ／PORTUGUES	P.40
		PW ON設定	画面／音	P.192
		PW OFF設定	画面／音	P.192
		ビープ音	オフ／小／大	P.188
		操作音	オフ／1／2	P.189
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.195
		ピクセルマッピング		P.196
		モニタ調整		P.185
		日時設定		P.42
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.198
		スーパーコンパネ	オフ／オン	P.183
		USB	PC／プリント	P.201
ムービー録音				P.122
画質モード			SHQ／HQ／SQ	P.124
ホワイトバランス			オート／プリセット1／プリセット2／カスタム／ワンタッチ	P.132

●▶モード(静止画)

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	再　生	録音	スタート	P.157
		ヒストグラム表示	オフ／オン／ダイレクト	P.180
		罫線表示	オフ／オン	P.187
	編　集	RAW編集	画質モード／ホワイトバランス／WB補正／シーンプリセット／シャープネス／コントラスト／彩度／ファンクション撮影／トリミング	P.161
		リサイズ	640×480／320×240／中止	P.159
		トリミング	新規作成／中止	P.159
		コピー	全コマ／選択コマ	P.162
	カード	カードセットアップ	全コマ消去／フォーマット	P.165, 177
	設　定	設定クリア	オフ／オン	P.166
			日本語／ENGLISH／FRANCAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL／ITALIANO／РУССКИЙ／PORTUGUES	P.40
		PW ON設定	画面／音	P.192
		PW OFF設定	画面／音	P.192
		画面登録	PW ON／PW OFF	P.193
		再生音量		P.191
		ビープ音	オフ／小／大	P.188
		操作音	オフ／1／2	P.189
		モニタ調整		P.185
		日時設定		P.42
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.198
		インデックス表示	4／9／16	P.148
		USB	PC／プリント	P.201
自動再生				P.149
情報表示				P.179

●▶モード(ムービー)

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	参照頁
モードメニュー	編　集	コピー	全コマ／選択コマ	P.162
	カード	カードセットアップ	全コマ消去／フォーマット	P.165, 177
	設　定	設定クリア	オフ／オン	P.166
			日本語／ENGLISH／FRANCAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL／ITALIANO／РУССКИЙ／PORTUGUES	P.40
		PW ON設定	画面／音	P.192
		PW OFF設定	画面／音	P.192
		再生音量		P.191
		ビープ音	オフ／小／大	P.188
		操作音	オフ／1／2	P.189
		モニタ調整		P.185
		日時設定		P.42
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.198
		インデックス表示	4／9／16	P.148
		USB	PC／プリント	P.201
ムービープレイ		ムービー再生	再生／コマ送り／中止	P.150
		インデックス作成	決定／再設定／中止	P.152
		ムービー編集	決定／再設定／中止	P.154
情報表示				P.179

初期設定一覧

各機能は工場出荷時には下記のように設定されています。

●撮影モード

絞り値	F2.8
プログラムシフト	リセット
シャッタースピード	1/1000秒
ズーム	広角
LCD	オン
使用カード	xD
露出補正	0.0
フラッシュモード	オート発光 （**S M**：スローシンクロ、：発光禁止）
フラッシュ補正	0.0
測光	ESP
AF/マクロ/MF	AF
AFターゲット移動	中央
測光ターゲット移動	中央
ヒストグラムターゲット移動	中央
セルフタイマー /リモコン	オフ
ドライブ	単写
オートブラケット撮影	±1.0、3枚
ISO感度	オート（**A S M**：80）
マイモード選択	マイモード1
フラッシュ選択	内蔵+外部
スレーブ	1
スローシンクロ	先幕効果
ノイズリダクション	オフ（：オンに固定）
デジタルズーム	オフ
フルタイムAF	オフ
AF方式	iESP
アクセサリ	オフ
スチル録音	オフ
ムービー録音	オン
パノラマ	オフ

合成ツーショット	オフ
ファンクション撮影	オフ
ヒストグラム表示	オフ
⊞	オフ
IMI mode リアル表示	オフ
画質モード	HQ（2592×1944、🎥：320×240）
TIFF設定	2592×1944
SHQ設定	2592×1944
HQ設定	2592×1944
SQ1設定	1600×1200　標準
SQ2設定	640×480　標準
ホワイトバランス	オート
WB補正	補正なし
カスタムWB登録	未登録
シーンプリセット	標準
シャープネス	±0
コントラスト	±0
彩度	±0
露出ステップ	1/3EV
レックビュー	オン
シャッタ音	1－小
ファイル名メモリー	リセット
m/ft設定	m
ショートカット設定	A：ドライブ、B：画質モード、 C：ホワイトバランス
カスタムボタン設定	ドライブ
スーパーコンパネ表示	オフ
AFイルミネータ	オン

●再生モード

情報表示	オフ
罫線表示	オフ
プロテクト	オフ

回転再生	0°
プリント予約	オフ
録音	オフ
コピー	全コマ
再生音量	3
インデックス表示	9

●その他

設定クリア	オン
	日本語
PW ON設定	1
PW OFF設定	1
ビープ音	小
操作音	1－小
モニタ調整	標準
日時設定	年月日 2003/01/01 00:00
ビデオ出力	NTSC
USB	PC

撮影モード別の設定可能な機能

モードでは、選択した撮影モードによって設定可能な機能は異なります。

機能＼モード	P	A	S	M		
ズーム	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	○	○
AF方式	○	○	○	○	○	–
フルタイムAF	○	○	○	○	○	○
AFターゲット移動	○	○	○	○	○	–
AFイルミネータ	○	○	○	○	○	–
マニュアルフォーカス	○	○	○	○	○	–
フラッシュモード　オート発光	○	○	–	–	○	–
フラッシュモード　赤目軽減発光	○	○	–	–	○	–
フラッシュモード　強制発光	○	○	–	–	○	–
フラッシュモード　先幕効果	○	○	○	○	○	–
フラッシュモード　先幕・赤目効果	○	○	–	–	○	–
フラッシュモード　後幕効果	○	○	○	○	○	–
フラッシュモード　発光禁止	○	○	○	○	○	○
フラッシュ補正	○	○	○	○	○	–
スローシンクロ	○	○	○	○	○	–
フラッシュ選択	○	○	○	○	○	–
スポット測光	○	○	○	○	○	○
マルチ測光	○	○	○	–	○	–
中央重点測光	○	○	○	○	○	○
測光ターゲット移動	○	○	○	○	○	–
AEロック	○	○	○	–	○	–
マクロ撮影	○	○	○	○	○	○
スーパーマクロ撮影	○	○	○	○	○	○
スーパーマクロMF撮影	○	○	○	○	○	–
セルフタイマー撮影	○	○	○	○	○	○

<table>
<tr><th colspan="2">モード
機能</th><th>P</th><th>A</th><th>S</th><th>M</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td colspan="2">高速連写・連写・AF連写</td><td colspan="5">○※1</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">オートブラケット撮影</td><td colspan="3">○</td><td>–</td><td>○※1</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">パノラマ撮影</td><td>○</td><td colspan="3">–</td><td>○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">合成ツーショット</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ファンクション撮影</td><td>モノクロ</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>セピア</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>白板</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td>黒板</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">ガイドライン撮影</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">Mモードリアル表示</td><td colspan="3">–</td><td>○</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td colspan="2">アクセサリ</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒストグラム表示</td><td colspan="3">○</td><td>–</td><td>○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒストグラム
ターゲット移動</td><td colspan="3">○</td><td>–</td><td>○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">スチル録音</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">ムービー録音</td><td colspan="5">–</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">画質モード</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ISO感度</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">露出補正</td><td colspan="3">○</td><td>–</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホワイトバランス</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">WB補正</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">カスタムWB登録</td><td colspan="5">○</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">シャープネス</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">彩度</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">シーンプリセット</td><td colspan="4">○</td><td>–</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">ノイズリダクション</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定クリア</td><td colspan="6">○※2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>モード
機能</th><th>P</th><th>A</th><th>S</th><th>M</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>露出ステップ</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>言語設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>PW ON設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>PW OFF設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>レックビュー</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ビープ音</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>シャッタ音</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>操作音</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>マイモード設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ファイル名メモリー</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>ピクセルマッピング</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>モニタ調整</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>日時設定</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>m/ft設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>ショートカット
設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>カスタムボタン
設定</td><td colspan="5">○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>スーパーコンパネ</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>USB</td><td colspan="6">○</td></tr>
</table>

○：設定可能　　－：設定不可

※1 モードをのぞく
※2 モードをのぞく

カメラのお手入れと保管

●使用後のカメラの取り扱い

電源を切り、液晶モニタを内側にして閉じて、レンズキャップをつけてください。
長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出しておいてください。

●カメラのお手入れ

1 カメラの電源を切ります。（☞ P.38）

2 電池を取り出します（☞ P.30）。（AC アダプタをお使いの場合は、まず接続コードプラグをカメラから抜き、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。）

3 カメラの外側

→ 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタとファインダ

→ 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

→ レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

カード

→ 乾いた柔らかい布で拭きます。

●カメラの保管

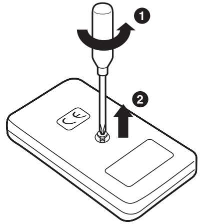
- カメラを長期間使用しないときは、電池を取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

注意

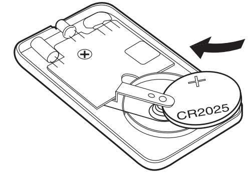
- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- お手入れをする前に、必ず電池やACアダプタをカメラから取り外してください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。
- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

リモコンの電池交換

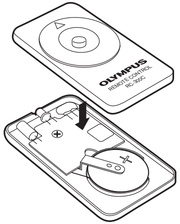
1 **リモコンの裏側にあるねじを反時計方向に回して、取り外します。**



2 **リモコンを表向きにしてカバーを外します。中の電池を取り出し、図のように新しい電池（CR2025）を＋側を上にして入れます。**



3 **カバーを元のように取り付け、リモコンを裏返してねじを時計方向に回して固定します。**



注意
- リモコンに強い振動や衝撃を与えないでください。
- リモコンを火中へ投下したり、加熱したりしないでください。
- リモコンがご使用になれる温度範囲は、–10℃から40℃です。

アフターサービス

● 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

● 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

● 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

● 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合わせください。

● 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。本製品は日本国内専用のため、海外では修理はできません。万一、海外で故障・不具合が生じた場合は、日本国内の当社修理センター、またはサービスステーションまでお問い合わせください。

● 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

● 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

仕様

形式	：デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	
静止画	：デジタル記録、TIFF（非圧縮）、JPEG（DCF準拠）、RAWデータ
対応規格	：Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching II、PictBridge
静止画音声	：Waveフォーマット準拠
動画	：QuickTime Motion JPEGに準拠
記録媒体	：xDピクチャーカード（16-512MB）／ コンパクトフラッシュ／マイクロドライブ※ ※ 340MBのマイクロドライブは使えません。
記録サイズ	：3264×2448ピクセル(プリント拡大 SHQ／HQ) 2592×1944ピクセル(RAW／TIFF／SHQ／HQ) 2592×1728ピクセル(3:2　TIFF／SHQ／HQ) 2288×1712ピクセル（TIFF／SQ1） 2048×1536ピクセル（TIFF／SQ1） 1600×1200ピクセル（TIFF／SQ1） 1280×960ピクセル（TIFF／SQ2） 1024×768ピクセル（TIFF／SQ2） 640×480ピクセル（TIFF／SQ2）
記録コマ数	
32MBカード使用時 (音声なし)	：約4枚 (RAW　：2592×1944) 約2枚 (TIFF　：2592×1944) 約8枚 (SHQ　：2592×1944) 約25枚(HQ　：2592×1944) 約64枚(SQ1　：1600×1200標準) 約331枚(SQ2 ：640×480標準)
カメラ部有効画素数	：510万画素
レンズ	：オリンパスレンズ5.7～22.9mm、F2.8～4.8、7群8枚 （35mmフィルム換算27～110mm相当）
フィルタ	：当社製専用フィルタ装着
測光方式	：撮像素子によるデジタルESP測光方式、スポット測光、中央重点測光
絞り	：F2.8～8.0
シャッター	：15～1/2000秒（F8.0の時：最高1/4000秒） （バルブ撮影時：最長120秒）

撮影範囲	：	0.8m～∞（通常） 0.2m～0.8m（マクロ撮影時）
ファインダ	：	光学実像式ファインダ
液晶モニタ	：	1.8型（インチ）TFTカラー液晶（低温ポリシリコン）、130000画素
オートフォーカス	：	デュアルオートフォーカス コントラスト検出方式／位相差検出方式
コネクタ	：	DC入力端子、USB端子、A/V出力端子
自動カレンダー機能	：	2000～2099年の範囲で自動修正
使用環境		
温度	：	0～40℃（動作時）／－20～60℃（保存時）
湿度	：	30～90％（動作時）／10～90％（保存時）
電源	：	リチウムイオン電池（当社製BLM-1）1個 または専用ACアダプタ
大きさ	：	幅116 mm×高さ87 mm×厚さ65.5 mm （突起部を除く）
質量	：	約430g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

用語解説

位相差検出方式
被写体までの距離を測るのに使用している方法。一対のセンサ列に入射した被写体の像のズレから距離を測定します。

画素数
画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

画像サイズ
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640x480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640x480のときではモニタ全体に表示されますが、1024x768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

銀塩写真
ハロゲン化銀を使った、従来からあるフィルムを用いた写真のことをいいます。

けられ
撮影画面内に邪魔なものが入り、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに、撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合など、視野の四隅が暗くなることもいいます。

コントラスト検出方式
被写体までの距離を測るのに使用している方法。被写体のコントラストの大小を検出することで、ピントがあったかどうかを検出します。

絞り
レンズを通して入ってくる光量を調節する機構。値が小さいほど光が多く入り、値が大きいほど入る光が少なくなります。そのレンズで使える最小の絞り値にすることを開放するといい、絞り値を大きくするのを絞り込むといいます。

シンクロ端子
外部フラッシュとカメラとの接続のための端子。

スリープモード（待機状態）
電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタンなどの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

スレーブフラッシュ
カメラとシンクロコードなどで接続せずに使用するワイヤレスフラッシュ。カメラ側のフラッシュの発光に同調して発光します。被写体の影のつき方を変えるなど、ライティングに変化をだすことができます。

デジタルESP測光（electro selective pattern）
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

デュアルオートフォーカス
異なるフォーカス検出方式を併用して行うオートフォーカスのこと。このカメラでは、CCDを用いたコントラスト検出方式と専用センサを用いた位相差検出方式とを使用することで互いの短所を補っています。

バックライト
液晶モニタを背面から照らすための光源。

フラッシュブラケット
フラッシュを撮影レンズからはなして使うときに用いる器具。被写体の影のでき方を変えることができます。フラッシュケーブルと併せて使います。

露出
画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

●アルファベット順

Aモード（aperture priority mode）
絞り優先AEモード。絞り値は自分で決め、カメラが絞り値にしたがってシャッター速度を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

AE（automatic exposure）
自動露出。カメラが自動的に露出を決める方式。このカメラには、絞りとシャッタースピードをカメラに任せるPモード、絞り値を決めてシャッタースピードをカメラに任せるAモード、シャッタースピードを決めて絞り値をカメラに任せるSモードの3種類のAEがあります。Mモードでは、絞り値とシャッタースピードの両方を決める必要があります。

CCD（charge coupled device）
レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）
電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）
デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

EV（exposure value）
露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くすることに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

ISO
国際標準化機構（ISO）の規格で決められた、フィルム感度の表示法。通常「ISO100」のように表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

JPEG（joint photographic experts group）
カラー静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、画質をSHQ／HQ／SQ1／SQ2に設定すると、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

Mモード（manual mode）
シャッター速度と絞り値を、自分で設定して撮影するモード。

NTSC／PAL（National Television Systems Committee／Phase Alternating Line）
テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

Pモード（program mode）
プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

Sモード（shutter speed priority mode）
シャッタースピード優先AEモード。シャッタースピードを自分で決め、カメラがシャッタースピードにしたがって絞り値を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

TIFF（tagged image file format）
モノクロやカラーの画像データを圧縮しないで保存するためのフォーマット。スキャナ用やグラフィックス用のアプリケーションで扱えます。

TFT（thin-film transistor）
薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

TTL（through-the taking-lens）方式
カメラ内部に受光体を置き、レンズを通ってきた光を直接測光する露出調節機構。

TTL-AUTO
外部フラッシュの機能。ストロボから発光された光を、撮影レンズを通してカメラの受光体で受け、この光量調節信号をストロボ本体に発信して、発光量をコントロールする方式。

索引

さ行

メモ

OLYMPUS®

オリンパス株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を当社のホームページでご提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

● 電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　9：30〜21：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

● 修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　　FAX 0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間9:00〜17:00（土・日・祝日及び弊社休日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町１の３の１	小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北４条東１の２の３	札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の13の４	泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦２の19の25	日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場２の12の26	オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11	日本生命広島第２ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通３の６の11	福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※　土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

1AG6P1P1753　　VT620302